

(様式-1)

工 事 名		令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業 堀金児童館改修工事										設計書	
施 工 箇 所		安曇野市 堀金児童館										金抜き設計書	
設 計 大 要							施 工 方 法			請 負			
<div>■堀金児童館改修工事</div> <div><div>・外壁、屋根、基礎、サッシの断熱化</div><div>→外壁:既存仕上の上、スパンドレル+押出法ポリスチレンフォームt=50</div><div>→屋根:既存仕上の上、ダブル折版+グラスウールt=100</div><div>→基礎:既存仕上の上、樹脂モルタル+押出法ポリスチレンフォームt=50</div><div>→サッシ:既存サッシ撤去の上、住宅用サッシ(アルミ+樹脂)ペアガラス</div><div>・保育室2室+書庫1室+トイレ1室(レイアウト変更)の改修</div><div>・外部通路の改修</div><div>・キュービクル新設</div><div>・上記内容に伴う、電気設備・機械設備改修一式</div></div>							施 工 期 間			日 間			
							契 約 年 月 日			令和      年      月      日			
							竣 工 予 定 年 月 日			令和    5    年    12    月    18    日			
							契 約 保 証 方 法			金 銭 的 保 証			
							・別途指定する建設機械については排出ガス対策型の使用を原則とする。 ・この設計書で施工機械・仮設材の規格、調査条件等の記載及び「人、h、ℓ、%、日、時、工数、空m3、掛m2、日・回、日回、供用日、月」の単位により見積りのための参考数量を示したものは任意扱いです。したがって、内訳書の作成や契約を拘束するものではありません。ただし、指定した場合を除きます。						



令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業  
堀金児童館改修工事



工事場所

堀金児童館

堀金中学校

堀金小学校

拾ヶ堰橋

安曇野市役所  
堀金支所

堀金中央公園

堀金図書館  
(常念ドーム)  
堀金多目的屋内運動場

堀金農産物加工センター

道の駅アルホリがねのほりがね物産

堀金総合体

井吉見文学館

文芸野市

安曇野市

J.A あづみ水稲  
共同育苗施設

J.A あづみオートパル

常念荘

モウララ

金総合

田屋村橋

下堀橋

上堀橋

1:5,000

0 90 180 360 m



# 現 場 説 明 書

安曇野市 総務部 財産管理課 施設経営担当

## 1. 件名（工事名称）

令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業 堀金児童館改修工事

## 2. 工事場所： 安曇野市 堀金児童館

## 3. 工事概要： 堀金児童館改修工事

- ・外壁、屋根、基礎、サッシの断熱化
  - 外壁：既存仕上の上、スパンドレル＋スタイロフォーム t=50
  - 屋根：既存仕上の上、ダブル折版＋グラスウール t=100
  - 基礎：既存仕上の上、樹脂モルタル＋スタイロフォーム t=50
  - サッシ：既存サッシ撤去の上、住宅用サッシ（アルミ＋樹脂）ペアガラス
- ・保育室2室＋書庫1室＋トイレ1室（レイアウト変更）の改修
- ・外部通路の改修
- ・キュービクル新設
- ・上記内容に伴う、電気設備・機械設備改修一式

## 4. 工 期： 契約日から 令和5年12月15日まで

## 5. 一般事項について

### (1) 現場説明会

本件の内容は、現場、入札心得、入札公告、特記仕様書、設計図書、安曇野市建築工事の手引等関連する仕様書類、長野県建設工事標準請負契約約款に基づき市が定める契約書（案）及び現場説明書（以下「設計図書等」という。）によるものとし、現場説明会は実施しない。

### (2) 設計図書等に対する質問及び回答について

設計図書等に関する問い合わせは、「入札公告」記載のとおりとし、入札執行が完了するまでの間、本件に関しての面談又は電話（ただし、指定の問い合わせ先は除く。）等は一切認めない。

### (3) 工事費内訳書の提出

入札時の工事費内訳書提出については「入札公告」による。

### (4) 工事費内訳書記載数量は参考数量とする。

## 6. 本工事における特記事項

### (1) 工事用地等

本工事に必要な用地は、以下のとおり。

使用目的	使用場所・面積
資材置場	敷地内
駐車場	同上敷地



現場事務所	同上敷地
-------	------

(3) 日・祝日は基本休工とする。休日、夜間に作業を行う場合は事前に協議をすること。

(4) 周辺住民の安全に十分配慮すること。

(5) 新型コロナウイルス感染症対策は十分に講じること。

(6) 各官公庁手続きについて、

事前に監督員・監理者が申請書類等の内容確認をしてから提出すること。

#### (7) 残土関係

~~・本工の施工において生じる発生土の処分については、下記の処分先を想定して処分費、運搬費を計上している。~~

~~なお、受注者の都合による処分先の変更については、原則として設計変更しない。~~

#### ~~・建設発生土~~

受入れ場所・仮置き場所	処分方法	運搬距離	特記事項

距離指定の場合、残土運搬距離は設計変更の対象とする。

### 7. 本工事に関連する別途発注工事の予定

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

#### ~~・本工事に近接・競合する工事の予定~~

発注機関	工事名	工期	工事内容	備考

~~・改修工事における工事個所の順番は図のとおり。~~

~~・この工事は執務並行型の工事である。~~

### 8. 安全対策関係

#### ① 交通誘導警備員

受注者が交通誘導業務を他人に委託する場合は、受託者は警備業法第4条の規定により公安委員会から警備業の認定を受けた者であること。

#### ② 安全施設

発注者が想定している仮設（ゲート、仮囲い等）については、仮設計画図に示したとおり。受注者は明示された条件に基づき、自主的に工法を選定し、構造設計等必要な検討を行い施工するものとする。（任意仮設）

なお、明示した条件と現場が一致しない場合や明示されていない条件について予測することができない特別な状態が生じた場合において、必要と認められるときには設計変更の対象とする。



9. 工事用道路関係

現場への工事関係車両の入退場の路線は事前に監督員と協議をすること。

10. その他

火災保険等への加入について

火災保険等加入期間については、請負契約後から契約工期末日後 14 日までとする。



## 特記仕様書（共通事項）

総務部 財産管理課

### 1. 保険等

建物（施設）引渡しまで工事受注者は、現場説明書に定める保険に加入しなければならない。加入期間は原則として工事着手日とし、その終期は工事しゅん工後14日以降とする。

### 2. 各種調査等に対する協力について

本工事について、発注者が自ら又は、発注者が指定する第三者が行う下記調査等に対して、協力しなければならない。

(1) 公共事業労務費調査等

(2) 資材調査、建設副産物実態調査等

### 3. 工事検査

施工途中において総務部契約検査課職員または、発注機関の長の指定する職員による抜打ち検査を実施することがあるので、検査に協力すること。

### 4. 被害届等

暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。

### 5. 工事实績情報サービス（CORINS）の登録について

(1) 請負金額が500万円以上（税込）の工事については、工事实績情報サービス（CORINS）の登録をすること。

(2) 登録する場合は、「登録のために確認のお願い」を作成し、監督員の確認を受け、次に示す期間内に（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）に登録の手続きを行うこと。また、登録機関発行の「登録内容確認書」が届いた場合は、速やかに監督員に提示すること。なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。

① 工事受注時契約締結後10日以内

② 登録内容の変更時変更契約締結後10日以内

③ 工事完成時工事完成後10日以内

### 6. 施工体制台帳に係る書類について

(1) 工事受注者は、請負契約した全ての下請業者について、建設業法に定める「施工体制台帳」とそれに係る書類及び「施工体系図」を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、その写しを監督員に提出すること。

(2) 「施工体系図」は工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。

(3) 次の業種についても請負契約に該当するため、(1)と同様とする。

- ・ 1日で完了する請負契約、少額な作業・雑工の請負契約
- ・ クレーン作業、コンクリートポンプ打設等の日々の単価契約で行っている場合
- ・ クレーン等の業種オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合



## 7. 主任技術者及び監理技術者の専任について

主任技術者又は監理技術者（以下「監理技術者等」という。）が専任を求められる工事である場合、監理技術者等を専任で設置すべき期間は契約工期が基本となるが、次の期間については、専任を要しない。なお、具体的な期間については、監督員との打合せにおいて定めることとする。

- ① 請負契約の締結後、現場施工に着手するまでの期間（現場事務所の設置、資機材の搬入、または仮設工事等が開始されるまでの期間）
- ② 自然災害の発生又は埋蔵文化財調査等により、工事を全面的に一時中止している期間
- ③ エレベーター等の工場製作を含む工事であって、工場製作のみが行われている期間
- ④ 工事完成後、検査が終了し（発注者の都合により検査が遅延した場合を除く。）、事務手続、後片付け等のみが残っている期間

## 8. 産業廃棄物等の取扱い

- (1) 廃棄物の処理に当たっては、受注者が自ら処理（分別、保管、収集、運搬及び処分の一連の行為）をするときは、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律」（以下「廃棄物処理法」という。）に基づき、適正に行うこと。
- (2) 廃棄物の処理の全部又は一部を委託する場合は、廃棄物処理法に基づく処理を業として許可を取得している者に委託すること。また、施工前に産業廃棄物処理委託契約書の写し、産業廃棄物処理業の許可証の写し、許可運搬車両一覧並びに処分地の案内図等をまとめた「廃棄物処理計画書」を監督員に提出すること。
- (3) しゅん工した時は、廃棄物ごとに処理数量を集計し、積み込み状況の写真、処分状況の写真を添付した「廃棄物等処理報告書」を監督員に提出するとともに、マニフェストA票、B2票、D票並びにE票の原本（廃棄物の種類ごとに1セット）を提示すること。

## 9. 再生資源利用促進計画書等

「資源の有効な利用の促進に関する法律」（ラージリサイクル法）に基づき、受注者は、工事の着手前に「再生資源利用促進計画書」及び「再生資源利用計画書」を作成すること。

また、しゅん工後に「再生資源利用促進実施書」及び「再生資源利用実施書」を作成し、監督員に提出すること。

対象工事：ラージリサイクル法に規定する一定規模以上の工事

作成方法：COBRIS（建設副産物情報交換システム※）を利用すること。

※（一財）日本建設情報総合センター（JACIC）が提供する建設副産物の情報交換サービス

## 10. 安全対策関係

- (1) 工事現場においては、労働災害、公衆災害防止に努めるとともに、全作業員を対象に定期的に安全教育、研修及び訓練を行うこと。
- (2) 安全教育、研修及び訓練については、工事期間中に月一回以上実施し、この結果は工事日誌へ記録するほか工事写真等も整理のうえ提出すること。なお、これにより難しい場合は、監督員と協議するものとする。
- (3) 足場を設ける場合は、「手すり先行工法に関するガイドライン」について（厚生労働省基発第0424001号平成21年4月24日）の「手すり先行工法等に関するガイドライン」により、「働



きやすい安心感のある足場に関する基準」に適合する手すり、中さん及び幅木の機能を有する足場とし、足場の組立て、解体又は変更の作業は、「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」の2の(2)手すり据置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行うこと。

#### 11. 環境対策関係

- (1)現場で使用する機械は、低騒音型、低振動型、排出ガス対策型建設機械とすること。
- (2)夜間、早朝等の稼動を避けること。ただし、監督員の承諾を受けた場合はこの限りでない。なお、運搬ルートを選定に当たっては影響の少ないルートを選定すること。
- (3)汚水、汚濁、土砂の流失防止に努めること。また、表土復元等環境の回復に努めること。
- (4)熱帯材合板型枠は、極力使用しないこと。

#### 12. 過積載の禁止

- (1)工事の施工計画にあたって、施工計画書に次の事項を具体的に記載するとともに、施工時においても遵守すること。

- ①積載重量制限を超過しての建設発生土の処理及び資機材（以下「資機材等」という。）の積載重量の厳重チェックを行うこと。
- ②過積載を行っている資材等納入業者からの資機材等購入は行わないこと。
- ③過積載を防止するため、資機材等の購入にあたっては、納入業者の利益を不当に害することのないようにすること。
- ④資機材等の運搬には、さし枠装着車、物品積載装置等の不正改造した車輛及び不表示車等を使用しないこと。また、同車輛からの資機材等の引き渡しを受けないこと。
- ⑤下請業者や資機材等納入業者を選定するにあたっては、交通安全に関する配慮に欠けた者または車輛を使用した業務等において悪質かつ重大な事故を発生させた者を排除すること。
- ⑥飛散の恐れがあるものについては、飛散しないような処置を行い運搬すること。
- ⑦土砂等の運搬に関する事業者の選定に当たっては、「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」の目的に鑑み、同法第12条の規定に基づき届け出た団体構成員の雇用に努めること。

- (2)以上の点について、下請業者についてもこれに準じ徹底すること。

#### 13. ~~セメント及びセメント系固化材を使用した改良土について~~

- ~~(1)セメント及びセメント系固化材を使用した地盤改良及び改良土を再利用する場合は、六価クロム溶出試験を行い、その結果について監督員に報告する。~~
- ~~(2)セメント及びセメント系固化材とは、セメントを含有成分とする固化材で、普通ポルトランドセメント、高炉セメント、セメント系固化材、石灰系固化材をいい、これに添加物を加えたものを含める。~~
- ~~(3)六価クロム溶出試験は「セメント及びセメント系固化材を使用した改良土の六価クロム溶出試験実施要領（案）」（以下「実施要領（案）」という。）により実施し、土壤環境基準を超えないことを確認する。~~



#### 14. アスベスト建材使用箇所等の事前調査

- (1) 石綿等による健康障害を防止するため、とりこわし、改修工事の解体及び撤去等作業前、図面・施工範囲目視、その他適切な方法によるアスベスト含有材料の有無について調査を行い、報告書を監督員に提出する。アスベスト含有材料が無かった場合においても書面にて報告を行う。

報告書の記載内容

- ① アスベスト材料の種別
- ② アスベスト形状、飛散可能性の有無
- ③ 製造所・製品名称、製造所の公表するアスベスト含有率

なお、上記調査において、アスベスト分析調査が必要な場合は別途監督職員と協議を行う。

- (2) 監督員の指示による「石綿（アスベスト）の事前調査結果」、「建築物等の解体・改修等作業に関するお知らせ」について、公衆の見やすい場所に掲示を行う。

#### 15. 建設業退職金制度について

- (1) 工事受注者は、自ら雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙を購入し、当該労働者の共済手帳に共済証紙を貼付すること。
- (2) 工事受注者が下請契約を締結する際は、下請業者に対して、建退共制度の趣旨を説明し下請業者が雇用する建退共制度の対象労働者に係る共済証紙をあわせて購入し現物により交付すること、または建退共制度の掛金相当額を下請代金中に算入することにより、下請業者の建退共制度への加入並びに共済証紙の購入及び貼付を促進すべきこと。
- (3) 請負代金の額が800万円以上の建設工事の請負契約を締結した時は、工事受注者は建退共制度の発注者用掛金収納書（以下「収納書」という。）を工事締結後1ヶ月以内に発注者に提出すること。なお、工事契約締結当初は工場製作の段階であるため建退共制度の対象労働者を雇用しないこと等の理由により、期限内に当該工事に係る収納書を提出できない事情がある場合又は、建退共対象労働者を使用しない場合においては、あらかじめその理由を書面により申し出ること。

#### 16. 資材の市内産優先使用及び市内企業の優先採用

- ~~(1) 工事受注者は、本工事に使用する材料については、規格・品質等の条件を満足するものについては、市内産資材を優先使用するように努めること。~~
- (2) 工事受注者は、工事用資材の調達に当たっては、極力市内の取扱い業者から購入すること。
- (3) 下請契約を締結する際には、市内企業の採用に努めること。

#### 17. 再資源化及び再生資源等使用状況

工事受注者は、しゅん工時にコンクリート塊、アスファルト・コンクリート塊、木くずの再資源化の状況、再生資源（再生クラッシャーラン、再生アスファルト・コンクリート、再生土砂）及び信州リサイクル製品の使用状況について、監督員へ報告すること。

#### ~~18. レディーミクストコンクリート製造工場の選定について~~



~~受注者は、Ⅰ類コンクリートの製造工場を、JISマーク表示認証工場（改正工業標準化法（平成16年6月9日公布）に基づき国に登録された民間の第三者機関（登録認証機関）により認証を受けた工場）で、かつ、コンクリート製造に係る指導及び品質管理を行う施工管理技術者（コンクリート主任技士等）が置かれ、良好な品質管理が行われている工場（全国品質管理監査会議の策定した統一監査基準に基づく監査に合格した工場等）から選定する。~~

~~ただし、これにより難しい場合は、監督員と協議する。~~

#### 19. 工事進捗状況報告書

監督員の指示により、毎月の工事の進捗状況を報告書にまとめて提出する。

添付書類

- ・ 工事記録（工事の経過に伴う主な工事内容等の事項を記載した月報）
- ・ 工事打合わせ記録簿（当月分）
- ・ 工事写真（工事の進捗状況がわかるものを数枚）

#### 20. 施工図等の取扱い

施工図等の著作権に関わる当該建物に限る使用权は、発注者に移譲する。

#### 21. 設計図CADデータについて

本工事の設計図CADデータを貸与する。貸与したCADデータは、本工事の履行に必要な施工図の作成及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。

#### 22. 完成写真の著作権の権利等について

工事受注者は、完成写真の撮影者との契約にあたって、以下の事項を条件とすること。

- ① 完成写真は、市が行う事務並びに市及び市が認めた公的機関の広報に、無償で使用する  
ことができる。この場合において、著作者名を表示しないことができる。
- ② 以下に掲げる行為をしてはならない。ただし、あらかじめ発注者の承諾を得た場合は、  
この限りではない。

イ. 完成写真を公表すること。

ロ. 完成写真を他人に閲覧させ、複写させ、又は譲渡すること。

#### 23. 高度技術・創意工夫・社会性に関する実施状況の提出について

受注者は、工事施工において、自ら立案実施した創意工夫や技術力に関する項目、又は、地域社会への貢献として評価できる項目に関する事項について、施工に先立ち所定の様式により提出することができる。

高度技術・創意工夫・社会性等の具体的内容がある場合は、「別添様式」及び、「説明資料」を提出すること。なお、用紙サイズはA4版とする。



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業 堀金児童館改修工事						
I	共通仮設費		1.0	式			
	直接工事費						
II	建築工事		1.0	式			
III	電気設備工事		1.0	式			
IV	機械設備工事		1.0	式			
	直接工事費 計						
V	諸経費						
	現場管理費		1.0	式			
	一般管理費		1.0	式			
	合 計						
	消費税10%						
	総 計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
I	共通仮設費						
	共通仮設（率）		1.0	式			
	積上げ仮設						
	仮囲い	成形鋼板 H=3.0m 6ヶ月	32.0	m			
	〃 ゲート	パネルゲート(硬質エンビ) W6.0*H4.5 6ヶ月	1.0	ヶ所			
	VOC検査	2室	1.0	式			
	交通誘導係	交通誘導警備員B	60.0	人			
	積上げ仮設-計						
	共通仮設-計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
Ⅱ	建築工事						
1	直接仮設工事		1.0	式			
2	解体撤去工事		1.0	式			
3	基礎工事		1.0	式			
4	屋根板金工事		1.0	式			
5	木工事		1.0	式			
6	金属工事		1.0	式			
7	左官工事		1.0	式			
8	建具工事		1.0	式			
9	塗装工事		1.0	式			
10	内装工事		1.0	式			
11	家具及びその他工事		1.0	式			
	建築工事費 計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1	直接仮設工事						
	仕上墨出し		283.0	m2			
	外部足場	W900くさび緊結式足場 3ヶ月	346.0	m2			
	〃 手摺		85.0	m			
	外部養生シート	メッシュシート 3ヶ月	346.0	m2			
	内部脚立足場	2ヶ月	283.0	m2			
	養生費		283.0	m2			
	清掃片付費		283.0	m2			
	引渡しクリーニング		283.0	m2			
	小計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
2	解体撤去工事						
	1)建築解体撤去工事						
	(外部)						
	ルーフデッキ撤去	通路 タイフレーム 残し	32.9	m2			
	ルーフデッキ撤去	接続廊下	3.2	m2			
	庇撤去	保育室2南側3000*1200樋鉄骨庇共	1.0	ヶ所			
	庇撤去	本館棟側1900*2900樋鉄骨庇共	1.0	ヶ所			
	軒樋撤去		64.5	m			
	豎樋撤去		35.0	m			
	外壁撤去	サントイッチパネル	47.1	m2			
	外壁開口	750×1100 サントイッチパネル	1.0	ヶ所			
	ブレース撤去	L=4100	2.0	本			
	シューズロッカー撤去	木製 3600×450×1100	2.0	台			
	下足棚撤去	木製 3600×245×700	4.0	台			
	物干し台	L=2650(コンクリート基礎250×250×500)	4.0	台			
	土間コンクリート撤去	保育室2南側1800×500×H250	1.0	ヶ所			
	(内部)						
	天井カラーベニヤパネル撤去	ガラスウールt50入り	201.0	m2			
	床解体	保育室1、廊下フローリングt12床パネル100ガラスウールt50入り	102.0	m2			
	大引撤去	保育室1、廊下C-75×45×15@1840	102.0	m2			
	束撤去	保育室1、廊下90×90@920束石共	102.0	m2			
	床解体	保育室2、通路フローリングt12床パネル100ガラスウールt50入り	74.7	m2			
	同上下地組撤去	保育室2、通路束+鋼製大引	74.7	m2			
	床塩ビシート撤去	通路、洗面室、便所長尺塩ビシート	33.1	m2			



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	床土間コンクリート解体	洗面所、便所t150程度人力研り鉄筋処理共	26.3	m2			
	間仕切壁撤去	保育室1、廊下木製建具共	23.6	m2			
	間仕切壁開口	保育室1、廊下 1750×1750 サンドイッチパネル、カッター入れ共	2.0	ヶ所			
	間仕切壁撤去	洗面室、便所LGS+両面ケイカル板(アスベスト含有レベル3)	8.6	m2			
	壁仕上げ撤去	洗面室、便所ケイカル板(アスベスト含有レベル3)	8.2	m2			
	ライニング撤去	洗面室、便所LGS+両面ケイカル板(アスベスト含有レベル3)	7.6	m2			
	アスベスト飛散防止対策養生	洗面室、便所養生・清掃後片付共、真空掃除機等損料含む	1.0	式			
	壁仕上げ撤去	保育室2PB t12.5+ビニールクロス	26.1	m2			
	トイレブース撤去		22.4	m2			
	衛生機器撤去	洗面室 掃除流し	1.0	台			
	衛生機器撤去	洋便器	2.0	台			
	衛生機器撤去	和便器	3.0	台			
	衛生機器撤去	小便器	6.0	台			
	土間下配管類撤去	洗面室、便所 給排水管	1.0	式			
	木製建具撤去	通路 引違1700×1800 ガラス・木枠・レール共	2.0	ヶ所			
	木製建具撤去	便所 引違1650×1800 ガラス・木枠・レール共	1.0	ヶ所			
	アルミサッシ撤去	引違 1700×1700 ガラス・枠共	14.0	ヶ所			
	アルミサッシ撤去	引違 1700×2000 ガラス・枠共	5.0	ヶ所			
	アルミサッシ撤去	引違 1700×2900 ガラス・枠共	1.0	ヶ所			
	押入れ撤去	書庫、保育室1、保育室2 1800×900×H1800	3.0	ヶ所			
	ロッカー撤去	保育室1、保育室2 木製6900×400×H1050	2.0	ヶ所			
	窓下棚撤去	保育室1 木製3000×400×H580	1.0	ヶ所			
	窓下棚撤去	保育室2 木製4000×400×H580	1.0	ヶ所			
	洗面流し台撤去	書庫、保育室2 1300×500×H2450	2.0	ヶ所			



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	手洗撤去	洗面室 1700替える350×H650	1.0	ヶ所			
	洗濯機パン撤去	洗面室 800×650	1.0	ヶ所			
	(解体廃材積込)						
	解体廃材積込	木くず	30.9	m3			
	解体廃材積込	廃プラスチック	1.0	m3			
	解体廃材積込	ガラスくず。陶磁器くず	1.8	m3			
	解体廃材積込	廃石膏ボード	1.0	m3			
	解体廃材積込	コンクリートガラ	7.0	m3			
	解体廃材積込	金属くず	1520.0	kg			
	解体廃材積込	混合廃棄物	35.3	m3			
	解体廃材積込	ケイカル板屑(アスベスト含有)フレコン詰	0.5	m3			
	(解体廃材運搬)						
	解体廃材運搬	木くず	30.9	m3			
	解体廃材運搬	廃プラスチック	1.0	m3			
	解体廃材運搬	ガラスくず。陶磁器くず	1.8	m3			
	解体廃材運搬	廃石膏ボード	1.0	m3			
	解体廃材運搬	コンクリートガラ	7.0	m3			
	解体廃材運搬	金属くず	1520.0	kg			
	解体廃材運搬	混合廃棄物	35.3	m3			
	解体廃材運搬	ケイカル板屑(アスベスト含有)片道85km	1.0	車			



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	(解体廃材処分)						
	解体廃材処分	木くず	30.9	m3			
	解体廃材処分	廃プラスチック	1.0	m3			
	解体廃材処分	ガラスくず。陶磁器くず	1.8	m3			
	解体廃材処分	廃石膏ボード	1.0	m3			
	解体廃材処分	コンクリートガラ	7.0	m3			
	解体廃材処分	金属くず	1520.0	kg			
	解体廃材処分	混合廃棄物	35.3	m3			
	解体廃材処分	ケイカル板屑(アスベスト含有)片道85km	0.5	m3			
	2)電気設備解体撤去工事						
	照明器具撤去	直付け(V型)FLR-40W×1	22.0	台			
	照明器具撤去	直付け(V型)FL-20W×1	1.0	台			
	照明器具撤去	直付け(V型)FL-20W×2	1.0	台			
	照明器具撤去	直付け(流し元灯)FL-20W×1	1.0	台			
	照明器具撤去	直付け(ウォールライト)FLR-40W×1	2.0	台			
	照明器具撤去	避難口誘導灯 壁付 冷陰3極W×1	1.0	台			
	パッケージエアコン撤去	天吊型室内機、室外機 フロンガス回収共	3.0	式			
	幹線・動力設備撤去	コンクリート引込柱、引込線 申請業務共	1.0	式			
	幹線・動力設備撤去	引込開閉器盤、幹線分岐盤内開閉器、埋設ケーブル	1.0	式			
	コンセント設備撤去	コンセント、埋込スイッチ、取付ボックス、配線管等	1.0	式			
	放送時計設備撤去	スピーカ、屋根上アンテナ、配線配管等	1.0	式			
	自動火災報知設備撤去	露出型総合盤、スポット型感知器、配線配管等	1.0	式			



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	(解体廃材積込)						
	解体廃材積込	混合廃棄物(金属、プラスチック系)	546.0	kg			
	解体廃材積込	混合廃棄物(金属、コンクリート系)	970.0	kg			
	解体廃材積込	水銀使用製品産業廃棄物(廃蛍光管)	16.5	kg			
	(解体廃材運搬)						
	解体廃材運搬	混合廃棄物(金属、プラスチック系)	546.0	kg			
	解体廃材運搬	混合廃棄物(金属、コンクリート系)	970.0	kg			
	解体廃材運搬	水銀使用製品産業廃棄物(廃蛍光管)	16.5	kg			
	解体廃材運搬	70ンガSR-22	14.4	kg			
	(解体廃材処分)						
	解体廃材処分	混合廃棄物(金属、プラスチック系)	546.0	kg			
	解体廃材処分	混合廃棄物(金属、コンクリート系)	970.0	kg			
	解体廃材処分	水銀使用製品産業廃棄物(廃蛍光管)	16.5	kg			
	解体廃材処分	70ンガSR-22	14.4	kg			
	撤去ブレース移動	L=4100*2	1.0	式			
	小計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
3	基礎工事						
	内部土間地均し		187.0	m2			
	防湿シート	ポリエチレンフィルムt=0.15	187.0	m2			
	ワイヤメッシュ	6φ 150角	187.0	m2			
	土間コンクリート	FC=18N/mm2	24.6	m3			
	〃	打設手間	24.6	m3			
	ポンプ車損料	配管共	1.0	回			
	基礎廻り根切り埋戻し		3.8	m3			
	断熱材貼り付け	押出法ポリスチレンフォームt=50	33.0	m2			
	スロープコンクリート	W1,800×L3,000	1.0	式			
	小計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
4	屋根板金工事						
	大屋根						
	ハゼ折板 H90(上弦材)	カラーガルバリウム鋼板 t=0.8	324.0	m2			
	断熱材 グラスウール	t=100 10kg/m3	313.0	m2			
	タイトフレーム	メッキ品	187.0	m			
	妻側タイトフレーム	メッキ品	44.0	ヶ所			
	改修用金具		418.0	ヶ所			
	タイトフレーム受け	C-75*45*15*2.3	188.0	m			
	天井インサート		313.0	m2			
	水上止面戸	ガルバリウム鋼板 周囲シーリング	67.0	m			
	エプロン面戸	ガルバリウム鋼板	67.0	m			
	軒先見切り面戸	ガルバリウム鋼板	38.8	m			
	軒先見切り	ガルバリウム鋼板	38.8	m			
	ケラバ包み	ガルバリウム鋼板 t=0.5 1トブ潰	41.5	m			
	同上木下地	構造用合板t=12+棟金具 防水紙共	41.5	m			
	ケラバ破風包み	ガルバリウム鋼板 t=0.5	41.5	m			
	同上側面部鉄骨下地	C-75*45*15*2.3	41.5	m			
	ケラバ包み水上ウェザーカバー	ガルバリウム鋼板 t=0.5 W=600	20.6	m			
	同上下地材	構造用合板t=12+棟金具 防水紙共	20.6	m2			
	軒樋	パナソニック/前高130WIDE	38.8	m			
	落し口	塩ビ製自在ドレン VP/VU75用	7.0	ヶ所			
	縦樋	カラー塩ビパイプVP75	30.0	m			



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	テラス屋根・庇屋根						
	ハゼ折板 H=90	カラーガルバリウム鋼板 t=0.8	43.1	m2			
	断熱材	ポリフォーム4mm裏打ち	144.0	m2			
	タイトフレーム	メッキ品	38.4	m			
	妻側タイトフレーム	メッキ品	12.0	ヶ所			
	軒先見切り面戸	ガルバリウム鋼板	13.8	m			
	ケラバ包み	ガルバリウム鋼板 t=0.5	7.6	m			
	水切・雨押え	ガルバリウム鋼板 t=0.5	24.0	m			
	同上木下地	構造用合板t=12+棟金具 防水紙共	24.0	m			
	軒樋	パナソニック/前高130WIDE	16.8	m			
	落し口	塩ビ製自在ドレン VP/VU75用	3.0	ヶ所			
	縦樋	カラー塩ビパイプVP75	12.3	m			
	外壁工事						
	角スパンドレル	カラーガルバリウム鋼板 t=0.4	255.0	m2			
	断熱材	押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bAt=50	255.0	m2			
	透湿防水シート		255.0	m2			
	土台水切	カラーガルバリウム鋼板 t=0.4	76.7	m			
	出隅・入隅コーナー	カラーガルバリウム鋼板 t=0.4	30.8	m2			
	見切縁・端部カバー	カラーガルバリウム鋼板 t=0.4	313.0	m			
	荷揚げ費		1.0	式			
	運搬費		1.0	式			
	現場成型費		1.0	日			
	小計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
5	木工事						
	(外部)						
	壁胴縁組	桧、縦45*60@455、横18*45@455	255.0	m2			
	(内部)						
	木床組	米母同等 45*40 @455(ころばし根太)	214.0	m2			
	ベニア張	t=5.5	23.4	m2			
	ベニア張	t=12	214.0	m2			
	断熱材貼り	押出法ポリスチレンフォーム t=30	214.0	m2			
	巾木	H=60	106.0	m			
	出入口木枠		32.9	m			
	額縁		72.9	m			
	カーテンボックス		41.6	m			
	小計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
6	金属工事						
	床						
	床点検口	600角 アルミ枠	2.0	ヶ所			
	床見切り		5.2	m			
	壁						
	軽鉄間仕切	W65 直張り	132.0	m2			
	〃	W100 直張り	192.0	m2			
	軽鉄間仕切開口補強	W65	48.7	m			
	〃	W100	94.0	m			
	天井						
	軽鉄下地	捨て張り @360	154.0	m2			
	軽鉄下地	直張り @300	28.2	m2			
	軽鉄下地	直張り @225	29.9	m2			
	軽鉄天井下地開口補強	450角 ポート切込み含む	7.0	ヶ所			
	天井点検口	450角 アルミ枠	7.0	ヶ所			
	カーテンレール		25.0	m			
	小計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
7	左官工事						
	床						
	コンクリート木こて		187.0	m2			
	モルタル	t=20	28.0	m2			
	巾木						
	樹脂モルタル薄塗り	断熱材貼り付け面	33.0	m2			
	小計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
8	建具工事						
	住宅用アルミ樹脂複合サッシ						
	1～4 同一キー		3.0	ヶ所			
	AW-1a 引違窓	1690*1830 複層透明FL4+FL4ｶﾞｽｹｯﾄ 飛散防止ﾌｲﾙﾑ ﾏﾞﾗｲﾄﾞﾈｯﾄ戸	1.0	ヶ所			
	AW-1b 引違窓	1690*770 FL3+FL3ｶﾞｽｹｯﾄ 飛散防止ﾌｲﾙﾑ ﾏﾞﾗｲﾄﾞﾈｯﾄ戸	1.0	ヶ所			
	AW-2a 引違窓	1690*1830 複層透明FL4+FL4ｶﾞｽｹｯﾄ 飛散防止ﾌｲﾙﾑ ﾏﾞﾗｲﾄﾞﾈｯﾄ戸	1.0	ヶ所			
	AW-2b 引違窓	1690*1830 複層透明FL4+FL4ｶﾞｽｹｯﾄ 飛散防止ﾌｲﾙﾑ ﾏﾞﾗｲﾄﾞﾈｯﾄ戸	1.0	ヶ所			
	AW-3 引違窓	1640*1830 複層透明FL4+FL4ｶﾞｽｹｯﾄ 飛散防止ﾌｲﾙﾑ ﾏﾞﾗｲﾄﾞﾈｯﾄ戸	1.0	ヶ所			
	AW-4a 引違窓	1690*1570 複層透明FL3+FL3ｶﾞｽｹｯﾄ 飛散防止ﾌｲﾙﾑ ﾏﾞﾗｲﾄﾞﾈｯﾄ戸	9.0	ヶ所			
	AW-4b 引違窓	1690*1570 複層透明FL3+FL3ｶﾞｽｹｯﾄ 飛散防止ﾌｲﾙﾑ ﾏﾞﾗｲﾄﾞﾈｯﾄ戸	3.0	ヶ所			
	AW-5 引違窓	1540*1570 複層透明FL3+FL3ｶﾞｽｹｯﾄ 飛散防止ﾌｲﾙﾑ ﾏﾞﾗｲﾄﾞﾈｯﾄ戸	1.0	ヶ所			
	AW-6 引違窓	1640*1570 複層透明FL3+FL3ｶﾞｽｹｯﾄ 飛散防止ﾌｲﾙﾑ ﾏﾞﾗｲﾄﾞﾈｯﾄ戸	1.0	ヶ所			
	AW-7 片上げ下げ窓	780*1170 複層透明F4K+FL3ｶﾞｽｹｯﾄ 飛散防止ﾌｲﾙﾑ 上下ｽﾗｲﾄﾞﾈｯﾄ戸	2.0	ヶ所			
	取付調整費		1.0	式			
	作図費		1.0	式			
	鋼製軽量建具						
	LSD-1	750*1800 枠組込:137	2.0	ヶ所			
	LSD-2	800*1800 枠組込:137	1.0	ヶ所			
	トイレブース						
	TB-1	W5000*H1900*D40 ﾏﾞﾗﾐﾝ、ｱﾙﾐｴｯｼﾞ笠木	1.0	ヶ所			
	TB-2	W1500*H1900*D40 ﾏﾞﾗﾐﾝ、ｱﾙﾐｴｯｼﾞ笠木	1.0	ヶ所			
	TB-3	W2080*H1900*D40 ﾏﾞﾗﾐﾝ、ｱﾙﾐｴｯｼﾞ笠木	1.0	ヶ所			
	TB-4	W850*H2525*D40 ﾏﾞﾗﾐﾝ、ｱﾙﾐｴｯｼﾞ笠木	1.0	ヶ所			



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	木製建具工事						
	WD-1 額入りフラッシュ戸 ポリ合板	引違 1600*1800	2.0	ヶ所			
	WD-2 額入りフラッシュ戸 ポリ合板	引違 1620*1800	1.0	ヶ所			
	WD-3 フラッシュ戸 ポリ合板	引違 1650*1800	1.0	ヶ所			
	WD-4 物入りフラッシュ戸 ポリ合板	片開 495*1800	1.0	ヶ所			
	WD-4 物入りフラッシュ戸 ポリ合板	片開 415*1800	1.0	ヶ所			
	運搬費		1.0	式			
	木製建具ガラス工事						
	強化ガラス	透明 4ミリ 2.00m2以下	3.6	m2			
	シリコン	6×6	19.3	m			
	運搬費		1.0	式			
	金属製建具ガラス工事						
	型板ガラス	100*600	3.0	枚			
	シリコン	6×6	8.4	m			
	飛散防止フィルム貼り		49.0	m2			
	小計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
9	塗装工事						
	(外部)						
	SOP	鉄部 B種	82.0	m2			
	WP	ス/コ、木部建具	45.0	m2			
	(内部)						
	CL塗	木巾木 細巾	106.0	m			
	CL塗	木枠、額縁、カーテンボックス 細巾	141.0	m			
	CL塗	木製建具大手	49.9	m			
	AEP	壁	269.0	m2			
	AEP	天井	28.2	m2			
	小計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
10	内装工事						
	床						
	複合フローリング	材支給品	31.0	m2			
	タイルカーペット		142.0	m2			
	長尺塩ビシート	t=2.0	41.3	m2			
	鋼製床組	H=300 ハーチクルボード共	186.0	m2			
	構造用合板	t=12	186.0	m2			
	巾木						
	ソフト巾木	H=60	39.0	m			
	壁						
	プラスターボード張り	t=12.5	257.0	m2			
	耐水プラスターボード張り	t=12.5	93.2	m2			
	合板	t=12	35.7	m2			
	化粧けい酸カルシウム板張り	t=6 アルミジョイント	102.0	m2			
	耐火間仕切	W100 両面強化PB15張り	37.7	m2			
	シール	4周	21.2	m			
	グラスウール充填	t=100 24kg/m <sup>3</sup>	182.0	m2			
	天井						
	岩綿吸音板(張り)	t=9 下地プラスターボード9.5mm共	154.0	m2			
	耐水プラスターボード張り	t=9.5	28.2	m2			
	化粧石膏ボード張り	t=9.5	154.0	m2			
	廻縁						
	塩ビ		155.0	m			
	小計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
11	家具及びその他工事						
	家具工事						
	F-1 児童用ロッカー メラミン	7200×375×840	1.0	ヶ所			
	F-2 児童用ロッカー メラミン	5400×375×840	1.0	ヶ所			
	F-3 洗面流し台 メラミン	1800×600×900	2.0	ヶ所			
	F-4 洗面化粧カウンター 人工大理石	1405×600	1.0	ヶ所			
	F-5 洗面化粧カウンター 人工大理石	1079×600	1.0	ヶ所			
	F-6 下足入れ メラミン	3600×300×950	1.0	ヶ所			
	F-7 ミニキッチン LIXIL	1500×500×1900	1.0	ヶ所			
	運搬費		1.0	式			
	シーリング	ポリサルファイド 20×10	146.0	m			
	ピクトサイン		3.0	ヶ所			
	室名札		4.0	ヶ所			
	カーテン	ドレープ程度	32.7	m2			
	消火器ボックス(消火器10型共)	294*618 ACE UFB-3S-280N-HLN同等	1.0	ヶ所			
	鏡	φ450	6.0	ヶ所			
	鏡	600*900	2.0	ヶ所			
	給排気レジスター	外部アルミフード	1.0	ヶ所			
	キュービクル基礎工事		1.0	式			
	” フェンス	メッシュフェンスH=1.5m	14.0	m			
	” フェンス 門扉	W2,000*H1,500	1.0	式			
	浸透枳		8.0	ヶ所			



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	縁石撤去均し	150*150*600 3.0m	1.0	式			
	地上灯油タンク基礎	W1700*D1200*H400	1.0	式			
	室外機基礎	W2000*D600*H400	1.0	式			
	室外機基礎	W1250*D600*H400	1.0	式			
	〃 フェンス	メッシュフェンスH=1.2m 出入口(W=900)共	3.5	m			
	〃 フェンス 門扉	W900*H1,200	1.0	式			
	小計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
Ⅲ	電気設備工事						
1	受変電設備工事		1	式			
2	幹線設備工事		1	式			
3	動力設備工事		1	式			
4	電灯設備工事	照明器具共	1	式			
5	コンセント設備工事		1	式			
6	非常警報設備工事	トイレ呼び出し装置共	1	式			
	電気設備工事費計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1	受電設備改修工事						
	電線管	FEP80（埋設）	14	m			
	電線管	PE70（露出）	16	m			
	電線管	VE16（露出）	25	m			
	電線管	VE16（埋設）	6	m			
	ベルマウス	FEP80	2	個			
	異種管接続材	FEP80-PE70	2	個			
	ケーブル	6.6KV EM-CET38sq（PE管）	10	m			
	ケーブル	6.6KV EM-CET38sq（FEP管）	7	m			
	ケーブル	6.6KV EM-CET38sq（露出）	6	m			
	端末処理材	6.6KV EM-CET38sq（外）	1	個			
	端末処理材	6.6KV EM-CET38sq（内）	1	個			
	接地線	EM-IE 5.5sq	52	m			
	接地線	EM-IE 14sq	20	m			
	接地線	EM-IE 22sq	11	m			
	接地線	EM-IE 38sq	14	m			
	導入線	1.2mm	15	m			
	屋外キュービクル	屋外型2連	1	基			
	同上基礎		1	式			
	同上フェンス		1	式			
	気中開閉器	SOG7.2KV200A VT,LA内蔵	1	台			
	地絡継電器		1	台			
	引込柱	コンクリートポール CP-12-19-500Kg	1	本			



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	同上装柱材	根枷、支線、支線ガード、腕金装柱材	1	式			
	接地工事	EA/D	1	ヶ所			
	接地工事	EB	1	ヶ所			
	接地工事	EP、EC	2	ヶ所			
	接地票		4	枚			
	埋設標	コンクリート製	1	個			
	接地抵抗測定費		1	式			
	埋設シート	2倍	5	m			
	掘削埋戻し	D=600 L=7000	1	式			
	消火器函	防水SUS自立	1	個			
	消火器	ABC10型	1	個			
	竣工試験検査費		1	式			
	電力申請手続き費		1	式			
	運搬搬入費	キュービクル、コンクリートポール	1	式			
	小 計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
2	幹線設備工事						
	電線管	FEP30（埋設）	9	m			
	電線管	FEP40（埋設）	13	m			
	電線管	FEP50（埋設）	44	m			
	電線管	FEP65（埋設）	39	m			
	電線管	PE28（露出）	3	m			
	電線管	PE36（露出）	3	m			
	電線管	PE42（露出）	9	m			
	電線管	PE54（露出）	3	m			
	電線管	PE70（露出）	9	m			
	電線管	C51（露出）	2	m			
	電線管	E39（隠蔽）	1	m			
	電線管	VE16（露出）	12	m			
	電線管	VE16（埋設）	8	m			
	ベルマウス	FEP30	2	個			
	ベルマウス	FEP40	2	個			
	ベルマウス	FEP50	8	個			
	ベルマウス	FEP65	6	個			
	異種管接続材	FEP30-PE28	1	個			
	異種管接続材	FEP40-PE36	1	個			
	異種管接続材	FEP50-PE42	4	個			
	異種管接続材	FEP65-PE70	3	個			
	導入線	1.2mm	28	m			



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	プルボックス	SS500×250×250 SUS-WP	1	個			
	プルボックス	SS600×600×400 SUS-WP	1	個			
	ケーブル	EM-CET14sq (隠蔽)	17	m			
	ケーブル	EM-CET14sq (管内)	1	m			
	ケーブル	EM-CET22sq (隠蔽)	2	m			
	ケーブル	EM-CET22sq (管内)	3	m			
	ケーブル	EM-CET22sq (FEP管内)	13	m			
	ケーブル	EM-CET38sq (隠蔽)	37	m			
	ケーブル	EM-CET38sq (管内)	9	m			
	既存 ケーブル	EM-CET38sq (管内)	2	m			
	ケーブル	EM-CET38sq (FEP管内)	31	m			
	ケーブル	EM-CET100sq (隠蔽)	35	m			
	ケーブル	EM-CET100sq (管内)	3	m			
	ケーブル	EM-CET100sq (FEP管内)	13	m			
	ケーブル	EM-CEE8sq-2C (隠蔽)	138	m			
	ケーブル	EM-CEE8sq-2C (管内)	12	m			
	ケーブル	EM-CEE8sq-2C (FEP管内)	52	m			
	ケーブル	EM-CEE8sq-3C (隠蔽)	69	m			
	ケーブル	EM-CEE8sq-3C (管内)	6	m			
	ケーブル	EM-CEE8sq-3C (FEP管内)	26	m			
	ケーブル	EM-CEE2sq-2C (隠蔽)	35	m			
	ケーブル	EM-CEE2sq-2C (管内)	3	m			
	ケーブル	EM-CEE2sq-2C (FEP管内)	13	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C (隠蔽)	2	m			



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	接地線	EM-IE 5.5sq (隠蔽)	17	m			
	接地線	EM-IE 5.5sq (管内)	1	m			
	接地線	EM-IE 22sq (管内)	12	m			
	接地線	EM-IE 22sq (埋設)	8	m			
	警報盤	キュービクル漏電警報用 露出型2L	1	面			
	電灯盤	L-B	1	面			
	電灯盤	L-3	1	面			
	動力・電灯盤	LP-2 既存移設改修	1	面			
	子メーター盤 (積算電力計)	1φ3w200/100V、3φ3w200V	1	面			
	既存幹線分岐盤改修	ケーブル接続用端子3P200A	1	個			
	既存エアコン盤取外し再取付	既存 ELCB3P50/50	1	面			
	電動機結線		2	台			
	ハンドホール	900×900×900 中耐重蓋付	1	基			
	接地工事	ED	2	ヶ所			
	接地工事	ED (ELB)	2	ヶ所			
	接地票		2	枚			
	埋設標	コンクリート製	3	個			
	接地抵抗測定費		1	式			
	埋設シート	2倍	22	m			
	掘削埋戻し	D=600 L=13000	1	式			
	掘削埋戻し	D=600 L=9000	1	式			
	掘削埋戻し ハンドホール用	ハンドホール 900*900*900	1	ヶ所			
	区画貫通処理材	TAFNP39、51	1	個			
	区画貫通処理材	APW-75	1	個			







No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
3	動力設備工事						
	電線管	G28 (露出)	4	m			
	電線管	G36 (露出)	4	m			
	電線管	F2-30	1	m			
	電線管	F2-38	1	m			
	ケーブル	EM-CE5.5sq-4C (隠蔽)	12	m			
	ケーブル	EM-CE5.5sq-4C (管内)	4	m			
	ケーブル	EM-CE8sq-4C (隠蔽)	28	m			
	ケーブル 移設	EM-CE8sq-4C (管内)	4	m			
	プルボックス	SS200×200×200 SUS-WP	1	個			
	プルボックス	SS250×250×250 SUS-WP	1	個			
	区画貫通処理材	TAFNP39、51	2	個			
	小 計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
4	電灯設備工事						
	電線管	PF16 (隠蔽)	23	m			
	電線管	PF22 (隠蔽)	12	m			
	一種金属線ぴ	MM1-A	1	m			
	一種金属線ぴ	MM1-B	2	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C (隠蔽)	260	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C (PF管)	31	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-2C (MM)	3	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C (隠蔽)	41	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C (PF管)	15	m			
	ケーブル	EM-EEF1.6-3C (MM)	2	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-2C (隠蔽)	1	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-2C (PF管)	2	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C (隠蔽)	14	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C (PF管)	2	m			
	アウトレットボックス	中浅 VE	26	個			
	アウトレットボックス	大浅 VE	2	個			
	スイッチボックス	1ヶ用 VE	10	個			
	スイッチボックス	2ヶ用 MM用	1	個			
	ジョイントボックスボックス	MM用 角	1	個			
	ジョイントボックスボックス	操作スイッチ専用	3	個			
	プルボックス	SS150×150×150	4	個			
	埋込スイッチ	1P15A×1 枠付 金属プレート	7	個			



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	埋込スイッチ	1P15A×3 枠付 金属プレート	2	個			
	埋込スイッチ	1P15A×4 枠付 金属プレート	1	個			
	埋込コンセント	2P15A125V ×1 金属プレート付	1	個			
	全熱交換機用スイッチ	CS1 機械設備支給品	3	個			
	全熱交換機用スイッチ	CS2 機械設備支給品	4	個			
	熱センサ付自動スイッチ	親機 3A	3	個			
	熱センサ付自動スイッチ	子機	3	個			
	同上操作スイッチ	1回路用	3	個			
	区画貫通処理材	TAFNP19	1	個			
	区画貫通処理材	TAFNP25、31	1	個			
	照明器具 A	直付 LED 43.1 W WP	15	台			
	照明器具 B	ダウンライト LED 7.4 W センサ付	1	台			
	照明器具 C	ダウンライト LED 18.6 W	1	台			
	照明器具 D	ダウンライト LED 11.6 W	2	台			
	照明器具 E	ダウンライト LED 7 W	6	台			
	照明器具 F	ダウンライト LED 7 W	3	台			
	照明器具 G	ブラケット LED 11.7 W	4	台			
	照明器具 H	ブラケット LED 14.9 W WP ON,OFFセンサ付	1	台			
	照明器具 I	ブラケット LED 14.9 W WP 調光センサ付	3	台			
	誘導標識 J	避難口	3	台			
	誘導標識 K	通路誘導 矢印付	1	台			
	小計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
5	コンセント設備工事						
	電線管	PF16 (隠蔽)	62	m			
	〃	PF22 (隠蔽)	69	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-2C (隠蔽)	71	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-2C (PF管)	62	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C (隠蔽)	99	m			
	ケーブル	EM-EEF2.0-3C (PF管)	69	m			
	アウトレットボックス	中浅 VE	39	個			
	ノズルプレート	金属プレート	4	個			
	埋込コンセント	2P15A125V ×2 金属プレート付	16	個			
	埋込コンセント	2P15A125V E付 ×1 金属プレート付	10	個			
	埋込コンセント	2P15A125V E付 ×2 金属プレート付	1	個			
	防水コンセント	2P15A125V E付 ×3 ET付 金属プレート付	1	個			
	区画貫通処理材	TAFNP19	3	個			
	区画貫通処理材	TAFNP25、31	1	個			
	小計						











No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
1	衛生器具設備工事						
	車椅子対応便器	CS20AB 密結タンク SH30BA	1	組			
		ウッシュレット TCF5840PN					
		リモコン 他付属品一式					
	紙巻器	YH702					
	可動手摺	樹脂被覆タイプ T112HK7R	1	組			
	固定手摺	樹脂被覆タイプ T112CL11	1	組			
	傾斜鏡	LM531E 照明付き	1	組			
	手洗器	LSE50AP 自動水栓(単水栓)	1	組			
		壁給水 P型排水金物					
	洋風大便器	ハーフリクコンパ外便器 CS597BMS	3	組			
		密結タンク SH596BAYR					
		ウッシュレット TCF5830AUS					
		リモコン 他付属品一式					
	紙巻器	YH702					
	小便器	低リップセンサー一体型小便器	4	組			
		UFS900JCS 自動フラッシュ弁					
		他付属品一式					
	掃除用流し	SK22A 横水栓 T23AEQ20C	1	組			
		アングル型止水栓 TN114					
		床排水金物 (ストラップ)					
		他付属品一式					
	洗面器	はめ込み型洗面器(アンダーカウンター)	2	組			
		L532					



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
		自動単水栓(床給水)TLE22SS1A					
		自動水石鹸供給栓 TL0750J					
		ストラップ 他付属品一式					
	洗面器カウンター・化粧鏡	建築工事					
	自在水栓	TK130AUN13C	6	個			
	小計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
2	給水設備工事						
	水道用耐衝撃硬質塩化ビニル管	HIVP30 埋設	10	m			
	水道用耐衝撃硬質塩化ビニル管	HIVP20 埋設	4	m			
	水道用内外面塩ビライニング鋼管	VD32 埋設	1	m			
	水道用内外面塩ビライニング鋼管	VD20 埋設	1	m			
	管埋設費	サントクッション	1	式			
	水道用内面塩ビライニング鋼管	VB20 屋外架空	2	m			
	水道用内外面塩ビライニング鋼管	VD20 屋内土間埋設(屋内一般)	11	m			
	管埋設費	サントクッション	1	式			
	水道用内外面塩ビライニング鋼管	VB20 屋内一般隠蔽	3	m			
	水道用内面塩ビライニング鋼管	VD32 便所土間	7	m			
	水道用内面塩ビライニング鋼管	VD25 便所土間	5	m			
	水道用内面塩ビライニング鋼管	VD20 便所土間	19	m			
	管埋設費	サントクッション	1	式			
	水道用内外面塩ビライニング鋼管	VB20 便所隠蔽	3	m			
	断熱工事	屋外露出ラッキング共	1	式			



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	地下式不凍栓	20A×600L	1	庫			
	不凍栓BOX	VC-6	1	個所			
	地下式不凍栓	32A×600L	1	個			
	不凍栓BOX	VC-10	1	個所			
	凍結防止ヒーター巻き	自己制御型 2.0m	1	個所			
	吸気弁	15A	2	個			
	既設給水管切断・キャップ止め 樹脂管30A	樹脂管32A切断・キャップ止め	1	個所			
	既設給水管切断・接続 樹脂管30A	樹脂管32A切断・接続	2	個所			
	小計						
3	給湯設備工事						
	EW-1 小型電気温水器	流し台内設置 貯湯量 12L	1	組			
		1φ-100V-1.1KW					
		給水・給湯・排水接続金物セット					
	小計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
4	排水設備工事						
	枅類						
	T1 塩ビ小口径枅 目皿付トラップ枅 防護ハット	起点 50-75-200 GL-600	1	個所			
	1 塩ビ小口径枅 防護ハット	45L 75-75-150 GL-750	1	個所			
	2 塩ビ小口径枅 防護ハット	45Y 75-100-100-100-150 GL-1200	1	個所			
	T2 塩ビ小口径枅 目皿付トラップ枅 塩ビ蓋	起点 65-75-200 GL-750	1	個所			
	既設塩ビ小口径枅改修 防護ハット	45L 立上150φ(高さ調整)	1	個所			
	(既設小口径塩ビ枅蓋改修)						
	硬質塩化ビニール管	VP100 埋設	2	m			
	硬質塩化ビニール管	VP75 埋設	11	m			
	硬質塩化ビニール管	VP50 埋設	1	m			
	管埋設費	サントクッション	1	式			
	硬質塩化ビニール管	VP100 便所 土間	17	m			
	硬質塩化ビニール管	VP75 便所 土間	5	m			
	硬質塩化ビニール管	VP65 便所 土間	1	m			
	硬質塩化ビニール管	VP50 便所 土間	7	m			
	硬質塩化ビニール管	VP40 便所 土間	6	m			
	管埋設費	サントクッション	1	式			
	硬質塩化ビニール管	VP50 便所 隠蔽	3	m			
	硬質塩化ビニール管	VP100 屋内一般	5	m			
	硬質塩化ビニール管	VP75 屋内一般	10	m			



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	硬質塩化ビニール管	VP65 屋内一般	1	m			
	硬質塩化ビニール管	VP50 屋内一般	5	m			
	硬質塩化ビニール管	VP40 屋内一般	2	m			
	管埋設費	サントクッション	1	式			
	硬質塩化ビニール管	VP50 屋内一般 隠蔽	1	m			
	通気管	VP65 屋内一般	9	m			
	通気管	VP50 屋内一般	6	m			複合単価
	ステンレス流し用排水トラップ	T14AA50	2	庫			
	床上掃除口 塩ビシート用	COA200	4	個			
	床上掃除口 塩ビシート用	COA150	1	個			
	床上掃除口 塩ビシート用	COA100	3	個			
	床上掃除口 塩ビシート用	COA75	2	個			
	通気金物	VC65	1	個			
	通気金物	VC50	1	個			
	既設排水管切断・接続 樹脂管75A		1	個所			
	既設排水管切断・接続 樹脂管100A		2	個所			
	断熱・塗装工事		1	式			
	小計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
5	冷暖房・暖房設備工事						
	AC-1 AC-2	パッケージエアコン	2	組			
		屋外機 冷暖房能力12.5/14.0KW					
		エアガード・安全ネット・背面用網					
	AC1-1 AC2-1 天井カセット4方向形	屋内機 冷暖房能力14.0/16.0KW					
		自動昇降キット・昇降パネルリモコン・防振吊金物・ワイヤードリモコン					
	スプリング式防振架台	140形用	2	組			
	全上搬入・設置工事	防振架台・安全ネット・背面用網	2	組			
		室内機防振・振止工事					
		後施工ステンレスアンカー共					
	冷媒液充填	不足分共	2	組			
	真空引・気密試験・試運転調整		2	組			
	AC-3	ルームエアコン	1	組			
		屋外機 冷暖房能力2.8/4.0KW					
		安全ネット・防振パット・背面用網					
	AC3-1 天井カセット1方向形	屋内機 冷暖房能力2.8/4.0KW					
		ワイヤレスリモコン					
	全上搬入・設置工事	防振パット・安全ネット・背面用網	1	式			
	防振パット	他一式					
		室内機防振・振止工事					
		後施工ステンレスアンカー共					



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
	冷媒液充填	不足分共	1	式			
	真空引・気密試験・試運転調整		1	式			
	冷媒配管						
	空調用冷媒管	9.53φ/15.88φ 屋外架空	9	m			
	空調用冷媒管	6.35φ/12.7φ 屋外架空	6	m			
	空調用冷媒管	9.53φ/15.88φ 屋内一般	27	m			
	空調用冷媒管	6.35φ/12.7φ 屋内一般	13	m			
	断熱工事	ラッキング共	1	式			
	ドレン配管						
	断熱樹脂管	25φ 屋外架空	8	m			
	断熱樹脂管	20φ 屋外架空	4	m			
	断熱樹脂管	25φ 屋内一般	27	m			
	断熱樹脂管	20φ 屋内一般	13	m			
	渡配線・電源線 AC-1・2	VVF-2.0° -3C	35	m			
	アース線 AC-1・2	IV2.0°	35	m			
	渡配線・電源線 AC-3	VVF-2.0° -3C	18	m			
	リモコン配線 AC-1・2・3	CVVS-1.25° -2C	21	m			
	天井点検口(アルミ枠)	450x450 天井材貼り	3	個所			
		エアコン室内機用					
	外壁開口・防水	100φ	2	個所			
	外壁開口・防水	75φ	1	個所			
	界壁貫通部処理	100φ	1	個所			
	界壁貫通部処理	75φ	1	個所			
	OT-1 地上灯油タンク(既製品)	実貯油量 430L	1	台			



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
		格納庫・防油堤 危険物表示					
		通気金物・給油口・返油口					
	工場組立費	雑材料共	1	式			
	運賃	ユニットチャーター費	1	式			
	設置工事	アンカーボルト設置	1	式			
	後施工ステンスアンカー共						
	FF-1 石油FF温風暖房機	暖房能力 3.44～11.0KW	2	台			
		薄型吸排気筒・薄型吸排気筒保護ガード					
		FF保護ガード					
		電磁弁付給油バルブセット					
		耐震固定金物					
	外壁開口・防水処理	FF吸排気筒用 75φ	2	個所			
	配管用炭素鋼鋼管	黒GP15A 溶接 屋外架空	40	m			
	配管用炭素鋼鋼管	黒GP15A 溶接 屋内一般	1	m			
	塗装工事	防食	1	式			
	マレアップル弁 JIS16.0K	15A	3	個			
	SUS・FJ L=300	15A	1	個			
	外壁開口・防水処理	オイル配管用 38φ	2	個所			
	EH-1 電気パネルヒーター	壁掛ステンス製	1	台			



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
		定格1φ-200V-1.0KW					
		サーモスタット(0° C～40° C・ON/OFFスイッチ					
	EH-2 電気パネルヒーター	壁掛ステンレス製	2	台			
		定格1φ-200V-1.5KW					
		サーモスタット(0° C～40° C・ON/OFFスイッチ					
	EH-3 電気パネルヒーター	壁掛ステンレス製	1	台			
		定格1φ-200V-2.0KW					
		サーモスタット(0° C～40° C・ON/OFFスイッチ					
	小計						



No.	名称	摘要	数量	単位	単価	金額	備考
6	換気設備工事						
	F-1 換気扇 天井埋込形	換気風量 460CMH	2	台			
	F-2 換気扇 天井埋込形	換気風量 310CMH	1	台			
	F-3 換気扇 天井埋込形	換気風量 215CMH	1	台			
	F-4 換気扇 天井埋込形	換気風量 100CMH	1	台			
	F-5 換気扇 天井埋込形		1	台			
	※吊金物・コントロールスイッチ・換気フード共						
	EX-1 換気扇 ロスナイ	壁取付形 換気風量	1	台			
		給/排 43/37.5CMH					
		給排気パイプ コントロールスイッチ					
		給排気フード					
	OA-1 自然給気口	天井給気グリル(フィルター付)150φ	2	台			
		換気フード					
	防火ダンパー	FD150φ	1	個			
	スパイラルダクト	SD150φ	9	m			
	スパイラルダクト	SD100φ	12	m			
	フレキシブルダクト	FD150φ	4	m			
	フレキシブルダクト	FD100φ	1	m			
	断熱工事 GW25	150φ・100φ	1	式			
	外壁開口工事 100φ用		4	個所			
	外壁開口工事 150φ用		6	個所			
	内壁開口工事 100φ用		1	個所			
	小計						



令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業 堀金児童館改修工事

図面番号	図面名	縮尺	図面番号	図面名	縮尺
	図面リスト				
A-1	特記仕様書 1		E-1	電気設備特記仕様書	
A-2	特記仕様書 2		E-2	配置図（受変電・幹線設備図）	1/150
A-3	特記仕様書 3		E-3	受変電設備結線図	1/100
A-4	特記仕様書 4		E-4	屋外キュービクル姿図	
A-5	仕上表		E-5	動力・電灯分電盤図	
A-6	配置図・案内図	1/250	E-6	動力・弱電設備図・ 撤去・改修平面図	1/100
A-7	改修・既存平面図 求積図 面積表 法チェック	1/100	E-7	照明姿図	
A-8	改修平面詳細図	1/50	E-8	電灯設備図 撤去・改修平面図	1/100
A-9	改修立面図	1/50	E-9	コンセント設備図 撤去・改修平面図	1/100
A-10	改修・既存屋根伏図 改修・既存天井伏図	1/100			
A-11	改修矩計図 1	1/20			
A-12	改修矩計図 2	1/20			
A-13	改修矩計図 3	1/20	M-1	機械設備工事特記仕様書	
A-14	改修展開図 1	1/300	M-2	メーカーリスト・凡例・衛星器具表・機器表	
A-15	改修展開図 2	1/50	M-3	衛生機器 配置図・灯油タンク参考図	1/250
A-16	建具家具キープラン	1/100	M-4	給排水衛生設備改修平面詳細図	1/50
A-17	建具表	1/50	M-5	冷暖房・暖房設備平面詳細図	1/50
A-18	家具図	1/50	M-6	換気設備平面詳細図	1/50
A-19	外構図・仮設計画図	1/250	M-7	施工標準図	
A-20	既存平面詳細図	1/50			
A-21	既存立面図	1/50			
A-22	既存矩計図 1	1/20			
A-23	既存矩計図 2	1/200			
A-24	既存展開図 1	1/50			
A-25	既存展開図 1	1/50			
A-26	既存児童館参考図	1/50			
A-27	現状写真				





[illegible]



4-1	外壁改修工事 共通事項	・ポリマーセメントモルタル ポリマーセメントモルタルの種類 合成ゴム系、アクリル系、エチレン・酢ビ系等 曲げ強さ (N/mm2) 圧縮強さ (N/mm2) 標準時 湿潤時 低湿時 6.0以上 20.0以上 0.8以上 0.5以上 表面状態 だれのり下り量は5mm以内とし、ひび割れが発生していないこと。 透水性 裏面の漏れ、水滴の付着がないこと。 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。 ・ポリマーセメントスラリー 広がり速度 (cm/s) 長さ変化率 (収縮) 引張接着性 (材齢28日) 曲げ性能 (材齢28日) 吸水性 (72時間) 耐久性 (劣化曲げ強さ) 3以上 3%以下 0.5N/mm2以上 5.0N/mm2以上 15%以下 5.0N/mm2以上 保水係数 0.35～0.55 粘弾係数 0.50～1.00 ・吸水調整材 項目 品質・性能 全面分(%) 表示値±1%以内 30分間で1g以下 吸水性(g) 30分間で1g以下 0.98以上 0.98以上 界面破壊率(%) 50%以上 均質で有害と認められる異物の混入がないこと。	(4.2.2)	4. 浮き部改修工法	改修工法の種類 (モルタルを撤去しない場合) ・アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法 ・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法 ・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法 アンカーピン 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの ・ 注入口付アンカーピン 材質 ※ステンレス SUS304、呼び径外径6mm ・	(4.1.4) (4.4.10～4.4.15) (表4.4.3) (表4.4.4)	4-5 外壁改修工事 塗り仕上げ外壁	1. 既存塗膜等の除去 及び下地処理 既存塗膜劣化部の除去、下地処理の工法 (4.6.3) (表4.6.1～表4.6.4) 工 法 処 理 範 囲 下 地 面 の 補 修 ※サンダー工法 ※既存仕上面全体 ・ ・ ・高圧水洗工法 ※既存仕上面全体 ・ 加圧力 ※30MPa 程度以上 ・ ・ ・塗膜及び剥離工法 ※既存仕上面全体 ・ ・水洗い工法 ※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・ ※下地調整塗材 ・ポリマーセメントモルタル ・防水形仕上げ塗材主材を使用 (4.2.2) (4.6.3) 種類、仕上げの形状、工法 (4.1.4) (4.2.2) (表4.2.3) (表4.2.4) 種 類 呼 び 名 仕 上 げ の 形 状 ・薄付け仕上塗材 ・外装薄塗材 S i ・可とう形外装薄塗材 S i ・外装薄塗材 E ・砂壁状 ・着色骨材砂壁状 ・可とう形外装薄塗材 E ・砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・防水形外装薄塗材 E ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状 ・外装薄塗材 S ・砂壁状 ・複層仕上塗材 ・複層薄塗材 C E ・可とう形複層塗材 C E ・複層塗材 S i ・複層塗材 E ・複層塗材 R E ・複層塗材 R S ・防水形複層塗材 C E ・防水形複層塗材 E ・防水形複層塗材 R E ・防水形複層塗材 R S ・可とう系改修用 仕上塗材 ・可とう形改修塗材 E ・可とう形改修塗材 R E ・可とう形改修塗材 C E ・平たん状 ・さざ波状 ・ゆず肌状 防水材料の指定が必要な場合 (4.2.2) (15.5.2) ※建築基準法に基づく認定を受けた材料とする。	2. 下地調整材 3. 仕上げ塗材仕上げ
4-2	外壁改修工事 コンクリート打放し仕上げ外壁	※樹脂注入工法 注入工法の種類 ひび割れ幅 (mm) 注入口間隔 (mm) 注入量 (ml/m) 備 考 ※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～1.0未満 ※200～300 ※ ・手動式エポキシ樹脂注入工法 0.2以上～0.3未満 ※50～100 ※40 ・ 0.3以上～0.5未満 ※100～200 ※70 ・機械式エポキシ樹脂注入工法 0.5以上～1.0未満 ※150～250 ※130 ・ ・ 注入材料 ※建築補修用注入エポキシ樹脂 (JIS A6024低粘度形又は中粘度形) ・ 検査 (コア抜き取り) ※行わない ・行う (抜取り部の補修方法： ) ・ウレタンシール材充填工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.5) 充てん材料 品質・規格等 備 考 ・シーリング用材料 ※1成分形又は2成分形 ポリマーセメントモルタルの充てん ※行わない ・行う ・可とう性エポキシ樹脂 ・ ・シール工法 (4.1.4) (4.2.2) (4.3.6) シール材料 品質・規格等 ・パテ状エポキシ樹脂 ・可とう性エポキシ樹脂	(4.1.4) (4.3.4～4.3.6)	4-4 外壁改修工事 タイル張り仕上げ外壁	1. 既存タイル張りの撤去 2. ひび割れ部改修工法 3. 欠損部改修工法 4. 浮き部改修工法 5. 陶磁器質タイル張り 6. 目地改修工法 7. 既存モルタル張りの撤去 8. ひび割れ部改修工法 9. 浮き部改修工法 10. 目地改修工法 11. 既存モルタル張りの撤去 12. ひび割れ部改修工法 13. 浮き部改修工法 14. 目地改修工法 15. 既存モルタル張りの撤去 16. ひび割れ部改修工法 17. 浮き部改修工法 18. 目地改修工法 19. 既存モルタル張りの撤去 20. ひび割れ部改修工法 21. 浮き部改修工法 22. 目地改修工法 23. 既存モルタル張りの撤去 24. ひび割れ部改修工法 25. 浮き部改修工法 26. 目地改修工法 27. 既存モルタル張りの撤去 28. ひび割れ部改修工法 29. 浮き部改修工法 30. 目地改修工法 31. 既存モルタル張りの撤去 32. ひび割れ部改修工法 33. 浮き部改修工法 34. 目地改修工法 35. 既存モルタル張りの撤去 36. ひび割れ部改修工法 37. 浮き部改修工法 38. 目地改修工法 39. 既存モルタル張りの撤去 40. ひび割れ部改修工法 41. 浮き部改修工法 42. 目地改修工法 43. 既存モルタル張りの撤去 44. ひび割れ部改修工法 45. 浮き部改修工法 46. 目地改修工法 47. 既存モルタル張りの撤去 48. ひび割れ部改修工法 49. 浮き部改修工法 50. 目地改修工法 51. 既存モルタル張りの撤去 52. ひび割れ部改修工法 53. 浮き部改修工法 54. 目地改修工法 55. 既存モルタル張りの撤去 56. ひび割れ部改修工法 57. 浮き部改修工法 58. 目地改修工法 59. 既存モルタル張りの撤去 60. ひび割れ部改修工法 61. 浮き部改修工法 62. 目地改修工法 63. 既存モルタル張りの撤去 64. ひび割れ部改修工法 65. 浮き部改修工法 66. 目地改修工法 67. 既存モルタル張りの撤去 68. ひび割れ部改修工法 69. 浮き部改修工法 70. 目地改修工法 71. 既存モルタル張りの撤去 72. ひび割れ部改修工法 73. 浮き部改修工法 74. 目地改修工法 75. 既存モルタル張りの撤去 76. ひび割れ部改修工法 77. 浮き部改修工法 78. 目地改修工法 79. 既存モルタル張りの撤去 80. ひび割れ部改修工法 81. 浮き部改修工法 82. 目地改修工法 83. 既存モルタル張りの撤去 84. ひび割れ部改修工法 85. 浮き部改修工法 86. 目地改修工法 87. 既存モルタル張りの撤去 88. ひび割れ部改修工法 89. 浮き部改修工法 90. 目地改修工法 91. 既存モルタル張りの撤去 92. ひび割れ部改修工法 93. 浮き部改修工法 94. 目地改修工法 95. 既存モルタル張りの撤去 96. ひび割れ部改修工法 97. 浮き部改修工法 98. 目地改修工法 99. 既存モルタル張りの撤去 100. ひび割れ部改修工法 101. 浮き部改修工法 102. 目地改修工法 103. 既存モルタル張りの撤去 104. ひび割れ部改修工法 105. 浮き部改修工法 106. 目地改修工法 107. 既存モルタル張りの撤去 108. ひび割れ部改修工法 109. 浮き部改修工法 110. 目地改修工法 111. 既存モルタル張りの撤去 112. ひび割れ部改修工法 113. 浮き部改修工法 114. 目地改修工法 115. 既存モルタル張りの撤去 116. ひび割れ部改修工法 117. 浮き部改修工法 118. 目地改修工法 119. 既存モルタル張りの撤去 120. ひび割れ部改修工法 121. 浮き部改修工法 122. 目地改修工法 123. 既存モルタル張りの撤去 124. ひび割れ部改修工法 125. 浮き部改修工法 126. 目地改修工法 127. 既存モルタル張りの撤去 128. ひび割れ部改修工法 129. 浮き部改修工法 130. 目地改修工法 131. 既存モルタル張りの撤去 132. ひび割れ部改修工法 133. 浮き部改修工法 134. 目地改修工法 135. 既存モルタル張りの撤去 136. ひび割れ部改修工法 137. 浮き部改修工法 138. 目地改修工法 139. 既存モルタル張りの撤去 140. ひび割れ部改修工法 141. 浮き部改修工法 142. 目地改修工法 143. 既存モルタル張りの撤去 144. ひび割れ部改修工法 145. 浮き部改修工法 146. 目地改修工法 147. 既存モルタル張りの撤去 148. ひび割れ部改修工法 149. 浮き部改修工法 150. 目地改修工法 151. 既存モルタル張りの撤去 152. ひび割れ部改修工法 153. 浮き部改修工法 154. 目地改修工法 155. 既存モルタル張りの撤去 156. ひび割れ部改修工法 157. 浮き部改修工法 158. 目地改修工法 159. 既存モルタル張りの撤去				



内装改修工事	6	7. 防腐・防蟻処理	行う箇所（ 防腐処理 ※行う（※図示 防蟻処理 ※行う（※図示 防腐、防蟻処理の種類、品質 表面処理用木材保存（防腐、防蟻）剤は、監督職員の承諾するものとする。 クロリビロスを含むものを添加しないこと。	7. 防腐・防蟻処理
	8	床板張り	フローリング及び縁甲板張り床 ※無し 下張り用床板 ・有り ※合板張り ・板張り 床板 ※単層フローリング （標準19.5.2による） ・縁甲板 ホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種 ホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種 ※ひのき	8. 床板張り
	9	軽量鉄骨天井地下	野縁等の種類 屋外（・19型 ※25型） 屋内（※19型 ・25型） 既存の埋込インサート ・使用する ・使用しない あと施工アンカーの引抜き試験 ※行う ・行わない ※天井ふところ1.5m以上の場合は吊りボルトの補強を行う 耐震性を考慮した補強 ※図示 屋外軒天井及びビロディー天井等における耐風圧性を考慮した補強 ※図示	9. 軽量鉄骨天井地下
	10	軽量鉄骨壁地下	スタッドの高さが5 mを越える場合 ※図示	10. 軽量鉄骨壁地下
	11	ビニル床シート張り	種 類 JISの記号 色 柄 厚さ(mm) ※発泡層のないもの ※N C ・ ※無地 ・マーブル柄 ※2.5 ・発泡層のあるもの ※柄物 ・無地 工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所： （6. 8. 2）	11. ビニル床シート張り
	12	ビニル床タイル張り	種 類 JISの記号 厚さ(mm) 備 考 ※コンポジションビニル床タイル（半硬質） C T ※2 ・コンポジションビニル床タイル（軟質） C T S ・ ・ホモジニアスピニル床タイル H T ・	12. ビニル床タイル張り
	13	帯電防止床タイル張り	種 類 厚さ(mm) 性 能 ・コンポジションビニル床タイル ※2 ・ 体積抵抗値(JIS K6911による)1.0×10 <sup>10</sup> Ω以下、 ・ホモジニアスピニル床タイル ※4.0又は4.5 または、漏えい抵抗値(JIS A1454による)1.0 ・ ×10 <sup>9</sup> Ω未満	13. 帯電防止床タイル張り
	14	視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）	ブロックパターンはJIS T 9251による 色彩は黄色を原則とする 屋 内 ※塩化ビニル製 ・磁器又はセラミックスタイル（※300 ・レジンコンクリート製 屋 外 ※レジンコンクリート製 ・磁器又はセラミックスタイル（※300 高さ(mm) ※60 ・75 ・100	14. 視覚障害者用床タイル（誘導用及び注意喚起用床材）
	15	ビニル幅木	（6. 10. 3）(表6. 10. 3～表6. 10. 7)	15. ビニル幅木
	16	合成樹脂塗床	種 別 仕 上 げ の 種 類 ・弾性ウレタン塗床材 ※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ ・エポキシ樹脂塗床材 ※薄膜流し膜べ仕上げ ・厚膜流し膜べ仕上げ（※平滑 ・防滑） ・樹脂モルタル仕上げ（※平滑 ・防滑） ・防滑仕上げ ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種	16. 合成樹脂塗床
	17	フローリング張り 文給品	（6. 11. 2～6. 11. 7）(表6. 11. 1～表6. 11. 4) 種 別 材 種 工 法 仕上げ塗装等 備 考 ※天然木化粧複合フローリング ※なら ※釘どめ工法（C種） ※塗装品 ・単層フローリング ・ひのき ・ ※無塗装品 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種	17. フローリング張り 文給品
	18	畳敷き	（6. 12. 2）(表6. 12. 3）(表6. 12. 1） 下 地 の 種 類 畳 の 種 別 改修標準表6.5.9による床組 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種（ ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロ） ※C種 ・D種（ 畳表及び畳床は揮発性有機化合物含有量が少ないものとする	18. 畳敷き
	19	ポリスチレンフォーム床下地材	ノンフロンのもの 畳下地 厚さ(mm) ※40 ・65 ・80 （不燃） フローリング類 厚さ(mm) ※80 ・95 （不燃）	19. ポリスチレンフォーム床下地材
	20	カーペット敷き	・織じゅうたん 種 別 バイル形状 色 柄 備 考 ・A種 ・カットバイル ※単一色（無地） ・B種 ・ループバイル ・柄物（標準品） ・C種 ・カット、ループバイル併用 帯電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・タフテッドカーベット バイル形状 バイル長（mm） 工 法 備 考 ・カットバイル ※5～7 ・ ※全面接着工法 ・ループバイル ※4～6 ・ グリッター工法 ・カット、ループ併用 帯電性 ※人体帯電圧3kV以下 ・タイルカーペット バイル形状 種 類 種 類 総厚さ(mm) 備 考 ※ループバイル ※第一種 ※500×500 ※6.5 ・第二種 ・ ・カットバイル ・カット、ループ併用 帯電性 ※人体帯電圧3kV以下（フローリング7種敷設範囲）	20. カーペット敷き
	21	せっこうボードその他 ボード張り	（6. 13. 2）(表6. 13. 1) 種 類 JISの記号 厚さ（mm）、規格等 ・硬質モセメント板 HW ・15 ・20 ・25 ・ ・普通モセメント板 HW ・15 ・20 ・25 ・ ・硬質木片セメント板 NF ・15 ・20 ・25 ・ ・化粧けい酸カルシウム板 0.8FK タイプ2（無石棉） ・6 ・8 ・ロックウール化粧吸音板（内部用） DR ※フラットタイプ（※9（不燃） ・12 ・ ・凹凸タイプ（※12（不燃） ・15 ・19 ・ ・ロックウール化粧吸音板（外部用） ※フラットタイプ（※9（不燃） ・12 ・ ・凹凸タイプ（※12（不燃） ・15 ・19 ・ ・せっこうボード GB-R ・9.5（準不燃） ・12.5（不燃） ・不燃積層せっこうボード GB-NC 9.5（不燃） 化粧無（下地張り用） 化粧有（トラバーチン模様） ・シージングせっこうボード GB-S 12.5（不燃） ・強化せっこうボード GB-F ・12.5（不燃） ・15.0（不燃） ・せっこうラスボード GB-L 9.5 ・化粧せっこうボード 9.5（不燃） ・化粧せっこうボード（木目） GB-D 12.5（不燃） 幅440程度 模様（※柱目 ・板目）専用下地材付き ・普通合板（難燃処理） ・生地、透明塗料塗り（ラワン合板程度） ・不透明塗料塗り（しな合板程度） ・メラミン樹脂化粧板 — JIS K6903による 厚さ1.2 ・ディザインデザインボード MDF ・3 ・7 ・9 ・12 ・単板張りパーティクルボード ・無研磨板VS ・10 ・12 ・15 ・18 ・ハードボード（素地） HB ・素地 ・RH-HB ・RS-HB ・2.5 ・3.5 ・5 ・7 ・インシュレーションボード IB ・T-IB ・A-18 ・S-1B ・9 ・12 ・15 ・18 合板類、繊維板及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種	21. セッコウボードその他 ボード張り
	22	吸音材	（表6. 13. 1） 種 類 JISの記号 厚さ（mm） ・ロックウール吸音ボード1号 RW-B ※25 ・ ・グラスウール吸音ボード32K GW-B ※25 ・	22. 吸音材
	23	壁紙張り	（表6. 14. 2） 施 工 箇 所 壁 紙 の 種 類 防火性能の級別 備考 紙 織物 ビニル 化学繊維 無機質 ※不燃 ・準不燃 ・難燃 ※不燃 ・準不燃 ・難燃 ※不燃 ・準不燃 ・難燃 ※不燃 ・準不燃 ・難燃 ※不燃 ・準不燃 ・難燃 素地こしらえ モルタル、プaster一面 ※R B種 ・R A種（施工箇所： せっこうボード ※R B種 ・R A種（施工箇所： 壁紙のホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種	23. 壁紙張り
	24	モルタル塗り材料	（6. 15. 3） 吸水調整材 全固形率(%) 吸水量(g) 接着強度(N/mm2) 界面破壊率(%) 表示値±1.0 30分で1g以下 0.98以上 50以下 均質で有害と認められる異物の混入がないこと 防水剤（防水モルタル塗りの混入剤） 防水剤の種類 建築用のモルタルに用いるセメント防水剤（JIS A1404による試験） 混合割合 凝結時間 曲げ及び圧縮強度比 吸水比 透水性 セメント重量 JIS R 5201の試験において 70%以上 95%以下 80%以下 5%以下 始発 1時間以上 終結 10時間以内 294.0kPa/h 膨張性のひび割れ及びそりががないこと。JIS R5201の試験9 既製目地材 ※適用しない ・適用する	24. モルタル塗り材料
	25	陶磁器質タイル張り	（表6. 16. 3） タイルの種類 施工箇所 形状寸法(mm) 磁器 せっろ 陶器 無釉 施釉 役 物 色 備考 き じ 釉 薬 役 物 色 役物：標準的な曲がり（小口、標準、二丁、屏風）の役物は一体成形とする タイルの見焼き ※行わない ・行う（※外壁タイル ・ 内壁タイル ※壁タイル接着剤張り ・積上げ張り	25. 陶磁器質タイル張り
	26	断熱材	（表19.9.2）[表9.9.3] 種 類 施工箇所 厚さ（mm） 品質等 ・押出法 ※2種 b ※一般部 ※25 ・ ノンフロンのもの ・引張り ・保温板 ※3種 b ・ 接地部分 ※25 ・ ノンフロンのもの ・現場発泡 ※A種 1 ※断熱材補修部分 — ノンフロンのもの 断熱材 ・一般部 ・ ※15 ・ ※難燃性 ロウカ、グラウカ、フェノール、エポ樹脂又はアミン樹脂を使用した断熱材の熱伝導率放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種	26. 断熱材
	27	浴室天井材	市販品 材 質 表面仕上げ 幅(mm) 備 考 ※アルミニウム製 ※焼付け塗装品 準不燃品 ※200 回り縁は種付とし、製造所 ・アルマイト処理品 ・100 ・硬質塩化ビ製 ※塗装品 ※300 ・木目調 ・100	27. 浴室天井材
28. フリーワード	28	フリーワード	（表20.2.2） 施工箇所 構 法 仕上り高(mm) 適用地震時 耐荷重性能 表面仕上げ材 水平力 ・バ 林構法 ・1.0G ・3,000N ・帯電防止床タイル ・溝構法 ・0.6G ・5,000N ・タイルカーベット ・バ 林構法 ・1.0G ・3,000N ・帯電防止床タイル ・溝構法 ・0.6G ・5,000N ・タイルカーベット 耐震性能5000Nについては、平成元年建設省告示第1322号「耐震型フリーワードの開発」の建設技術評価において評価を取得したものは同等品とする。 表面仕上げ材の品質・規格等は、各内容工事による スロープ及びボーダー ※製造所の標準仕様 ・図示 コンセント等の取付け対応 ※製造所の標準仕様（コンセント本体は別途設備工事） コンセントの箇所数は図示 配線用取り出しパネル 配線用取り出し開口：パネル1枚につき40mm×80mm程度の開口1ヶ所以上 フリーアクセスフロア全体面積に対する設置割合 ※20～30パーセント 空調用吹き出しパネル ※無し ・有り（※固定式 ・可変式；施工箇所は図示）	28. フリーワード
	29	可動間仕切	（表20.2.3） 構造形式 パネル部の 総厚さ(mm) 表面材種 厚さ(mm) 表面仕上げ 遮音性能 防火性能 ※パネル式 ・ ※鋼板 ※メラミン樹脂又は アクリル樹脂焼付け ・スタッド式 (※0.6 ・0.8) ・ ・ なし ・スタッドパネル式 ・ ・	29. 可動間仕切
	30	移動式間仕切	（表20.2.4） 遮音性能による区分 厚さ（mm） 表面材 表面仕上げ 操作方法 ・一般タイプ ※ 鋼 板 ・焼付け塗装 ・手動式 ・電動式 ・壁紙張り ・部分電動式 ・遮音タイプ ※ 鋼 板 ・焼付け塗装 ・手動式 ・電動式 （36dB以上） ・ ・ 壁紙張り ・部分電動式 表面仕上げの壁紙張りの品質は23 壁紙張りによる 遮音性能はJIS A 6512の遮音試験に準拠する	30. 移動式間仕切
	31	トイレブース	（表20.2.5） 表面仕上げ材 ※メラミン樹脂系化粧板（標準色 アルミ製コーナーエッジ付き） ・ポリエステル樹脂系化粧板 足形状 ※幅木型 ・足金物型	31. トイレブース
	32	階段滑止め	（表20.2.6） 材 種 ステンレスSUS304 形 状 ビニルタイヤ入り 間隙フラットエンド ※有り（・ステンレス製 ※ビニル製） ・無し 幅(mm) 約35 取付け工法 ※接着工法 ・埋込み工法	32. 階段滑止め
	33	階段手すり	（表20.2.8） 種 別 施工箇所 ※集成材クリアラッカー仕上げ （市販品 径 約45mm） ・ビニル製ハンドレール（幅 約50mm）	33. 階段手すり
	34	黒板及び ホワイトボード	（表20.2.8） 種 類 寸法(mm) 色 彩 備 考 ・黒板 ※焼付け ※緑 ・黒 ※平面 ・曲面 ・スクリーン引分け ・ホワイト ※ほうろう ※白 ※平面 ・曲面 ・スクリーン引分け ボード	34. 黒板及び ホワイトボード
	35	表示	（表20.2.10） 衝突防止表示 ※図示（市販品 ※ステンレス製 径約30mm ・ （・両面 ・片面） ・無し 表示標識 案内用図記号についてはJIS Z 8210による。 誘導標識、非常用進入口表示等は市販品とし、その他は共通詳細図による。	35. 表示
	36	ブラインド	（表2.3.1）(5.1.6） ・既存再使用する（養生方法： ・新設する （表20.2.12） 形 式 種 類 スラットの材種 スラットの幅（mm） ※横型 ※ギア式 ・コード式 ※アルミニウム合金製 ※25 操作棒式 ・ ・縦型 ・1本操作コード式 ・アルミスラット ・80 ※2本操作コード式 ・クロススラット ・100	36. ブラインド
	37	ロールスクリーン	（表20.2.13） 防火性能 ※有り 施工箇所 装 置 性 能 備 考 電動 手引（防火性能）	37. ロールスクリーン
	38	カーテン	（表2.3.1）(5.1.6） ・既存再使用する（養生方法： ・新設する （表20.2.14） 施工箇所 形 式 装 置 名称品質 ひだの種類 片 引 分 電 動 ひも引 手 引	38. カーテン
	39	カーテンレール	（表5.1.6） ・既存再使用する ・新設する （表20.2.14） 材種 ※アルミニウム製 ・ステンレス製 形式 ・片引き ・引分け（※暗器用は300mm以上の召合せの重掛けとする）	39. カーテンレール
	40	ブラインドギック 及びカーテン ス	（表5.1.6） ・既存再使用する ○木製 ・新設する ※市販品（アルミニウム製 押出し型材） 溝幅×深さ(mm) ・90×150 ※120×80 ・120×150 ・150×80 色彩 ※B-1 ・B-2（※ブラウン系 ・ブラック ・ステンカラー） ・図示	40. ブラインドギック 及びカーテン ス
43. 鋼製書架及び物品棚	43	鋼製書架及び物品棚	（表JIS S1039の規格による） 種 類 規 格 等 JISによる種類 ・鋼製書架 ・1種 ・2種 ・3種 ・鋼製物品棚 ・4種 ・5種 ・6種 市販品 材質 ・塩化ビニル製（コイル材 ステンレス製受枠） ・ビニル製（ステンレス製受枠） ・硬質アルミニウム製（受枠共） ・ステンレス製（受枠共）	43. 鋼製書架及び物品棚
	44	くつふきマット	（表6.5.11） 種 類 寸法(L= mm) 適用内容 規格；品質 ・流し台 ※1200 ○1500 ・1800 トラップ付き ※優良住宅部品 ・コンロ台 ※600 ・700 ・ バックガード ※有り （セクショナルキッチンⅠ型） ・つり戸棚 ※1200 ・900 ・600 ・ ・水切り棚 ※1200 ・900 ・ ステンレス製 ※1段式 ※市販品	44. くつふきマット
	45	流し台ユニット	（表6.5.11） 種 類 寸法(L= mm) 適用内容 規格；品質 ・流し台 ※1200 ○1500 ・1800 トラップ付き ※優良住宅部品 ・コンロ台 ※600 ・700 ・ バックガード ※有り （セクショナルキッチンⅠ型） ・つり戸棚 ※1200 ・900 ・600 ・ ・水切り棚 ※1200 ・900 ・ ステンレス製 ※1段式 ※市販品	45. 流し台ユニット
	46	屋内掲示板	（表6.5.11） 枠の材質 ※アルミニウム製 板面の材質 ※塩化ビニルシート張り	46. 屋内掲示板
	47	洗面カウンター	（表6.5.11） 材質 ・メラミン樹脂化粧板張り（心材：集成材） ・人工大理石（仕様 ※図示） 厚さ(mm) ※約450 ・約600	47. 洗面カウンター
	48	収納家具	（表12.2.2）[表19.7.2] 材質 ・ 形状・寸法 ※図示 合板類、MDF及びパーティクルボードの熱伝導率放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種	48. 収納家具
	49	防煙重れ壁	（表6.5.11） ・固定式 材 質 厚さ(mm) 高さ(mm) 備 考 ※網入り磨板ガラス ※6.8 ※500 アルミ製枠付 ・網入り磨板ガラス ・	49. 防煙重れ壁
	50	防煙重れ壁	（表6.5.11） ・可動式 種 類 材 質 高さ(mm) 備 考 ・垂直降下式（巻取り型） ※不燃性 ※500 ガイドレール （巻取り型）（不燃認定品） ・800 ※固定式（壁埋込型） ・可動式（天井収納型） ・回転降下式 鋼板製又はアルミ製 ※500 表面仕上げ ・800 ※天井材張り ・ 降下機構 煙感知器連動及び手動開放装置（埋込型）	50. 防煙重れ壁
塗装改修工事	7	①. 材料 ②. 下地調整	（表7.2.2～7.2.7）(表7.2.1～表7.2.7） 屋内の壁及び天井の仕上げ材は、防火材料とする。 ユリア樹脂等を用いた塗料のホルムアルデヒド放散量の等級 ※規制対象外 ・第三種 （表7.2.2～7.2.7） 下地の種類 下地調整の種類 備 考 木部 ・RA種 ※RB種 ・RC種 鉄鋼面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 垂れめつき面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 垂れめつき面（鋼製建具） ・RA種 ※RB種 ・RC種 モルタル、プaster一面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 コンクリート、ALCパネル面 ・RA種 ※RB種 ・RC種（2-UE）、（2-ASE）及び（2-FUE）は除く せっこうボード、その他ボード面 ・RA種 ※RB種 ・RC種 既存モルタル下地面等のひび割れ部の補修（表7.2.4～表7.2.6） ※行わない ・行う（補修範囲及び補修方法は図示） 新規格面の塗りの種別 ・A種 ※B種（表7.4.4）(表7.4.2） 新規格木の塗りの種別 ・A種 ※B種（表7.5.2）(表7.5.1） 新規格面、垂れめつき面の塗りの種別 ・A種 ※B種（表7.5.3）(表7.5.2） （表7.8.2～7.8.4）(表7.8.1～表7.8.3） 下地の種類 新規塗りの種別 塗り替えの種別 備 考 鉄面 ※A種 ・B種 ・A種 ※B種 垂れめつき面 ※A種 ・B種 ・A種 ※B種 コンクリート及び坪出成形セメント板面 ※A種 ・B種 ・A種 ※B種 （表7.9.3）(表7.9.2）(表7.9.3） （表7.10.2～7.10.4）(表7.10.1～表7.10.3） 下地の種類 新規塗りの種別 塗り替えの種別 備 考 鉄面 ※A種 ・B種 ・A種 ※B種 垂れめつき面 ※A種 ・B種 ・A種 ※B種 コンクリート及び坪出成形セメント板面 ※A種 ・B種 ・A種 ※B種 （表7.11.2）(表7.11.1） 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 （表7.12.2）(表7.12.1） 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 （表7.14.2）(表7.14.1） 塗り替えの場合 既存塗膜 下地調整 種 別 合成樹脂エマルション模様塗り ※R B種 ※A種 ・R C種 ※Cー3種 平滑な塗料塗り ※R B種 ・A種 ・B種 ・R C種 ・Cー1種 ・Cー2種	7. 塗装改修工事
	8	つや有合成樹脂 ペイント塗り	（表7.11.2）(表7.11.1） 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種	8. つや有合成樹脂 ペイント塗り
	9	合成樹脂 ペイント塗り	（表7.12.2）(表7.12.1） 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種	9. 合成樹脂 ペイント塗り
	10	合成樹脂 模様塗り	（表7.14.2）(表7.14.1） 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 塗り替えの場合 既存塗膜 下地調整 種 別 合成樹脂エマルション模様塗り ※R B種 ※A種 ・R C種 ※Cー3種 平滑な塗料塗り ※R B種 ・A種 ・B種 ・R C種 ・Cー1種 ・Cー2種	10. 合成樹脂 模様塗り
	11	安曇野市財政部財産管理課	（表7.14.2）(表7.14.1） 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 塗り替えの場合 既存塗膜 下地調整 種 別 合成樹脂エマルション模様塗り ※R B種 ※A種 ・R C種 ※Cー3種 平滑な塗料塗り ※R B種 ・A種 ・B種 ・R C種 ・Cー1種 ・Cー2種	11. 安曇野市財政部財産管理課
	12	改修特記仕様書（その3）	（表7.14.2）(表7.14.1） 新規の塗りの種別 ・A種 ※B種 塗り替えの場合 既存塗膜 下地調整 種 別 合成樹脂エマルション模様塗り ※R B種 ※A種 ・R C種 ※Cー3種 平滑な塗料塗り ※R B種 ・A種 ・B種 ・R C種 ・Cー1種 ・Cー2種	12. 改修特記仕様書（その3）
	13	工事名 令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業 堀金児童館改修工事	（表7.14.2）(表7.14.1） 工事名 令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業 堀金児童館改修工事	13. 工事名 令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業 堀金児童館改修工事
	14	図面番号 A0-3	（表7.14.2）(表7.14.1） 図面番号 A0-3	14. 図面番号 A0-3
	15	検 印 欄	（表7.14.2）(表7.14.1） 検 印 欄	15. 検 印 欄



耐震改修工事及び耐震改修範囲以外の躯体改修工事	①鉄筋の種類	(8.2.1)(表8.2.1)	22.耐火被覆材	(8.17.2～8.17.7)	4.連続繊維シート巻き	(8.2.11)	10工事現場の環境改善・建設副産物及びISO14001関係	1.工事現場の環境改善について  工事現場のイメージアップ ・仮囲い周辺の美化  地域住民への情報提供 ・完成予想図の設置 ・情報掲示板の設置 ・パンフレットの作成  地域住民とのコミュニケーション ・現場見学会の開催  住民に対する災害防止関係 ・現場出入口周辺への誘導員の配備  ②産業廃棄物の取扱いについて  ③再生資源利用促進計画書等について  ④ISO14001関係  ⑤過積載の禁止	①保険等  ②その他  (1)本建築引渡しまで請負者は工事事務所、工事材料等について火災保険を掛けなければならない。  (2)工事期間中請負者の責任において労災保険に加入し、その負担は請負者とする。  (1)暴力団関係者から工事妨害による被害を受けた場合は、被害届を速やかに警察に提出すること。  (2)工事請負額が500万円以上の工事については、工事実績情報（工事カルテ）の登録をすること。 （ただし工事請負代金額500万円以上2,500万円未満の工事については、受注時・訂正時のみ登録するものとする。） 登録する場合は、あらかじめ監督職員の確認を受け、次に示す期間内に(財)日本建設情報総合センター(JACIC)に登録の手続きを行うとともに、登録されたことを証明する資料を監督職員に提出する。 なお、変更時と完成時の間が10日間に満たない場合は、変更時の提出を省略できるものとする。 ①工事受注時 契約締結後10日以内 ②登録内容の変更時 変更契約締結後10日以内 ③工事完成時 工事完成後10日以内 （連絡先：(財)日本建設情報総合センター TEL03-3505-2973）  (3)下請負契約締結後、速やかに下請人通知書を提出すること。  (4)現場施行体制において、請負者は施工体制台帳を作成し、工事期間中工事現場に備え付けるとともに、監督職員に写しを提出すること。 また、工事現場における施工の分担関係を明示した「施工体系図」を作成し、これを工事関係者及び公衆の見やすい場所に掲示を行うこと。 ※施工体制台帳に記載すべき内容 ・建設業法施行規則 第14条の2第1項に掲げる事項 ・安全衛生責任者名、安全衛生推進者名、雇用管理責任者名  (5)下記業者等については、建設工事に関連性をもち、元請負人の指揮、調整のもと行われるものであるため施工体制台帳、施工体系図、契約書及び下請負人通知書等整備すること。また、下記業者種目等と考えられるものについても、同様に整備すること。 ・交通整理員、ガードマン ・産業廃棄物処理業者 ・ダンプ運転（1人親方のダンプ運転手） ・1日で完了する請負契約、小規模な作業・雑工・労務のみ単価契約の請負契約 ・クレーン作業、コンクリートポンプ打設等日々の単価契約で行っているもの ・クレーン等の重機オペレーターを機械と一緒にリース会社から借上げる場合 ・他の会社から応援者を借上げ、請負契約を締結した場合（臨時雇用関係である場合を除く）  (6)本工事について、公共工事労務費調査、資材調査、建設副産物実地調査等の調査依頼を受けた場合は、これに協力すること。  (7)施行途中において、検査担当職員及び発注機関の長が指定する職員による、抜打ち検査を実施する場合においては、これに協力すること。	
	2.溶接金網	(8.2.2)	23.既存コンクリート面の目荒し	(8.19.3)(8.20.3)	5.スリットの施工	(8.21.7)				
	③鉄筋の継手	(8.3.4)(表8.3.3)	24.鉄筋及びコンクリート材	(7.10.3)[表7.10.2](8.2.10)	9環境配慮 グリーン改修工事	1.アスベスト含有分析調査				分析による確認 ・下表による ・図示 (9.1.1)
	④鉄筋及び溶接金網の最小かぶり厚さ	(8.3.5)(表8.3.6)								分析による確認 ・下表による ・図示 (9.1.1)
	⑤各部の配筋									分析による確認 ・下表による ・図示 (9.1.1)
	⑥ガス圧接	(8.3.9)								分析による確認 ・下表による ・図示 (9.1.1)
	⑦コンクリートの種別及び強度	(8.1.3)(表8.1.1)								分析による確認 ・下表による ・図示 (9.1.1)
	⑧コンクリートの品質	(8.1.4)								分析による確認 ・下表による ・図示 (9.1.1)
	⑨普通コンクリート	(8.2.5)(表8.2.3)								分析による確認 ・下表による ・図示 (9.1.1)
	10.無筋コンクリート	[6.14.3]								分析による確認 ・下表による ・図示 (9.1.1)
	11.高い強度のコンクリート	(8.9.1)(8.9.2)(8.9.4)								分析による確認 ・下表による ・図示 (9.1.1)
	13.鉄骨製作工場	(8.1.5)								分析による確認 ・下表による ・図示 (9.1.1)
	14.入熱、バス間温度の溶接条件	(8.9.3)								分析による確認 ・下表による ・図示 (9.1.1)
	⑮施工管理技術者	[7.1.4]								分析による確認 ・下表による ・図示 (9.1.1)
	⑯鋼材	(8.2.7)(表8.2.5)								分析による確認 ・下表による ・図示 (9.1.1)
	17.スカラップ	(8.12.9)								分析による確認 ・下表による ・図示 (9.1.1)
	18.高力ボルト	(8.2.8)								分析による確認 ・下表による ・図示 (9.1.1)
	19.鉄骨工作仮組	(8.12.9)								分析による確認 ・下表による ・図示 (9.1.1)
	20.溶接部の試験	(8.14.11)(8.14.12)								分析による確認 ・下表による ・図示 (9.1.1)
	2②錆止め塗装	(8.16.3)								分析による確認 ・下表による ・図示 (9.1.1)
2	耐震改修工事									
21.打増し壁に用いるシアコネクタ	(8.2.4)	25.あと施工アンカーの材料	(8.2.4)	あと施工アンカーの材料	(8.2.4)	7.ガラス改修工事	(8.4.2)			
22.増設・補強工事のコンクリートの打込み	(8.21.5)	26.あと施工アンカーの穿孔	(8.11.2)	穿孔前の埋込み配管等の探査	(8.11.2)	8.屋上緑化改修工事	(8.6.1)			
23.柱補強	(8.21.5)	27.あと施工アンカーの	(8.11.5)	アンカー筋	(8.11.5)	9.透水性アスファルト舗装改修工事	(9.7.4)(表9.7.5)			
24.断熱材兼用型枠		28.断熱材兼用型枠		型枠						
25.打増し壁に用いるシアコネクタ	(8.2.4)	29.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)					
26.増設・補強工事のコンクリートの打込み	(8.21.5)	30.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)					
27.柱補強	(8.21.5)	31.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)					
28.柱頭柱脚の断面部間の型枠		32.柱頭柱脚の断面部間の型枠		柱頭柱脚の断面部間の型枠						
29.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		33.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む						
30.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	34.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)					
31.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	35.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)					
32.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	36.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)					
33.柱頭柱脚の断面部間の型枠		37.柱頭柱脚の断面部間の型枠		柱頭柱脚の断面部間の型枠						
34.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		38.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む						
35.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	39.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)					
36.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	40.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)					
37.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	41.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)					
38.柱頭柱脚の断面部間の型枠		42.柱頭柱脚の断面部間の型枠		柱頭柱脚の断面部間の型枠						
39.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		43.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む						
40.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	44.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)					
41.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	45.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)					
42.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	46.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)					
43.柱頭柱脚の断面部間の型枠		47.柱頭柱脚の断面部間の型枠		柱頭柱脚の断面部間の型枠						
44.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		48.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む						
45.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	49.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)					
46.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	50.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)					
47.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	51.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)					
48.柱頭柱脚の断面部間の型枠		52.柱頭柱脚の断面部間の型枠		柱頭柱脚の断面部間の型枠						
49.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		53.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む						
50.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	54.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)					
51.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	55.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)					
52.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	56.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)					
53.柱頭柱脚の断面部間の型枠		57.柱頭柱脚の断面部間の型枠		柱頭柱脚の断面部間の型枠						
54.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		58.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む						
55.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	59.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)					
56.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	60.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)					
57.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	61.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)					
58.柱頭柱脚の断面部間の型枠		62.柱頭柱脚の断面部間の型枠		柱頭柱脚の断面部間の型枠						
59.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		63.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む						
60.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	64.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)					
61.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	65.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)					
62.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	66.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)					
63.柱頭柱脚の断面部間の型枠		67.柱頭柱脚の断面部間の型枠		柱頭柱脚の断面部間の型枠						
64.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		68.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む						
65.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	69.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)					
66.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	70.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)					
67.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	71.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)					
68.柱頭柱脚の断面部間の型枠		72.柱頭柱脚の断面部間の型枠		柱頭柱脚の断面部間の型枠						
69.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		73.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む						
70.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	74.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)					
71.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	75.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)					
72.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	76.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)					
73.柱頭柱脚の断面部間の型枠		77.柱頭柱脚の断面部間の型枠		柱頭柱脚の断面部間の型枠						
74.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		78.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む						
75.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	79.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)					
76.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	80.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)					
77.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	81.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)					
78.柱頭柱脚の断面部間の型枠		82.柱頭柱脚の断面部間の型枠		柱頭柱脚の断面部間の型枠						
79.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		83.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む						
80.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	84.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)					
81.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	85.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)					
82.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	86.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)					
83.柱頭柱脚の断面部間の型枠		87.柱頭柱脚の断面部間の型枠		柱頭柱脚の断面部間の型枠						
84.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		88.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む						
85.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	89.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)					
86.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	90.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)					
87.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	91.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)					
88.柱頭柱脚の断面部間の型枠		92.柱頭柱脚の断面部間の型枠		柱頭柱脚の断面部間の型枠						
89.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		93.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む						
90.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	94.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)					
91.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	95.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)					
92.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	96.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)					
93.柱頭柱脚の断面部間の型枠		97.柱頭柱脚の断面部間の型枠		柱頭柱脚の断面部間の型枠						
94.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		98.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む						
95.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	99.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)					
96.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	100.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)					
97.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	101.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)					
98.柱頭柱脚の断面部間の型枠		102.柱頭柱脚の断面部間の型枠		柱頭柱脚の断面部間の型枠						
99.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		103.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む						
100.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	104.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)					
101.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	105.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)					
102.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	106.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)					
103.柱頭柱脚の断面部間の型枠		107.柱頭柱脚の断面部間の型枠		柱頭柱脚の断面部間の型枠						
104.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		108.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む						
105.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	109.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)					
106.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	110.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)					
107.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	111.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)					
108.柱頭柱脚の断面部間の型枠		112.柱頭柱脚の断面部間の型枠		柱頭柱脚の断面部間の型枠						
109.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		113.ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む		ポリスチレンフォーム保温材等を埋込む						
110.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	114.現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)	現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いる既存部とのシアコネクタ	(8.2.4)					
111.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	115.工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)	工法の種類	(8.19.8)(8.21.5)					
112.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	116.溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)	溶接金網巻く工法及び溶接間隔付巻き巻く工法	(8.21.5)					
113.柱頭柱脚の断面部間の型枠										



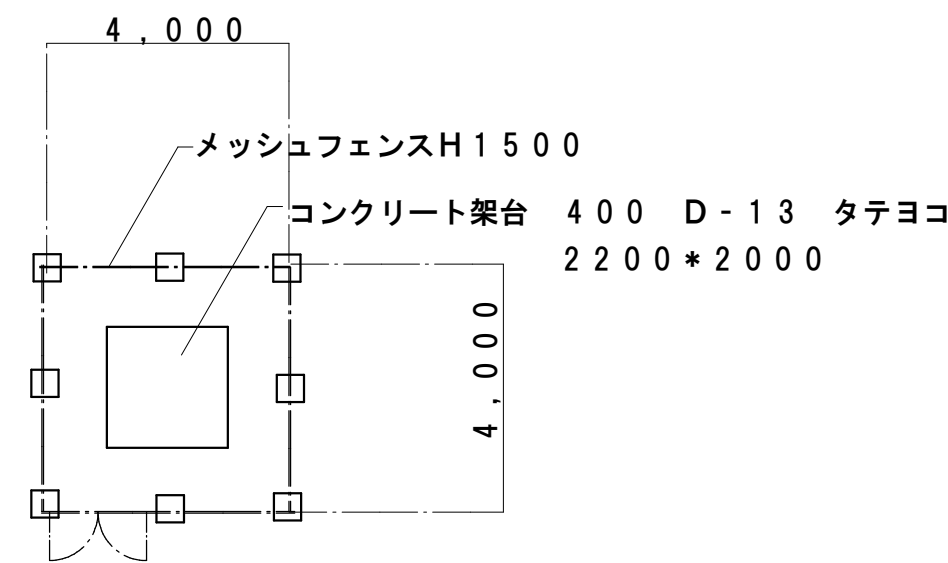
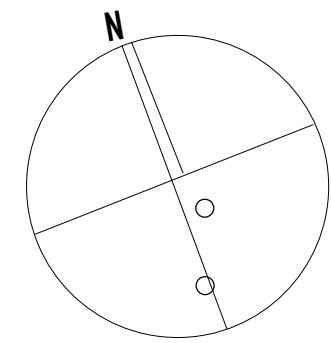
■外部仕上表

基 礎	改修	既存仕上の上、 保護樹脂モルタル塗 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA t50	軒 樋	改修	既存撤去の上、 耐候性向上樹脂製（亜鉛処理スチール芯）前高130型 塩ビ製自在ドレン	外部通路	改修	屋根：既存ルーフデッキ撤去の上、 カラーガルバリウム鋼板t0.8 ハゼ締折板(H91)  軒樋：既存撤去の上、 耐候性向上樹脂製（亜鉛処理スチール芯）前高130型 塩ビ製自在ドレン  堅樋：既存撤去の上、 カラー塩ビ製 75φ  床 ：既存コンクリート金ゴテの上、防塵塗床 既存スノコ板再使用 WP塗  スロープ：モルタル刷毛引仕上、土間コンクリート下地 柱・梁等の鉄部：既存塗膜除去の上、SOP塗 ・下足入・既存撤去の上、新設	掃除用具入れ	床：土間コンクリート金ゴテ仕上 壁：耐水合板t12 天井：屋根裏あらわし		
	既存	コンクリート打放し	堅 樋	改修								
外 壁	改修	既存仕上の上、 カラーガルバリウム鋼板スパンドレル 透湿防水シート、木胴縁、押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA t50	軒 裏	改修	軒側：折板裏あらわし クラバ側：ケイ酸カルシウム板t6 EP塗			庇			西面・新設 (南面・撤去)	既存ルーフデッキ撤去の上、 カラーガルバリウム鋼板t0.8 ハゼ締折板(H91)
	既存	カラー鉄板t0.35 サンドイッチパネル	建 具	改修	既存撤去の上、 住宅用アルミ樹脂複合サッシ（複層ガラス、ガス入）							
屋 根	改修	既存仕上の上、 カラーガルバリウム鋼板t0.8 ハゼ締折板(H91)（改修工法） グラスウール断熱材10kg/㎡ t100充填										
	既存	ルーフデッキt0.6 H88										

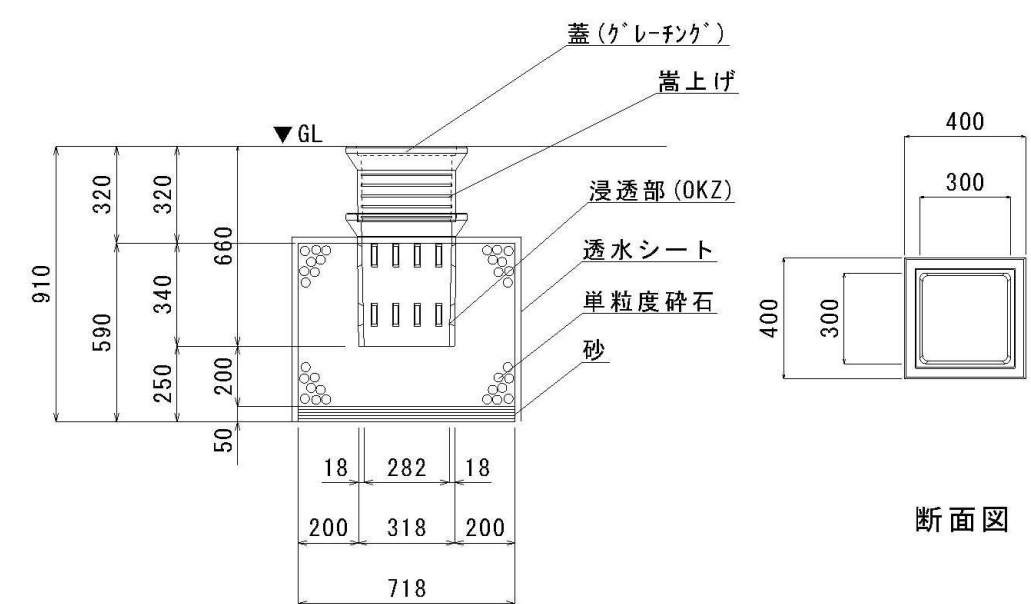
■内部仕上表

階	室 名 (既存室)		床レベル 仕上厚	天井高	内装制限	床	巾木	壁	廻り縁	天 井		備 考	
1	児童クラブ室1	改修	±0	3000	Ⓜ	既存仕上・下地共撤去の上、 カーペットタイル（洗面流し台前：ビニル床シート）、ラワン合板t12、押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b t30（根太45×30）、構造用合板t12、バネィクボードt20、乾式二重床下地、土間コンクリート打	木巾木 H60 CL塗	AEP塗 石膏ボードt12.5、LGS下地 （洗面流し台廻り：化粧ケイ酸カルシウム板t6）	塩ビ製	既存天井パネル撤去の上、 岩綿吸音板t9 石膏ボードt9.5、LGS下地		児童用ロッカー、洗面流し台、化粧鏡 カーテン（カーテン&共）床SUS見切 室名札：300×80（7列&板・文字キティンクシート）	
		（保育室1、廊下）	既存				フローリングt12 床パネルt100（グラスウールt50入）下地	ビニル巾木	カラー鉄板 サンドイッチパネル	銅板製	カラーベニヤパネル（グラスウールt50入）		
	静 養 室	改修	±0	2535	Ⓜ	既存仕上・下地共撤去の上、 カーペットタイル、ラワン合板t12、押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b t30（根太45×30）、構造用合板t12、バネィクボードt20、乾式二重床下地、土間コンクリート打	木巾木 H60 CL塗	AEP塗 石膏ボードt12.5、LGS下地  強化石膏ボードt15、LGS下地	塩ビ製	既存天井パネル撤去の上、 岩綿吸音板t9 石膏ボードt9.5、LGS下地		ミニキッチン カーテン（カーテン&共） 室名札：250×80（7列&板・文字キティンクシート）	
		（廊下）	既存				フローリングt12 床パネルt100（グラスウールt50入）下地	ビニル巾木	カラー鉄板 サンドイッチパネル	銅板製	カラーベニヤパネル（グラスウールt50入）		
	児童クラブ室2	改修	±0	3000	Ⓜ	既存仕上・下地共撤去の上、 カーペットタイル（洗面流し台前：ビニル床シート）、ラワン合板t12、押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b t30（根太45×30）、構造用合板t12、バネィクボードt20、乾式二重床下地、土間コンクリート打	木巾木 H60 CL塗	AEP塗 石膏ボードt12.5、LGS下地 （洗面流し台廻り：化粧ケイ酸カルシウム板t6）	塩ビ製	既存天井パネル撤去の上、 岩綿吸音板t9 石膏ボードt9.5、LGS下地		児童用ロッカー、洗面流し台、化粧鏡 カーテン（カーテン&共）床SUS見切 室名札：300×80（7列&板・文字キティンクシート）	
		（保育室2）	既存				フローリングt12 床パネルt100（グラスウールt50入）下地	ビニル巾木	カラー鉄板 サンドイッチパネル	銅板製	カラーベニヤパネル（グラスウールt50入）		
	書 庫	改修	－	－		既存のまま 一部、複合フローリングt12【支給品】 構造用合板t12、バネィクボードt20、乾式二重床、下地、土間コンクリート打	木巾木 H60 CL塗	既存のまま 一部、AEP塗 石膏ボードt12.5、LGS下地  強化石膏ボードt15、LGS下地	塩ビ製	既存のまま	一部、既存天井パネル撤去の上、 化粧石膏ボードt9.5（910×910） LGS下地	給排気レジスター（外部：アルミ製フード共）	
		（同上）	既存	±0	3165		フローリングt12 床パネルt100（グラスウールt50入）下地	ビニル巾木	カラー鉄板 サンドイッチパネル	銅板製	カラーベニヤパネル（グラスウールt50入）		
	倉 庫	改修	±0	2300		既存仕上・下地共撤去の上、 ビニル床シート、ラワン合板t12、押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b t30（根太45×30）、構造用合板t12、バネィクボードt20、乾式二重床下地、土間コンクリート打	木巾木 H60 CL塗	ラワン合板t9 LGS下地  強化石膏ボードt15、LGS下地	塩ビ製	既存天井パネル撤去の上、 化粧石膏ボードt9.5（910×910） LGS下地		室名札：250×80（7列&板・文字キティンクシート）	
		（廊下）	既存				フローリングt12 床パネルt100（グラスウールt50入）下地	ビニル巾木	カラー鉄板 サンドイッチパネル	銅板製	カラーベニヤパネル（グラスウールt50入）		
	男子 便 所	改修	±0	2525		一部（配管部分）既存土間コンクリート撤去の上、 ビニル床シート、ラワン合板t5.5、構造用合板t12、 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b t50（根太45×50）、モルタルt20	ビニル巾木	化粧ケイ酸カルシウム板t6 耐水石膏ボードt12.5、LGS下地		塩ビ製 （目透し）	既存天井撤去（下地共）の上、 VP塗、耐水石膏ボードt9.5 LGS下地	洗面カウンター、化粧鏡 ビクトサイン：150×150（7列&板・キティンクシート）	
		（便所）	既存	-90			防塵塗床 土間コンクリート	床に同	VP塗 フレキシブルボード		VP塗 フレキシブルボード		
	女子 便 所	改修	±0	2525		一部（配管部分）既存土間コンクリート撤去の上、 ビニル床シート、ラワン合板t5.5、構造用合板t12、 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b t50（根太45×50）、モルタルt20	ビニル巾木	化粧ケイ酸カルシウム板t6 耐水石膏ボードt12.5、LGS下地	一部、既存壁ボード撤去の上、 化粧ケイ酸カルシウム板t6 耐水石膏ボードt12.5、石膏ボードt15、LGS下地	塩ビ製 （目透し）	既存天井撤去（下地共）の上、 AEP塗、耐水石膏ボードt9.5 LGS下地	洗面カウンター、化粧鏡 ビクトサイン：150×150（7列&板・キティンクシート）	
		（便所）	既存	-90			防塵塗床 土間コンクリート	床に同	VP塗 フレキシブルボード		VP塗 フレキシブルボード		
	車イス使用者便所	改修	±0	2300		既存仕上・下地共撤去の上、 ビニル床シート、ラワン合板t12、押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b t30（根太45×30）、構造用合板t12、バネィクボードt20、乾式二重床下地、一部土間コンクリート打	ビニル巾木	化粧ケイ酸カルシウム板t6 耐水石膏ボードt12.5、LGS下地	一部、既存壁パネル撤去の上、 化粧ケイ酸カルシウム板t6 耐水石膏ボードt12.5、石膏ボードt15、LGS下地	塩ビ製 （目透し）	既存天井パネル撤去の上、 AEP塗、耐水石膏ボードt9.5 LGS下地	ビクトサイン：150×150（7列&板・キティンクシート）	
		（廊下）	既存	±0			フローリングt12 床パネルt100（グラスウールt50入）下地	ビニル巾木	カラー鉄板 サンドイッチパネル	銅板製	カラーベニヤパネル（グラスウールt50入）		
廊 下	改修	±0	2525	Ⓜ	既存仕上・下地共撤去の上、 複合フローリングt12【支給品】、構造用合板t12、押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b t30（根太45×30）、構造用合板t12、バネィクボードt20、乾式二重床下地、一部土間コンクリート打  （女子便所前）複合フローリングt12【支給品】、構造用合板t12、 押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b t50（根太45×50）、モルタルt16	木巾木 H60 CL塗	AEP塗 石膏ボードt12.5、LGS下地  強化石膏ボードt15、LGS下地	塩ビ製	既存天井パネル撤去の上、 化粧石膏ボードt9.5（910×910） LGS下地				
	（廊下、通路、洗面コーナー）	既存	±0・-90			フローリングt12 床パネルt100（グラスウールt50入）下地	一部、防塵塗床 土間コンクリート	カラー鉄板 サンドイッチパネル	一部、VP塗 フレキシブルボード	銅板製	カラーベニヤパネル（グラスウールt50入）	一部、VP塗 フレキシブルボード	
		物 入	改修	±0	2300		複合フローリングt12【支給品】、構造用合板t12、押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種b t30（根太45×30）、構造用合板t12、バネィクボードt20、乾式二重床下地、土間コンクリート打	雑巾摺	ラワン合板t9 LGS下地  強化石膏ボードt15、LGS下地	木	ラワン合板t5.5		
			（外部）										
【特記事項】 ・外壁の内部側：LGS下地(W100)、グラスウール断熱材10kg/㎡充填					【略号】  Ⓝ：不燃材  Ⓜ：準不燃材以上  Ⓜ：難燃材以上			【塗装記号】 ・AEP：アクリルエマルションペイント塗 ・EP：合成樹脂エマルションペイント塗 ・VP：塩化ビニル樹脂エナメル塗 ・CL：クリヤーラッカー塗 ・UC：ポリウレタン樹脂ワニス塗 ・SOP：合成樹脂調合ペイント塗 ・WP：木材保護塗料塗			【防火認定番号】 ・強化石膏ボードt15：不燃 NM-8619 t12.5：不燃 NM-8619 t9.5：準不燃 QM-9828 ・化粧石膏ボードt12.5：準不燃 QM-0524 ・岩綿吸音板t9：不燃 NM-8599		





申請地

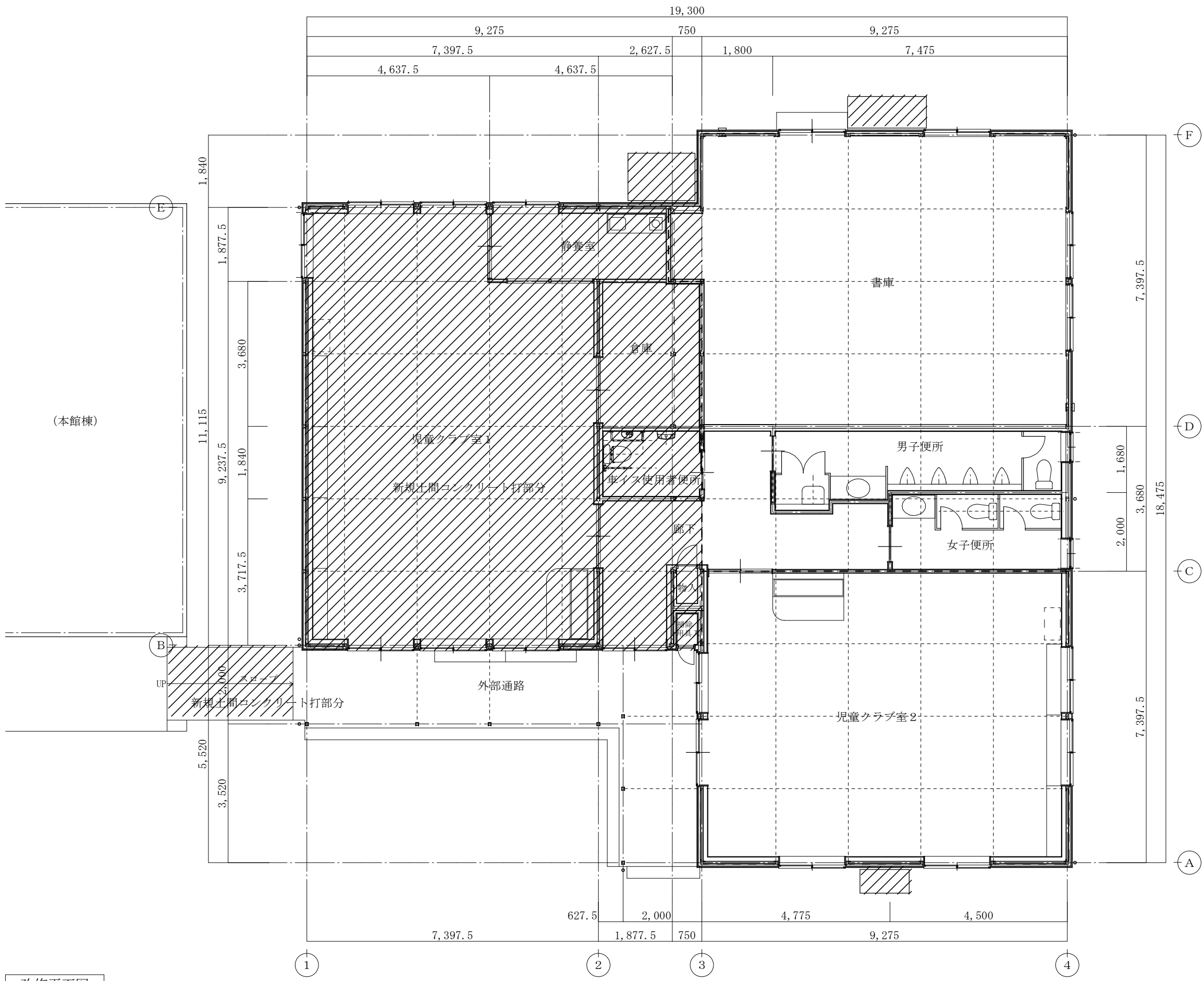


断面図

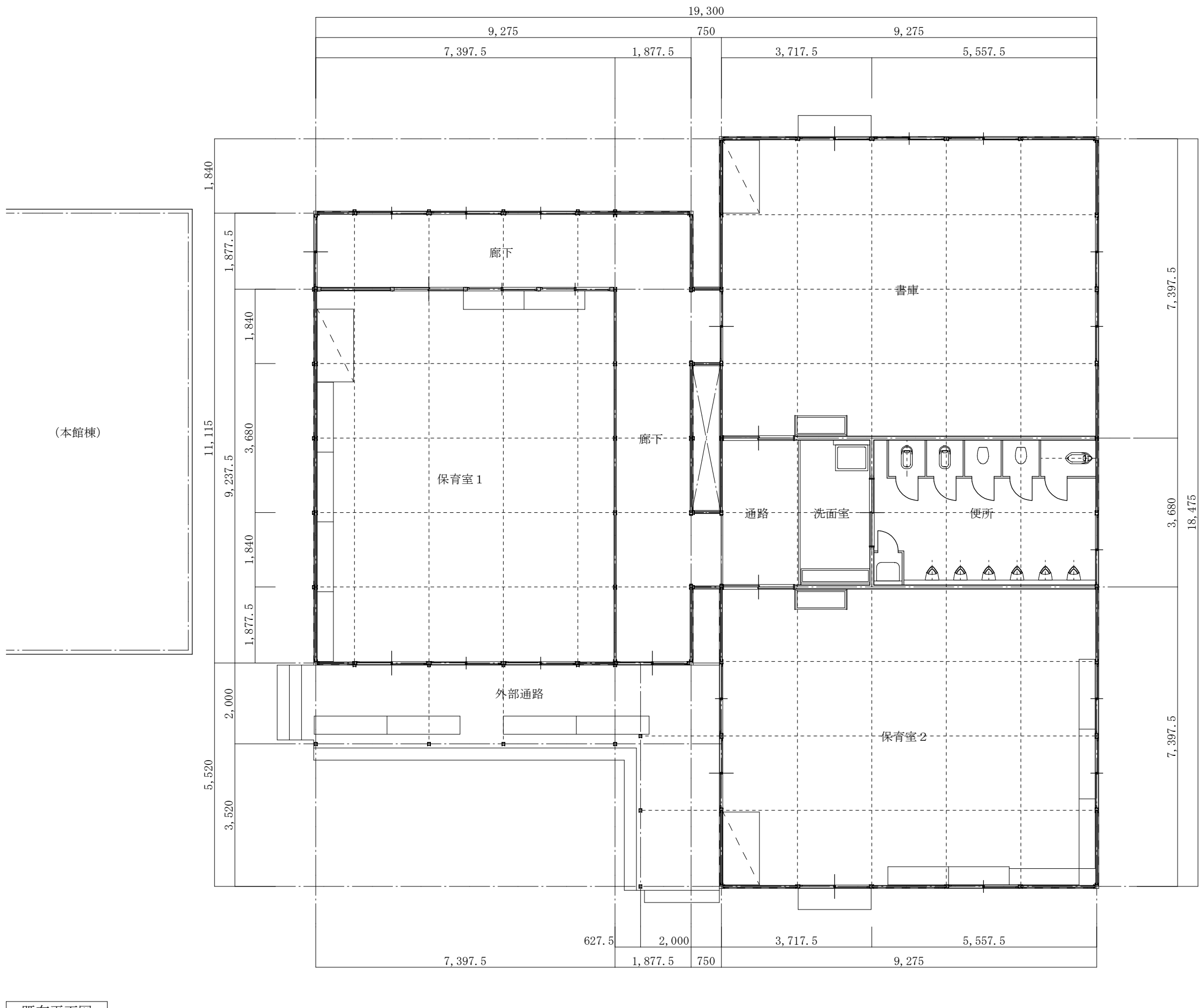
浸透樹構造図  
OKZ300

配置図 1/300



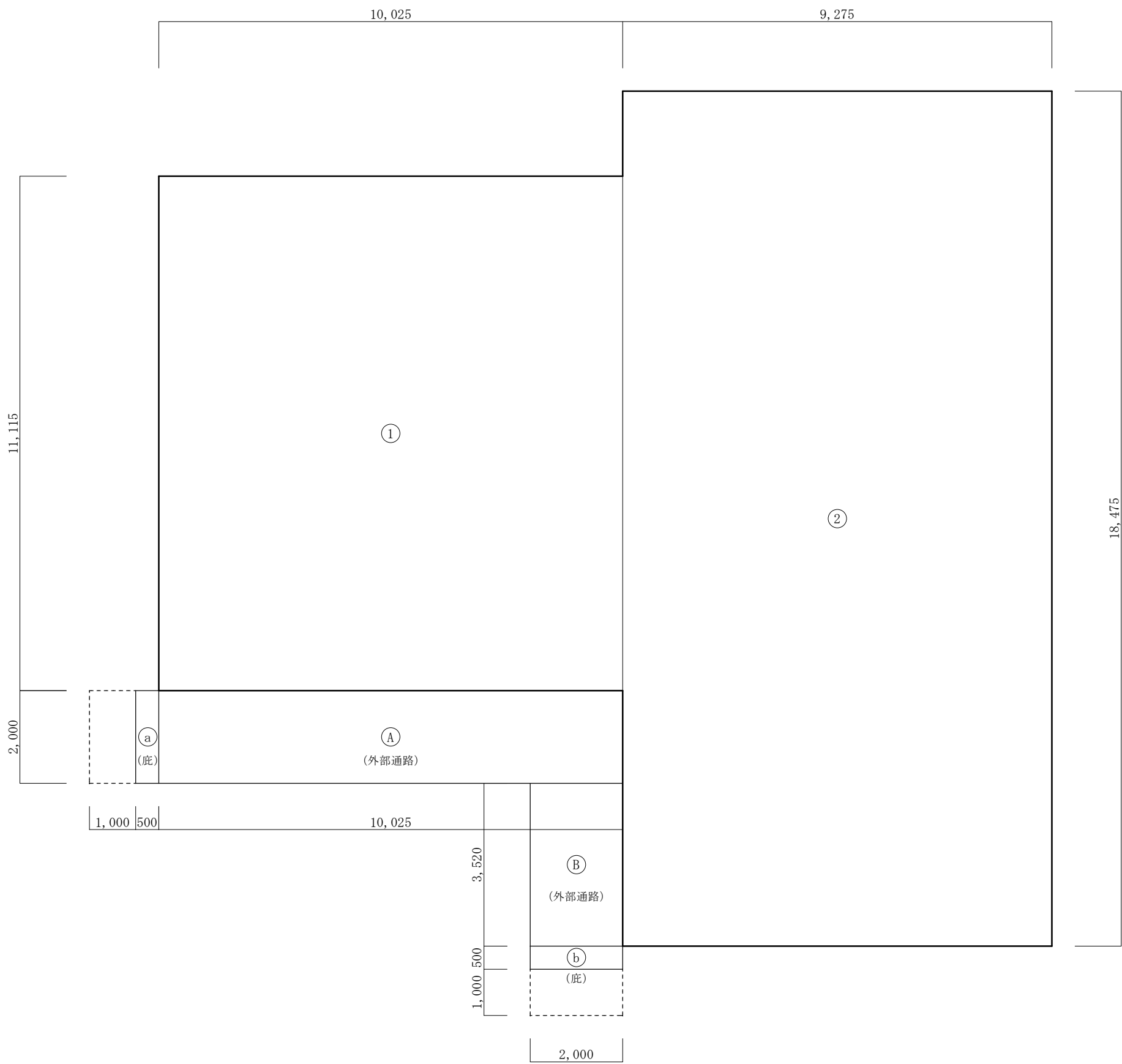


改修平面図



既存平面図

----- : 令114条 防火上主要な間仕切壁  
LGS下地、両側 石膏ボードt15〔準耐火構造〕  
(小屋裏又は天井裏に達せしめる。)



建物面積求積図

■床面積（改修後）		
記号	計算式	面積（㎡）
①	10,025 × 11,115	111,427.875
②	9,275 × 18,475	171,355.625
計		282,783.5
床面積		282.78

■建築面積（改修後）		
記号	計算式	面積（㎡）
床面積	①+②	282,783.5
A	10,025 × 2.00	
B	3.52 × 2.00	7.04
a	2.00 × 0.50	1.00
b	2.00 × 0.50	1.00
計		311.8735
建築面積		311.87

□居室の彩光・換気・排煙計算

児童クラブ室1		
床面積	7,397.5 × 9,237.5 = 4,637.5 × 1,877.5	77.04㎡
採光	必要面積 (1/7) : 11.01㎡ ≦ (AW-1) 1.65 × 2.50 (AW-4a) 1.65 × 1.50 × 4	14.02㎡ OK
採光補正係数(A) : d=4m ≦ 及び 面に面するにより、A=1として算定		
換気	必要面積 (1/20) : 3.85㎡ ≦ (AW-1) 0.825 × 2.50 (AW-4a) 0.825 × 1.50 × 4	7.01㎡ OK
排煙	必要面積 (1/50) : 1.54㎡ ≦ (AW-1) 0.825 × 0.50 (AW-4a) 0.825 × 0.40 × 4	1.73㎡ OK
天井高 3.0m により、有効h : FL=2.1m 以上かつ天井高の1/2 (≧1.5m) 以上		

児童クラブ室2		
床面積	9,275 × 7,397.5	68.61㎡
採光	必要面積 (1/7) : 9.80㎡ ≦ (AW-4a) 1.65 × 1.50 × 4	9.90㎡ OK
採光補正係数(A) : d=4m ≦ 及び 面に面するにより、A=1として算定		
換気	必要面積 (1/20) : 3.43㎡ ≦ (AW-4a) 0.825 × 1.50 × 4	4.95㎡ OK
排煙	必要面積 (1/50) : 1.37㎡ ≦ (AW-4a) 0.825 × 0.40 × 4 (AW-5) 0.75 × 0.40	1.62㎡ OK
天井高 3.0m により、有効h : FL=2.1m 以上かつ天井高の1/2 (≧1.5m) 以上		

静養室		
床面積	1,637.5 × 1,877.5	8.71㎡
採光	必要面積 (1/7) : 1.24㎡ ≦ (AW-4a) 1.65 × 1.50	2.47㎡ OK
採光補正係数(A) : d=4m ≦ により、A=1として算定		
換気	必要面積 (1/20) : 0.44㎡ ≦ (AW-4a) 0.825 × 1.50	1.23㎡ OK
排煙	必要面積 (1/50) : 0.17㎡ ≦ (AW-4a) 0.825 × 0.765	0.63㎡ OK



安曇野市総務部財産管理課

訂正 月・日 : DATA

設計

検図

承認印

工事名称 : PR NAME

令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業

堀金児童館改修工事

図面名称 : DW NAME

改修・既存平面図 求積図・面積表 法チェック

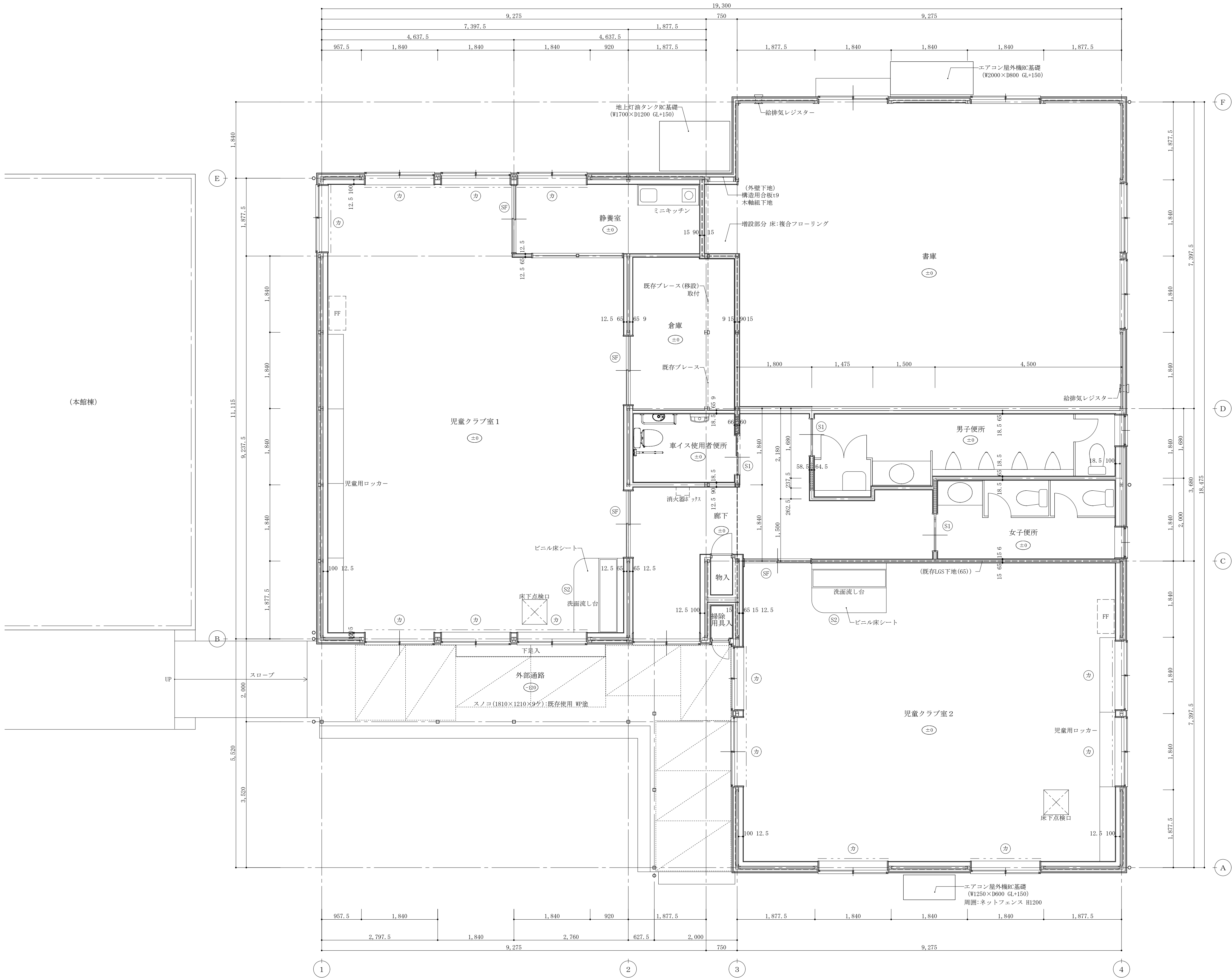
縮尺 : SCALE

1 : 100 (A-1) 1 : 200 (A-3)

図面番号 : DW NO. 確認

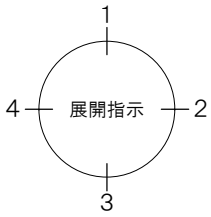
A-7





----- : 令114条 防火上主要な間仕切壁  
LGS下地、両側 石膏ボードt15 [準耐火構造]  
(小屋裏又は天井裏に達せしめる。)

- <凡例>
- (S1) : ステンレス寄措
  - (S2) : ステンレス床見切
  - (SF) : ステンレス フラットレール
  - (カ) : カーテン・カーテンレール



安曇野市総務部財産管理課

訂正 月・日 : DATA

設計

検図

承認印

工事名称 : PR NAME

図面名称 : DW NAME

改修平面詳細図

図面番号 : DW NO. 確認

製図

担当

承認年月日

令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業

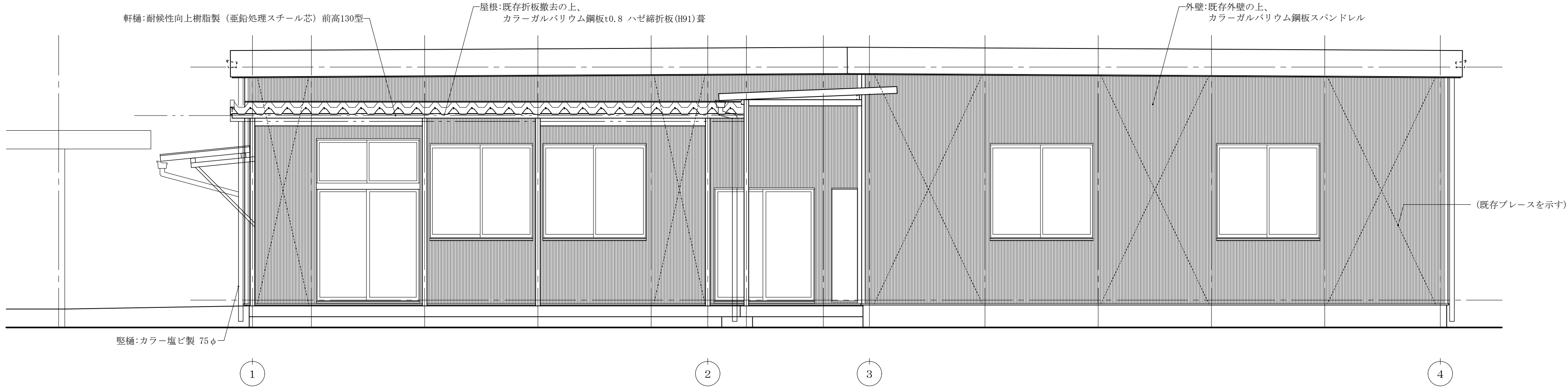
縮尺 : SCALE

1 : 50 (A-1) 1 : 100 (A-3)

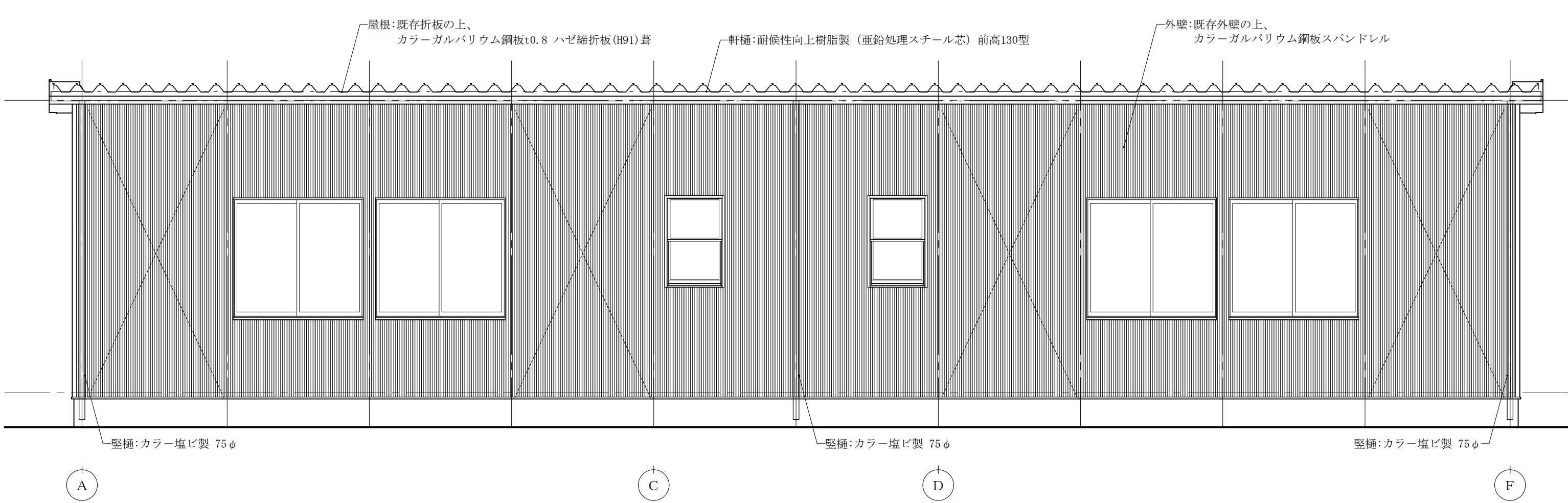
A-8

堀金児童館改修工事

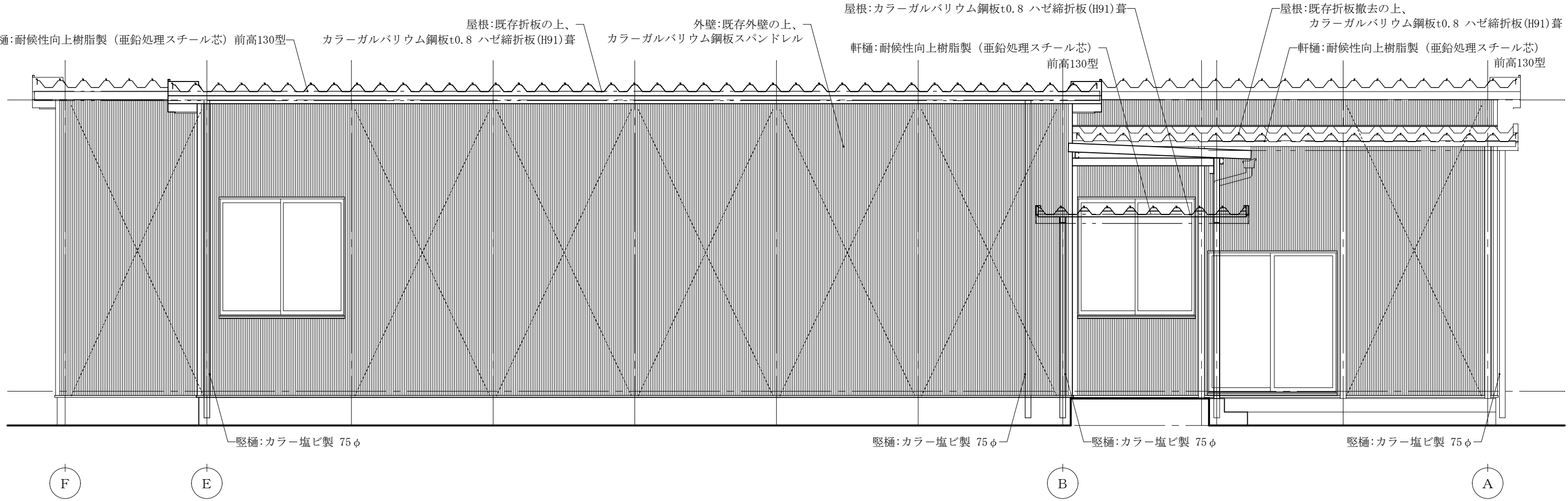




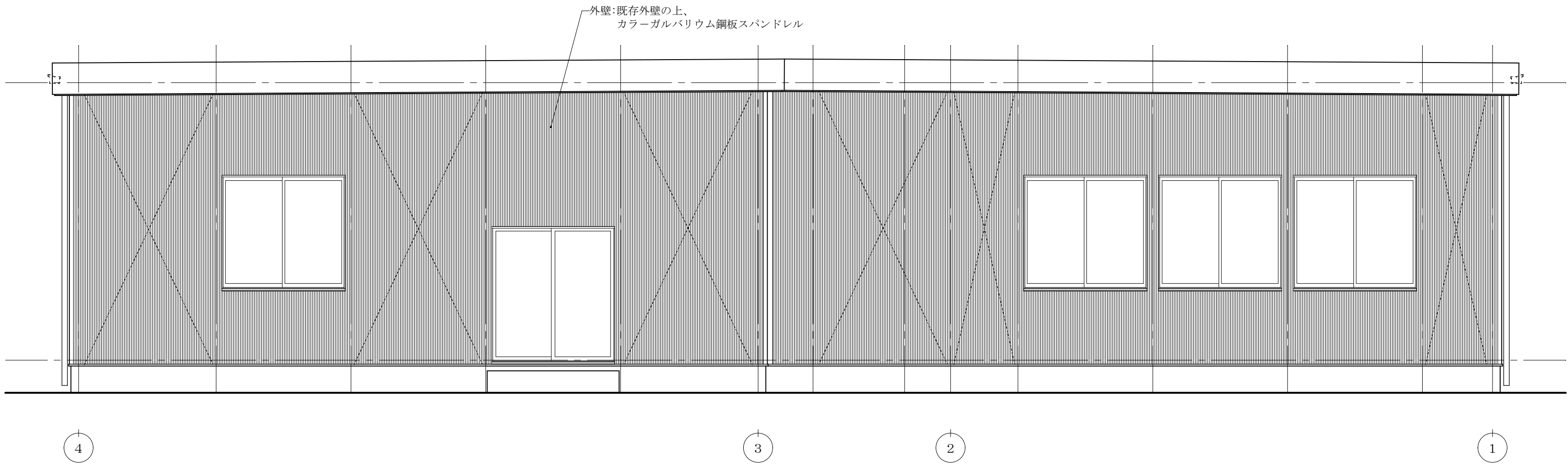
南立面図



東立面図



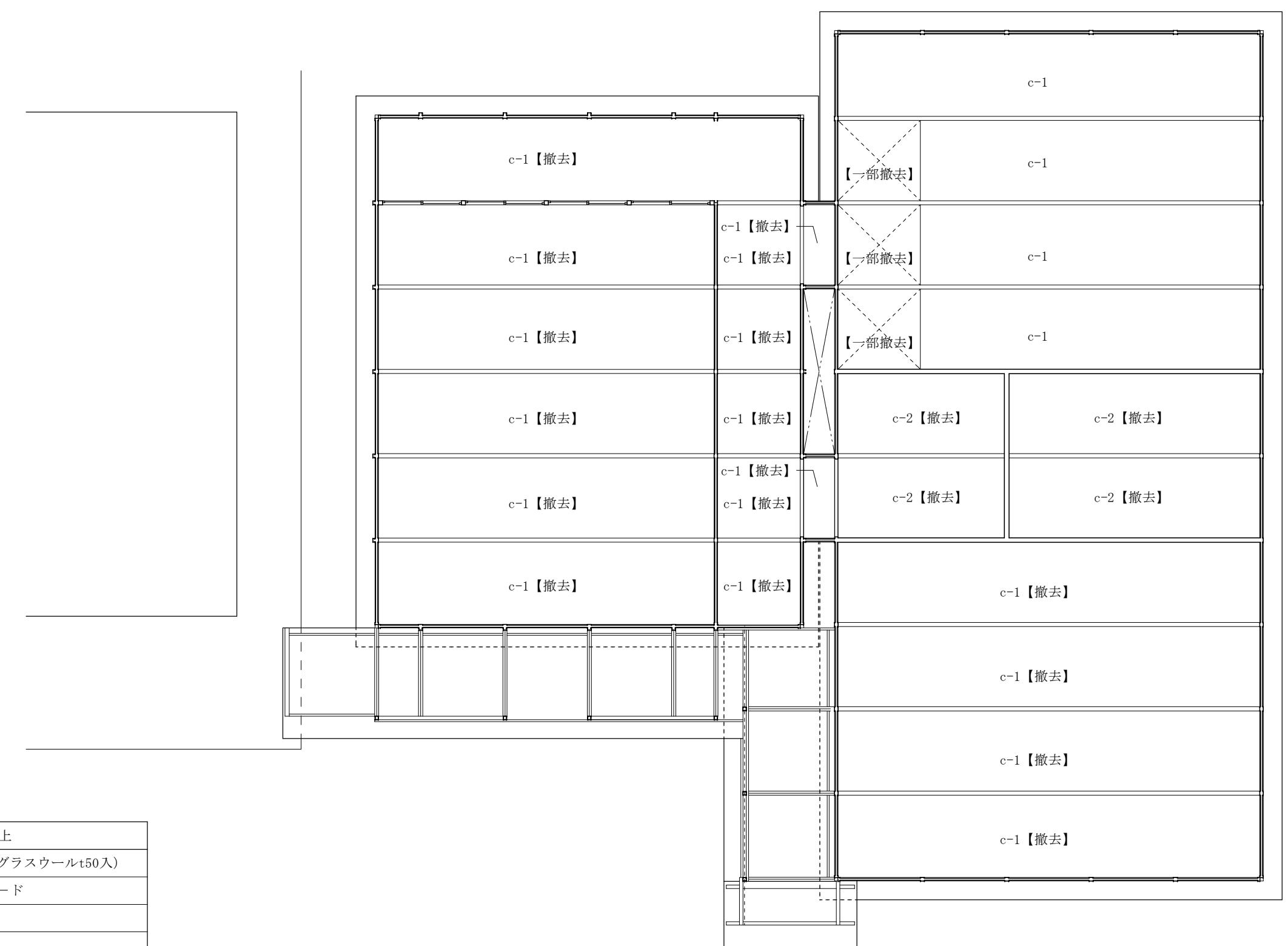
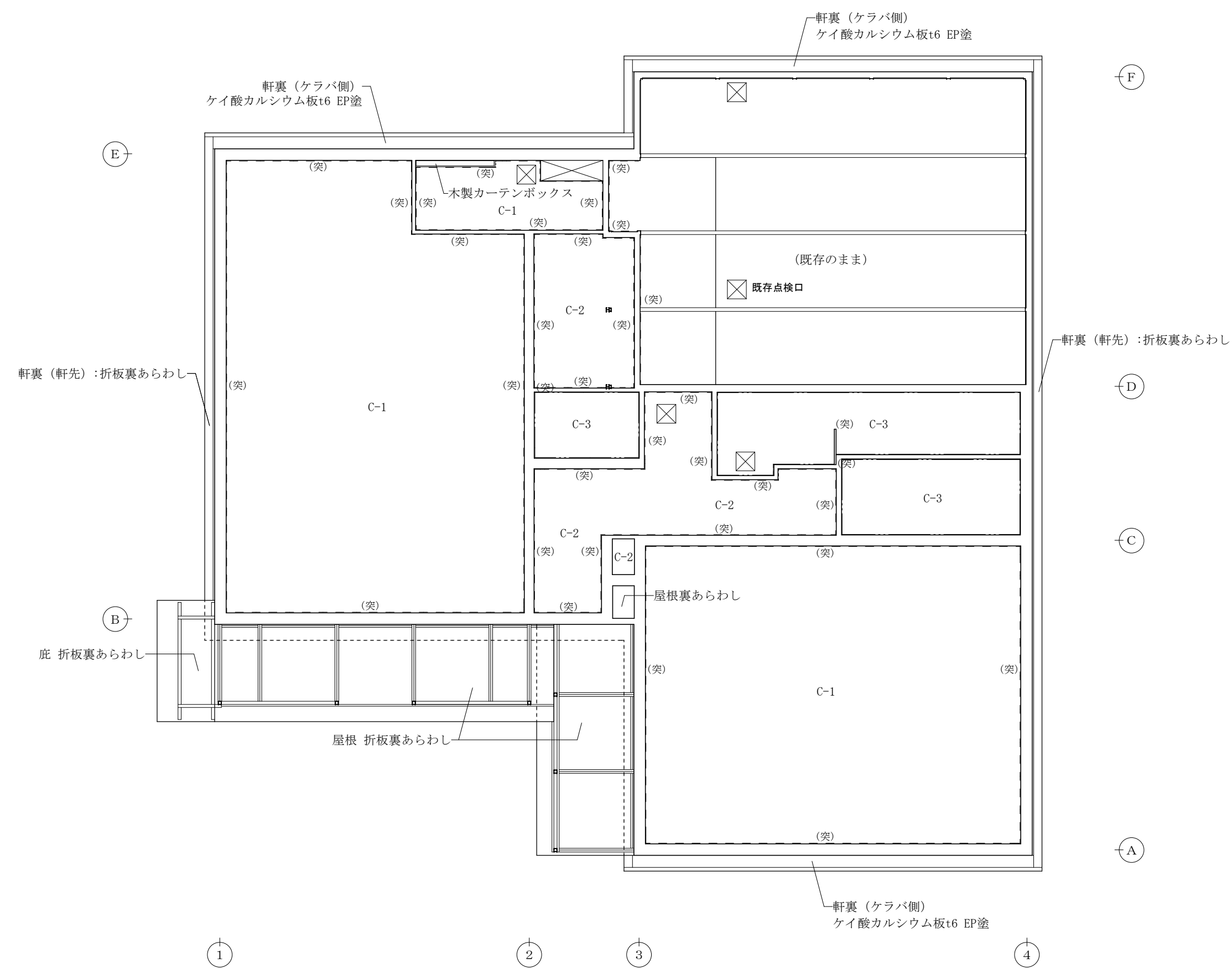
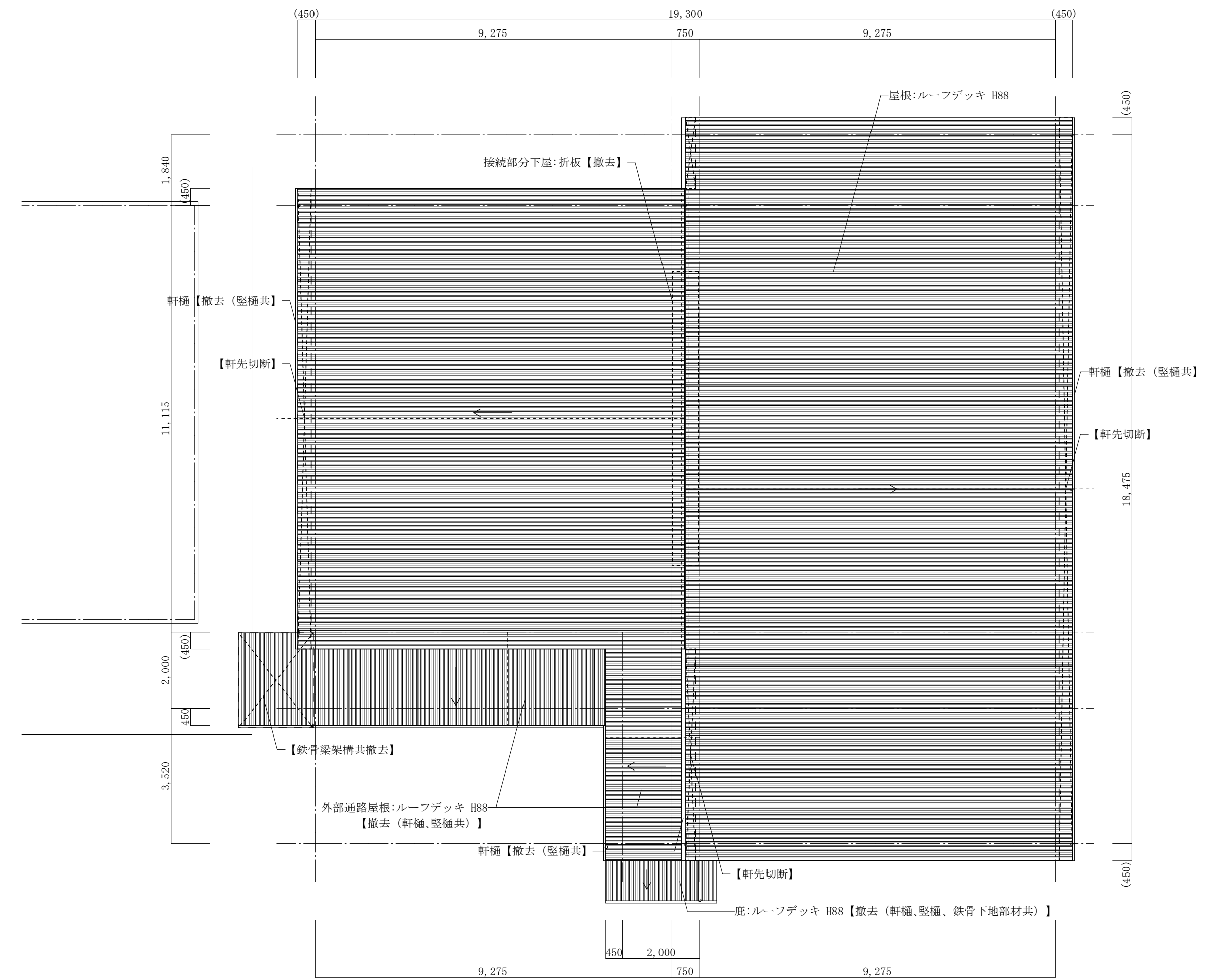
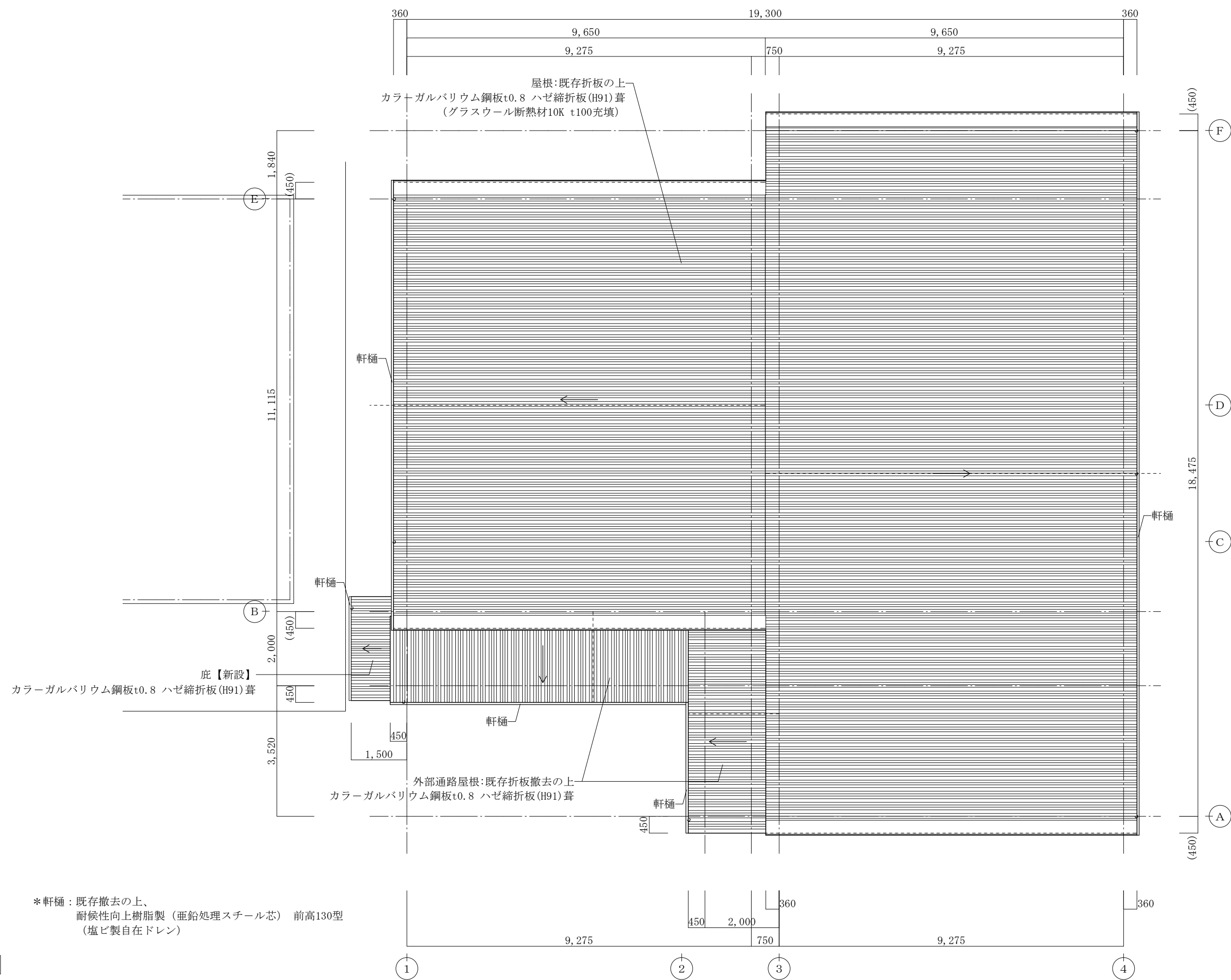
西立面図




北立面図

 安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日 : DATA	設計	検図	承認印	工事名称 : PR NAME 令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業 堀金児童館改修工事	図面名称 : DW NAME 改修立面図	図面番号 : DW NO. 確認 A-9
		製図	担当	承認年月日			

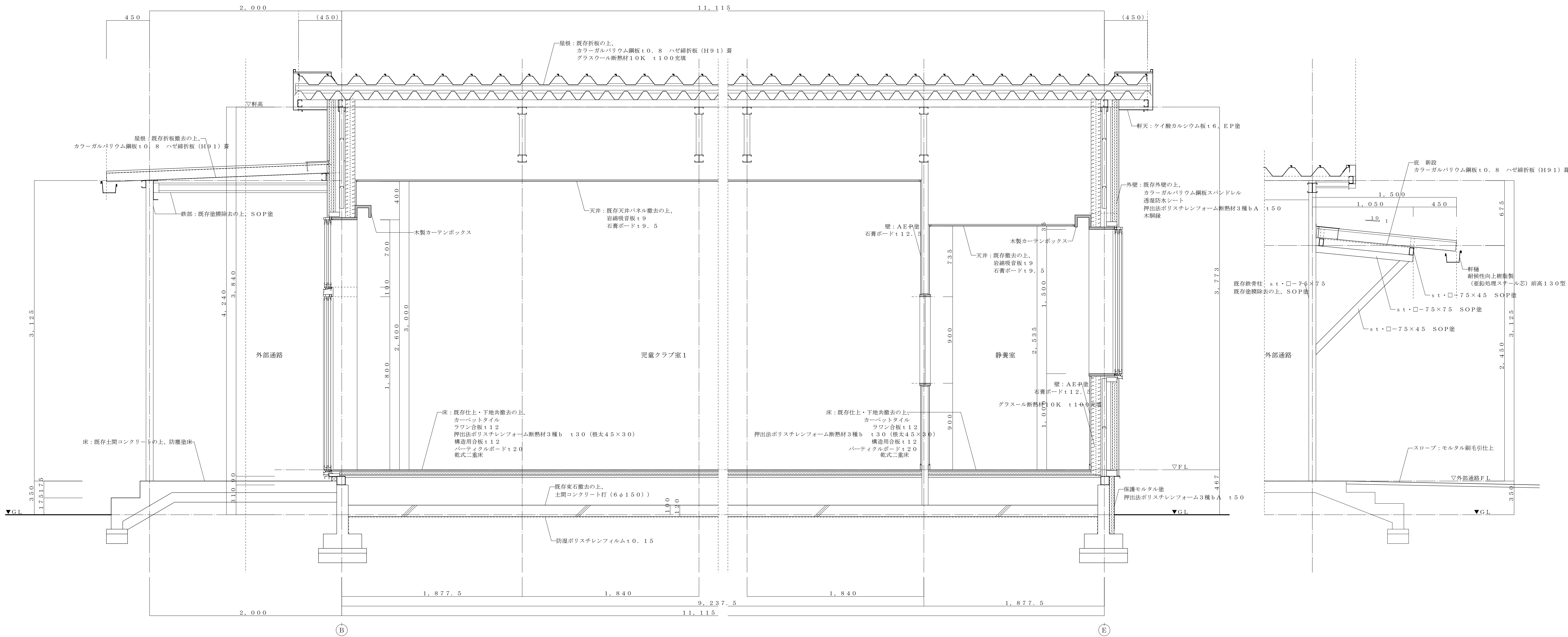




【凡例（改修）】	
記号	仕上
C-1	岩綿吸音板t9 石膏ボードt9.5下地
C-2	化粧石膏ボードt9.5 (910×910)
C-3	V塗 耐水石膏ボードt9.5
(突)	突び製廻り縁
	天井点検口 450×450

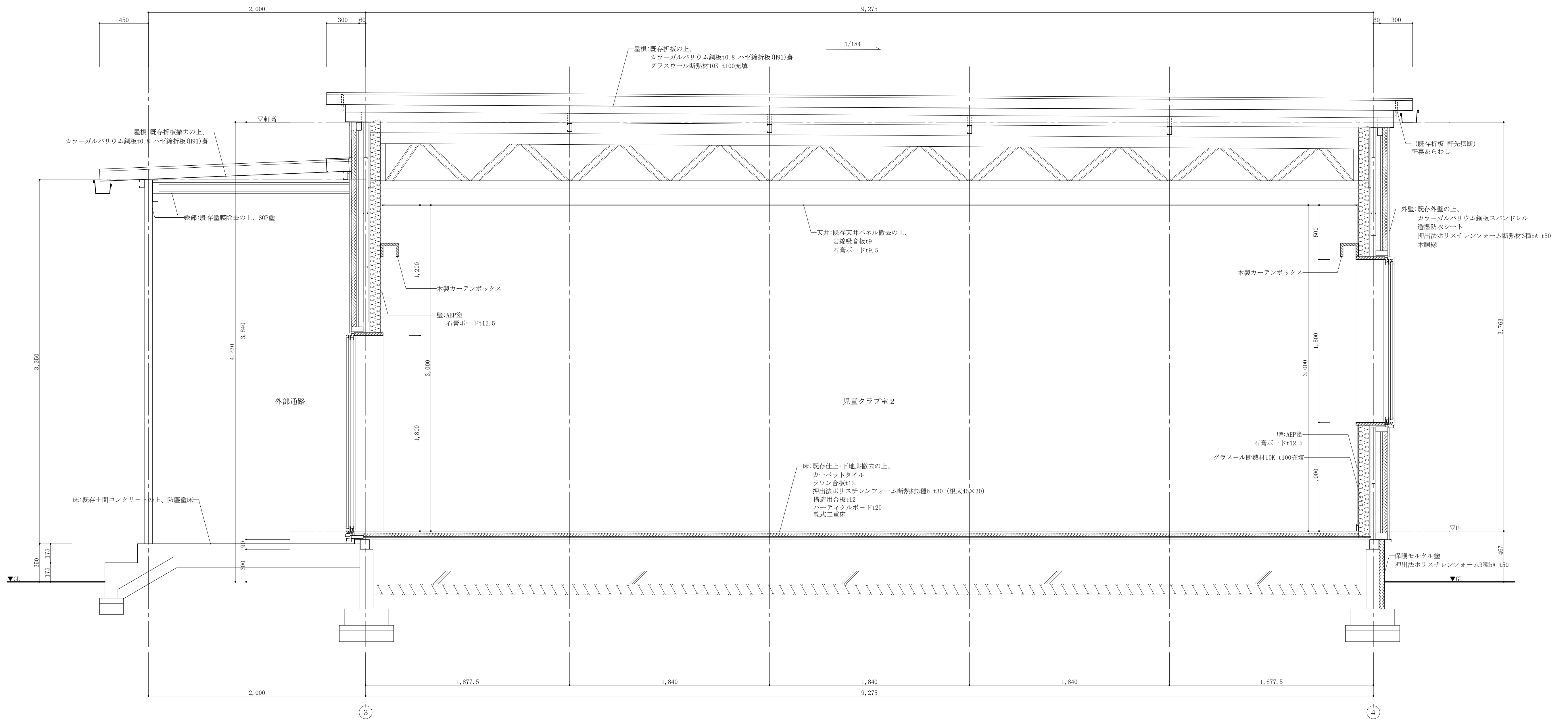
記号	仕上
c-1	カラーベニヤパネル (グラスウールt50入)
c-2	VP塗 フレキシブルボード





 安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日 : DATA	設計	検図	承認印	工事名称 : PR NAME 令和5年度 堀小児童クラブ整備事業 堀小児童館改修工事	図面名称 : DW NAME 改修矩計図1	図面番号 : DW NO. 確認 A-11
		製図	担当	承認年月日			

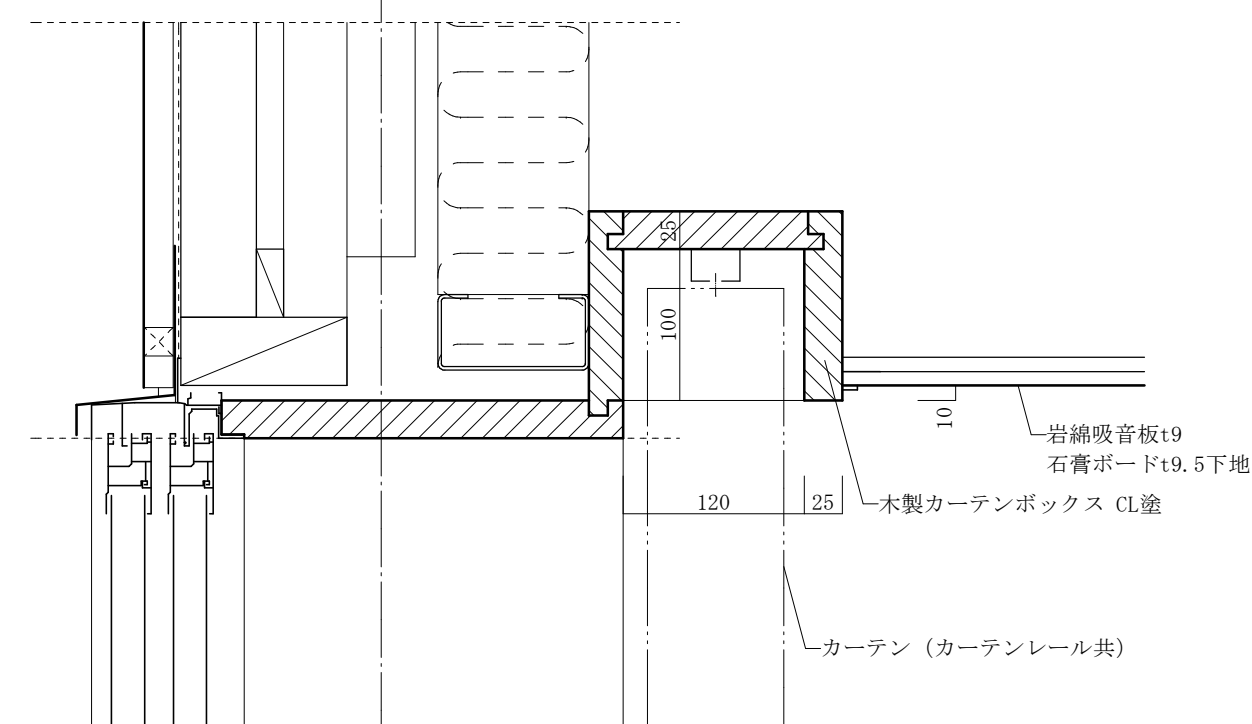
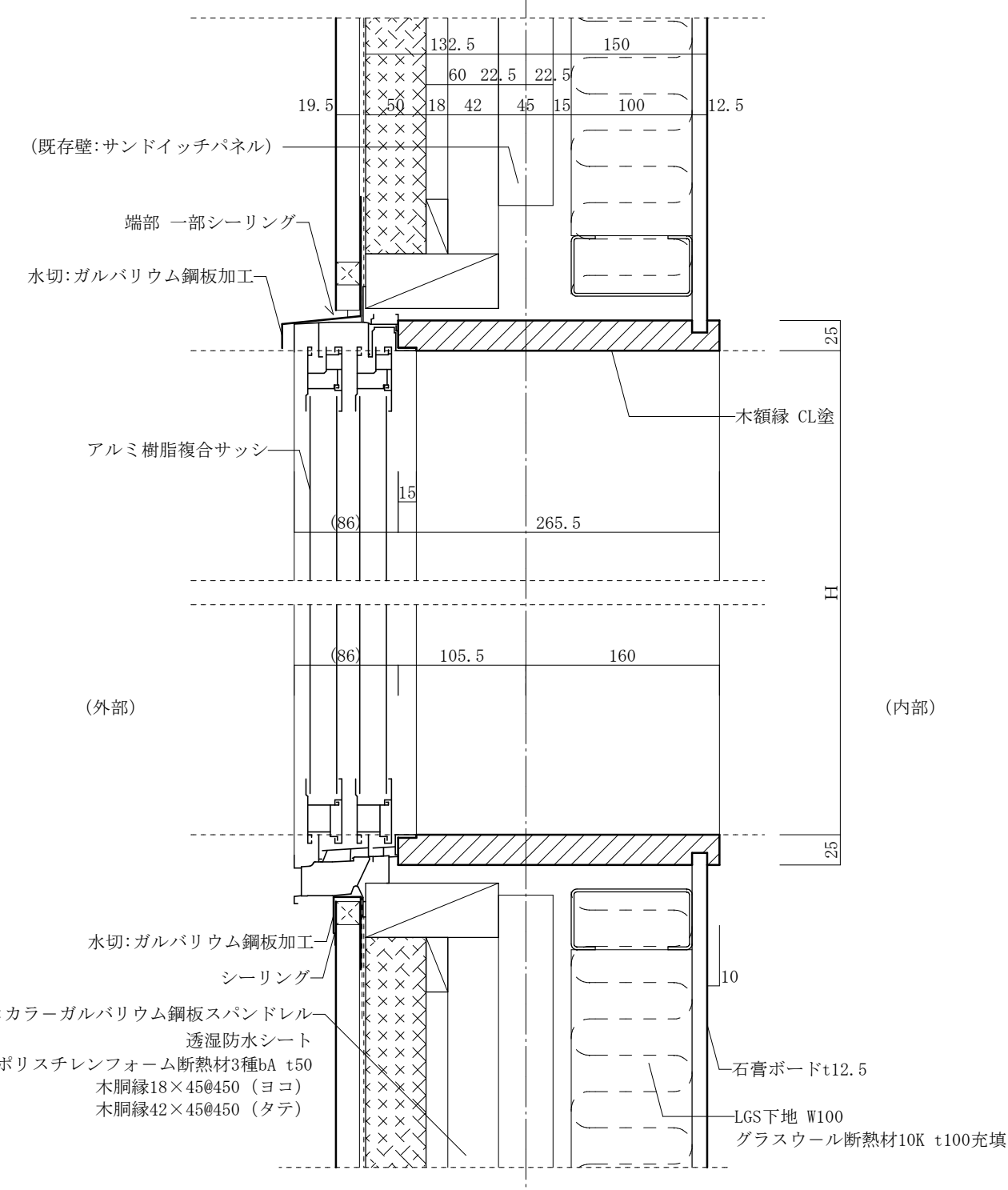




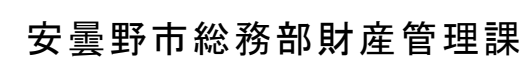
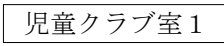
 <div>安曇野市総務部財産管理課</div>	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME 令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業 堀金児童館改修工事	図面名称：DW NAME 改修矩計図2	図面番号：DW NO. 確認 A-12
		製図	担当	承認年月日			

縮尺：SCALE  
1：20 (A-1) 1：40 (A-3)



[illegible]





訂正 月・日：DATA

設計

検図

承認印

工事名称: PR NAME

令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業

## 堀金児童館改修工事

圖面名稱：DW NAME

改修展開図 1

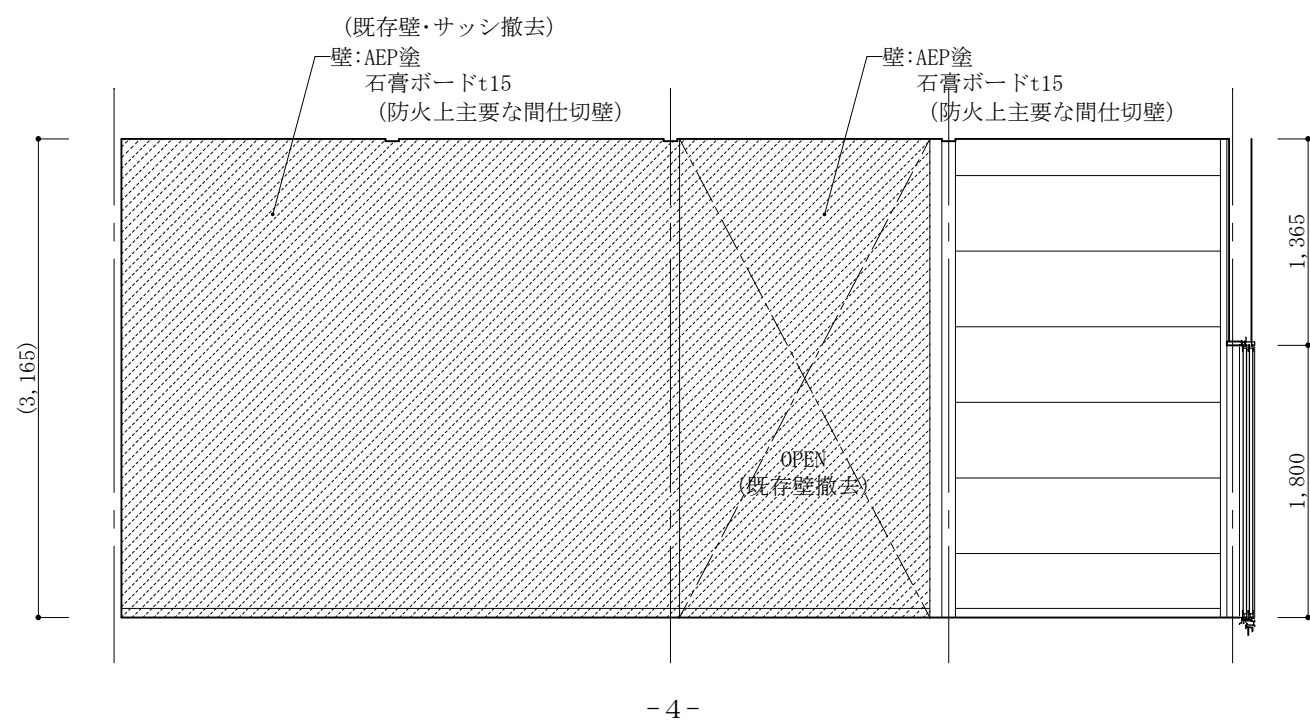
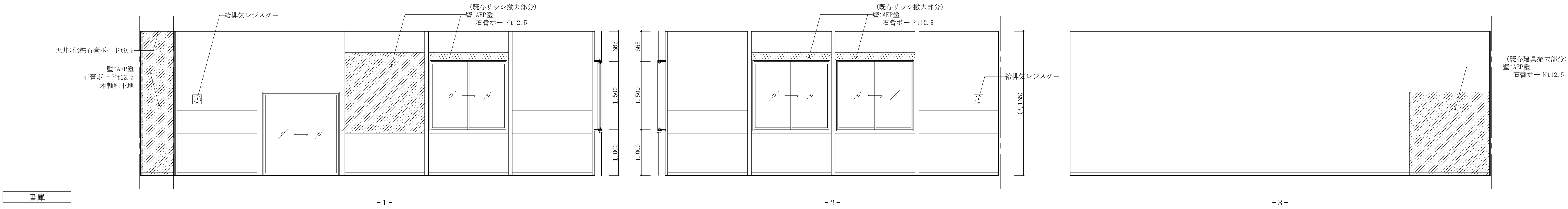
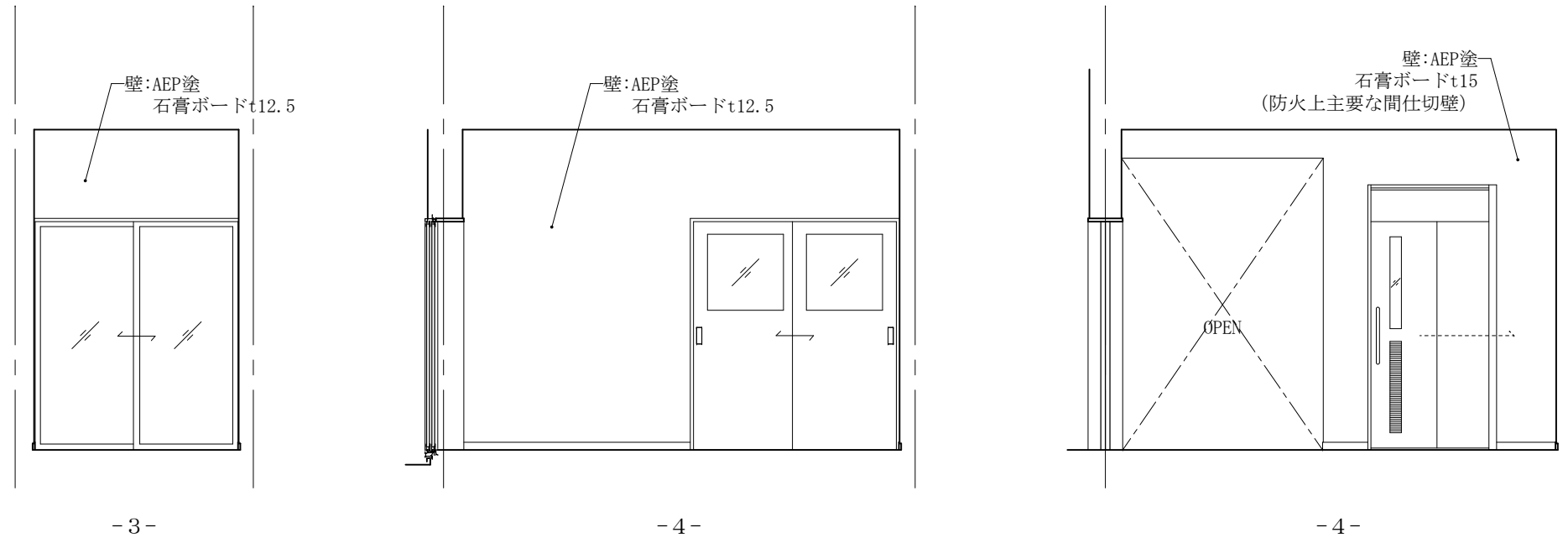
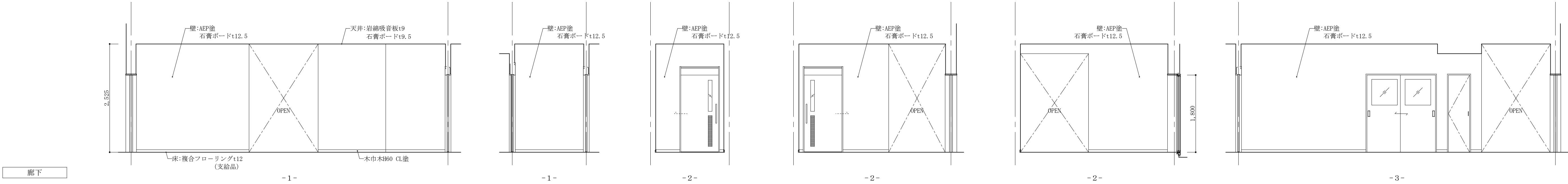
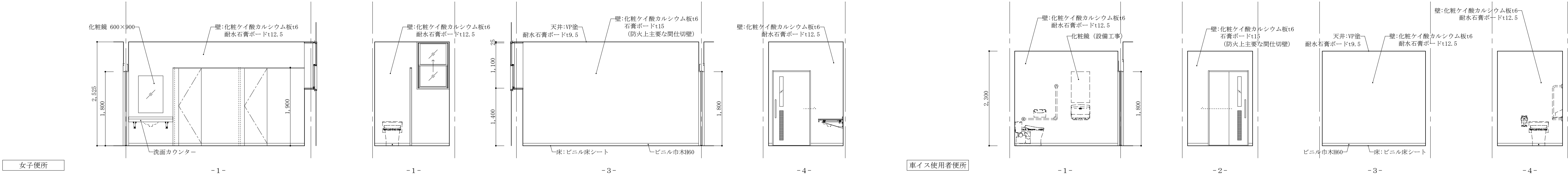
縮尺 : SCALE

1 : 50 (A-1) 1 : 100 (A-3)

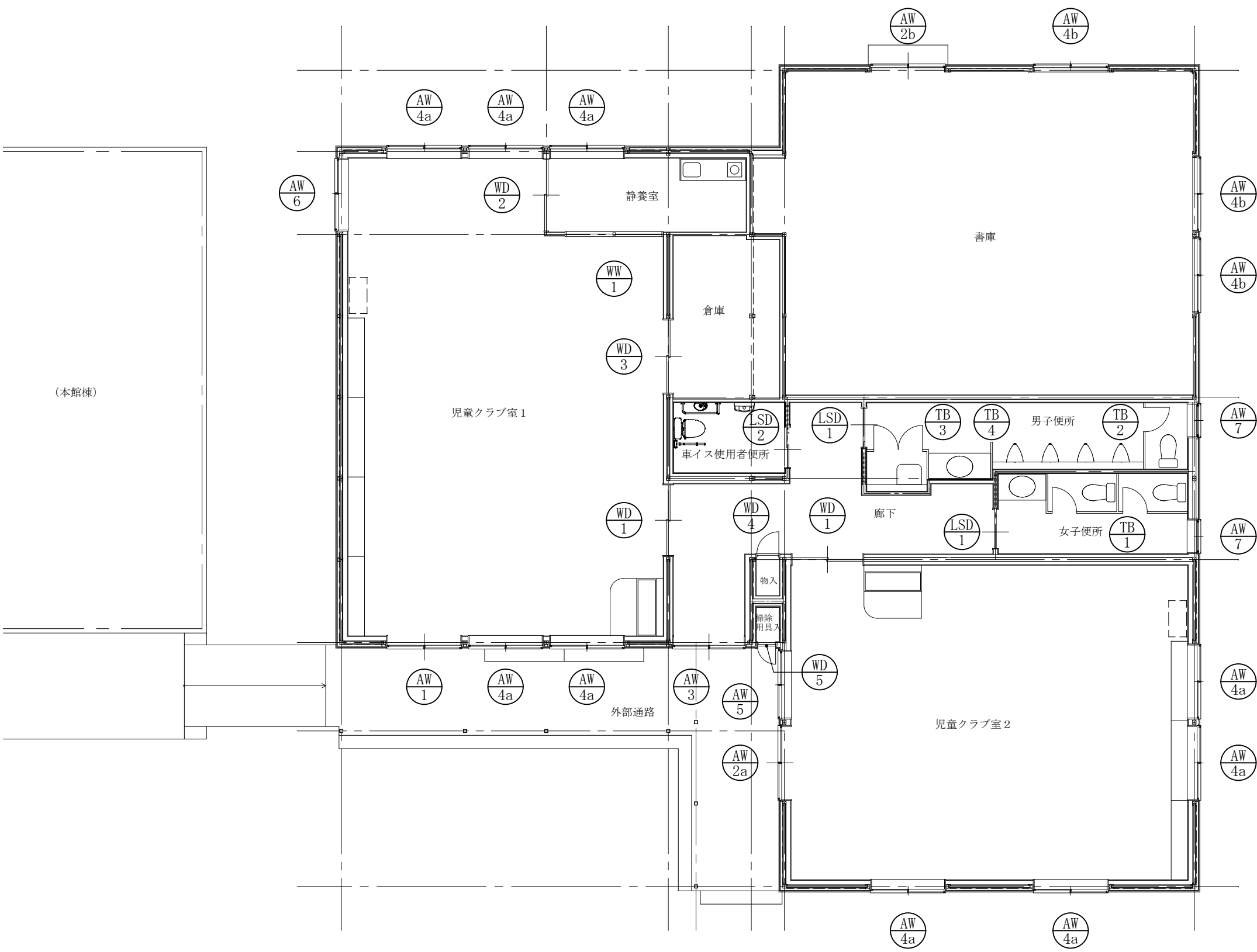
図面番号 : DW NO. 確認

A-14

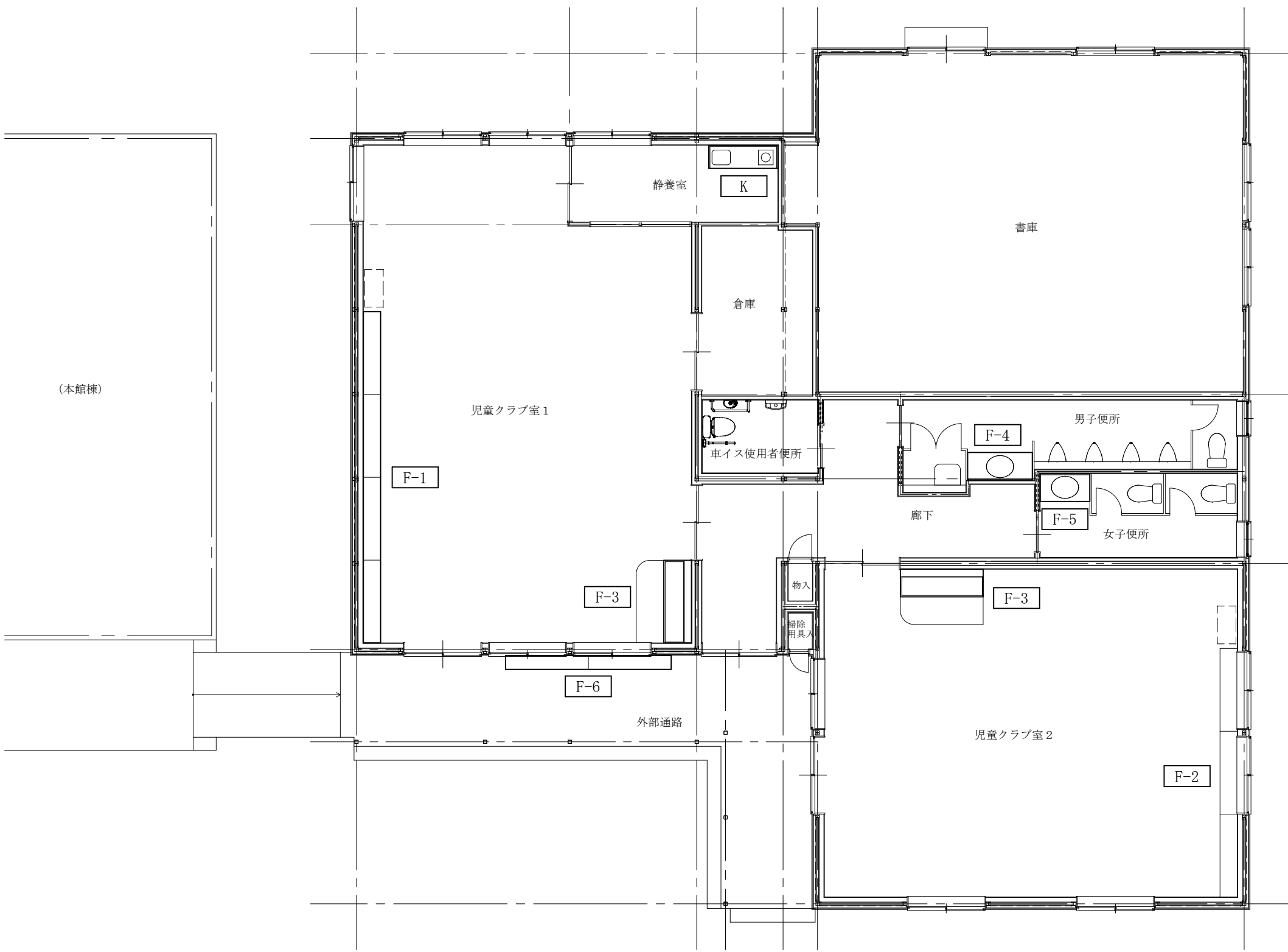








建具キープラン



家具キープラン

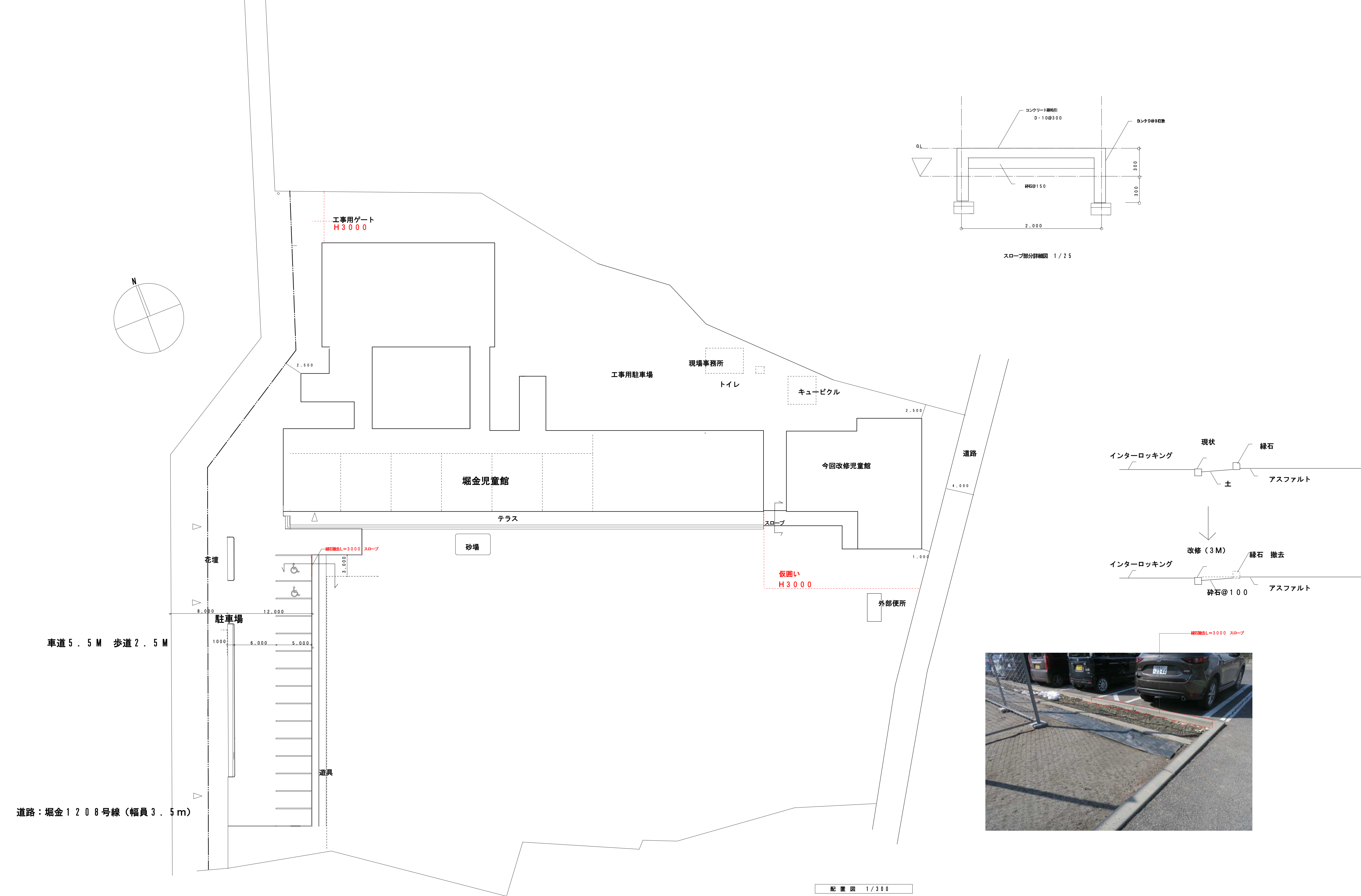


記 号	AW1	児童クラブ室1	AW2a	児童クラブ室2	AW2b	書庫	廊下	AW4a	児童クラブ室1、2 静養室	AW4b	書庫	AW5	児童クラブ室2	AW6	児童クラブ室1	AW7	男子便所 女子便所		
見 込・数量	(86)	1	(86)	1	(86)	1	(86)	1	(86)	9	(86)	3	(86)	1	(86)	1	(86)	2	
形 状・寸 法					(左図に同)				(左図に同)			(左図に同)							
種 別・方式	絞窓：引違い窓（テラス・16518）＋引違い窓（16507）		引違い窓（テラス・16518）		(左記に同)		引違い窓（テラス・16018）		引違い窓（16515）		(左記に同)		引違い窓（15015）		引違い窓（16015）		片上げ下げ窓（07411）		
材 料・仕 上	住宅用アルミ樹脂複合サッシ 半外付型		住宅用アルミ樹脂複合サッシ 半外付型		(左記に同)		住宅用アルミ樹脂複合サッシ 半外付型		住宅用アルミ樹脂複合サッシ 半外付型		(左記に同)		住宅用アルミ樹脂複合サッシ 半外付型		住宅用アルミ樹脂複合サッシ 半外付型		住宅用アルミ樹脂複合サッシ 半外付型		
硝 子	複層透明 F4+A14+F4 ガス入（ランマ部：F4+A16+F4 ガス入） 飛散防止フィルム貼		複層透明 F4+A14+F4 ガス入 飛散防止フィルム貼		(左記に同)		複層透明 F4+A14+F4 ガス入 飛散防止フィルム貼		複層透明 F4+A16+F4 ガス入 飛散防止フィルム貼		(左記に同)		複層透明 F4+A16+F4 ガス入 飛散防止フィルム貼		複層透明 F4+A16+F4 ガス入 飛散防止フィルム貼		複層透明 F4+A15+F4 ガス入 飛散防止フィルム貼		
金 物	引手、クレセント、段窓無目、網戸、CL錠 附属金物一式		引手、クレセント、網戸、CL錠 附属金物一式		(左記に同)		引手、クレセント、網戸、CL錠 附属金物一式		引手、クレセント、網戸 附属金物一式		(左記に同)		引手、クレセント、網戸 附属金物一式		引手、クレセント、網戸 附属金物一式		引手、クレセント、網戸 附属金物一式		
備 考																			
記 号	LSD1	男子便所 女子便所	LSD2	車イス使用者便所			TR1	女子便所	TR2	男子便所	TR3	男子便所	TR4	物入					
見 込・数量	40（137）	2	32・20（142）	1			40	1	40	1	40	1	40	1					
形 状・寸 法																			
種 別・方式	鋼製軽量片引き戸（LGS壁内蔵）		鋼製軽量2連動片引き戸（LGS壁内蔵）			トイレブース		トイレブース		トイレブース		トイレブース（SR・物入）		スクリーン					
材 料・仕 上	亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装仕上 （壁：芯材：ペーパーコア）		亜鉛メッキ鋼板 焼付塗装仕上 （壁：芯材：ペーパーコア）			高圧メラミン樹脂化粧板（下地：MDF）、芯材：ペーパーコア アルミアルールエッジ（中心吊り）		高圧メラミン樹脂化粧板（下地：MDF）、芯材：ペーパーコア アルミアルールエッジ（中心吊り）		高圧メラミン樹脂化粧板（下地：MDF）、芯材：ペーパーコア		高圧メラミン樹脂化粧板（下地：MDF）、芯材：ペーパーコア		高圧メラミン樹脂化粧板（下地：MDF）、芯材：ペーパーコア					
硝 子	透明ガラス		透明ガラス			—		—		—		—		—					
金 物	傾斜レール、制動装置エアダンパ、ハンガー戸車、枠、点検カバー 戸袋、取手：P4（製心）、切窓、ガタリ、付属金物一式		傾斜レール、制動装置エアダンパ、ハンガー戸車、枠、 点検カバー、戸袋、取手：P4（製心）、サムターン（非常解放表示付）、切窓、ガタリ、付属金物一式 （参考：小松f+e/k/カムドア）			中心吊、グレビティヒンジ、表示付スライドロック、目板、戸当り、コナーカバー、笠木、壁面レール、戸当り帽子掛、巾木、物掛用フック 付属金物一式（吊元側指込み防止仕様）		中心吊、グレビティヒンジ、表示付スライドロック、戸当り、笠木、壁面レール、戸当り帽子掛、巾木、 物掛用フック、付属金物一式（吊元側指込み防止仕様）		中心吊、グレビティヒンジ、表示付スライドロック、戸当り、笠木、壁面レール、戸当り帽子掛、巾木、 物掛用フック、付属金物一式（吊元側指込み防止仕様）		丁番、引手、マグネットキャッチ、目板、戸当り、コナーカバー、笠木、壁面レール、巾木、 付属金物一式		笠木、壁面レール、巾木、 付属金物一式					
備 考	(参考：小松f+e/k/カムドア)		(参考：小松f+e/k/カムドア)			(参考：小松f+e/k/サニティ TB-GP)		(参考：小松f+e/k/サニティ TB-GP)		(参考：小松f+e/k/サニティ TB-GP)		(参考：小松f+e/k/サニティ TB-GP)		(参考：小松f+e/k/サニティ TB-GP)					
記 号	WD1	児童クラブ室1、2	WD2	静養室	WD3	倉庫	WD4	倉庫	WD5	(外部) 掃除用具入	WW1	静養室							
見 込・数量	36	2	36	1	36	1	36	1	36	1	36	1							
形 状・寸 法																			
種 別・方式	木製引違い戸		木製引違い戸		木製引違い戸		木製片開き戸		木製片開き戸		内部FIX窓								
材 料・仕 上	ポリ合板フラッシュ、大手：スプルス CL塗		ポリ合板フラッシュ、大手：スプルス CL塗		ポリ合板フラッシュ、大手：スプルス CL塗		ポリ合板フラッシュ、大手：スプルス CL塗		表面：カラーガルバリウム鋼板張 断水合板フラッシュ、木部：珪藻土		—								
硝 子	TP4		TP4		—		—		—		TP4								
金 物	引手、戸車、SUSフラットレール		引手、戸車、SUSフラットレール		引手、戸車、SUSフラットレール		スライド丁番、マグネットキャッチ、取手		丁番、ドアチェック、レバーハンドル シリンドー錠、ステンレス下輪		—								
備 考																			
記 号																			
見 込・数量																			
形 状・寸 法																			
種 別・方式																			
材 料・仕 上																			
硝 子																			
金 物																			
備 考																			

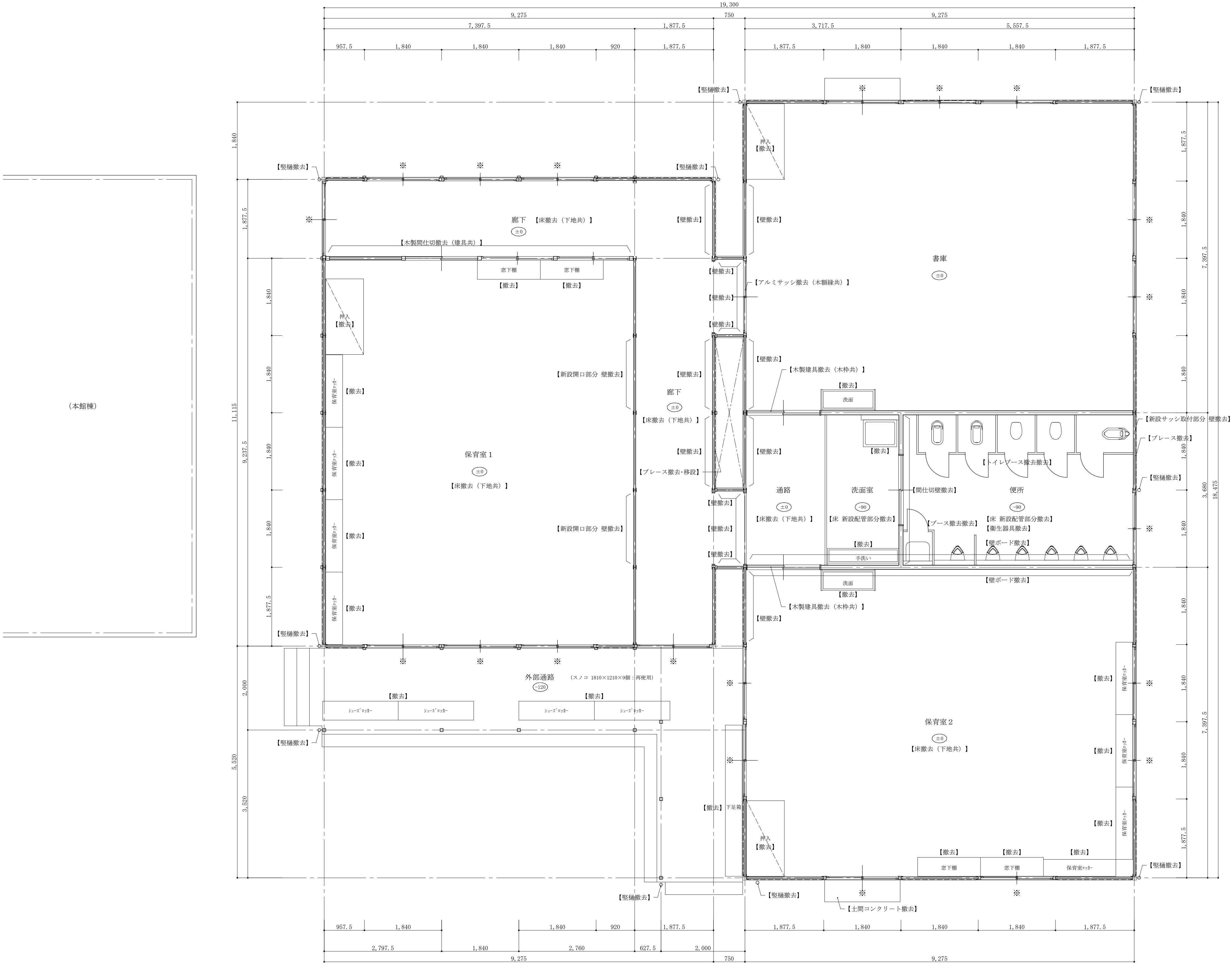


 安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日 : DATA	設計	検図	承認印	工事名称 : PR NAME <b>令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業</b> <b>堀金児童館改修工事</b>	図面名称 : DW NAME	家具図 縮尺 : SCALE <div>1 : 20 (A-1)   1 : 40 (A-3)</div>	図面番号 : DW NO. 確認 <div>A-18</div>
		製図	担当	承認年月日				



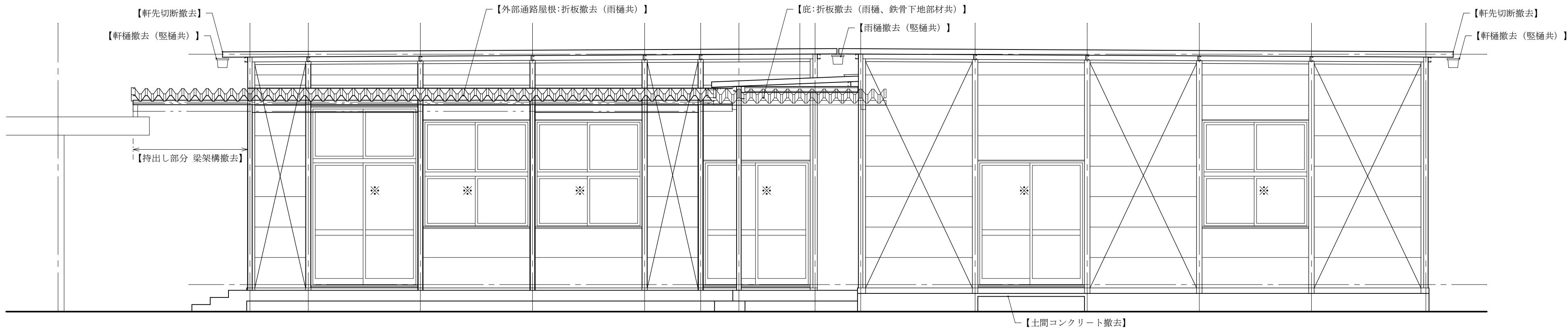




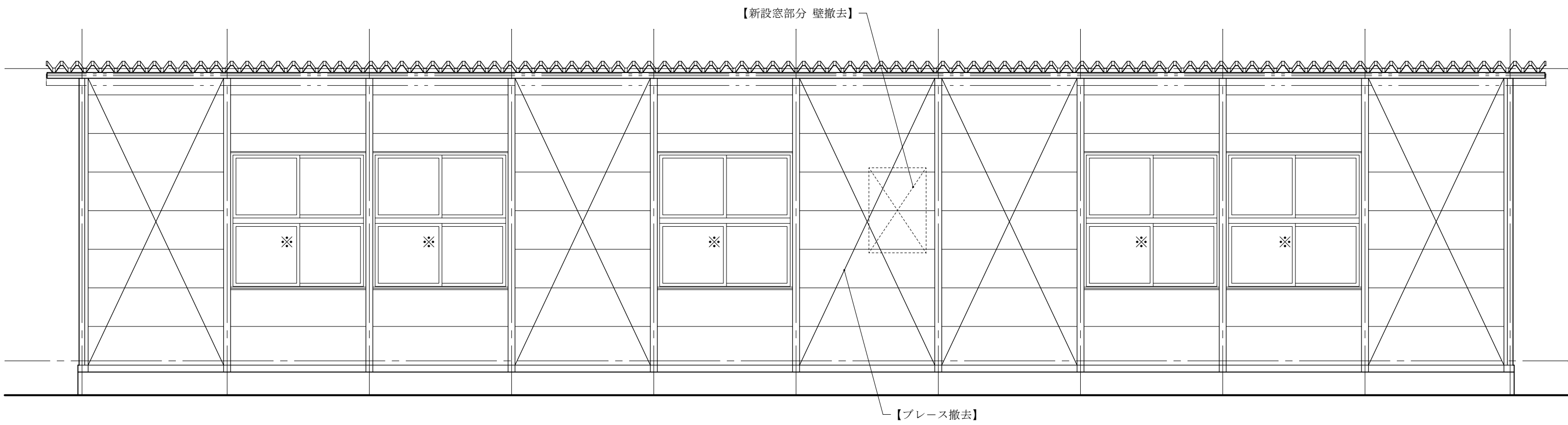


※：アルミサッシ撤去（木額縁共）

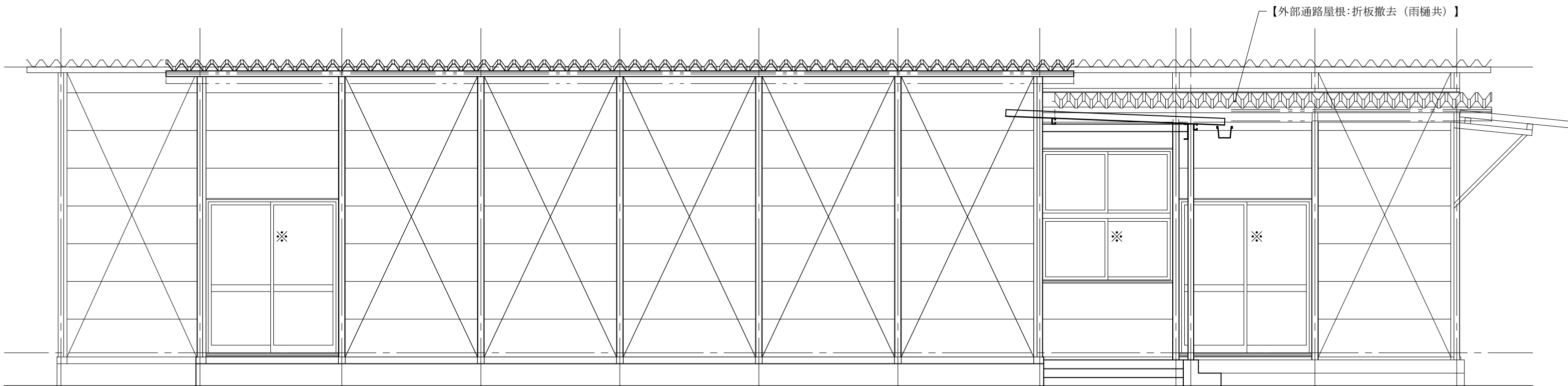




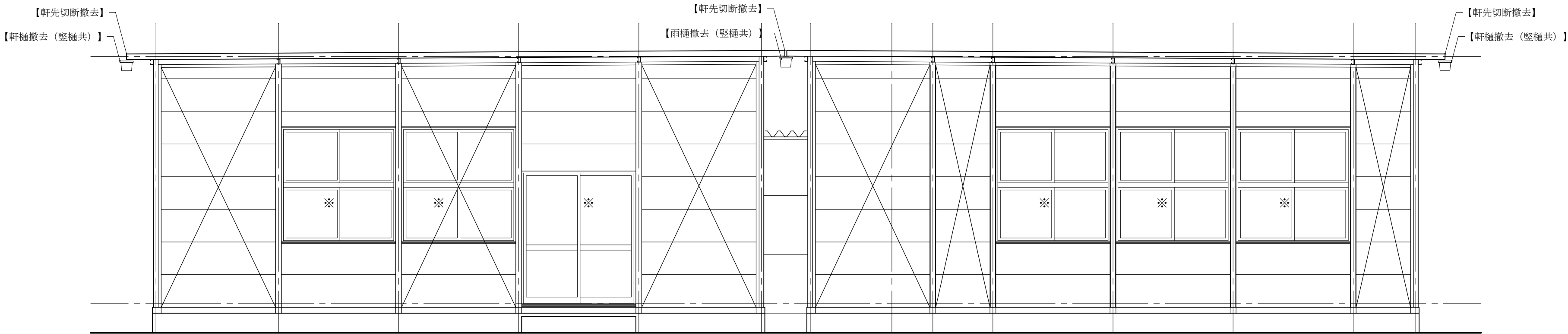
南立面図



東立面図



西立面図



北立面図

※：アルミサッシ撤去

	安曇野市総務部財産管理課	訂正 月・日：DATA	設計	検図	承認印	工事名称：PR NAME 令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業	図面名称：DW NAME 既存立面図	図面番号：DW NO. 確認 A-21
			製図	担当	承認年月日			
								縮尺：SCALE 1：50（A-1） 1：100（A-3）
				堀金児童館改修工事				





安曇野市総務部財産管理課

訂正 月・日：DATA

## 設計

検図

承認印

工事名称: P R N A M E

令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業  
堀金児童館改修工事

圖面名稱：DW NAME

既存矩計図 1

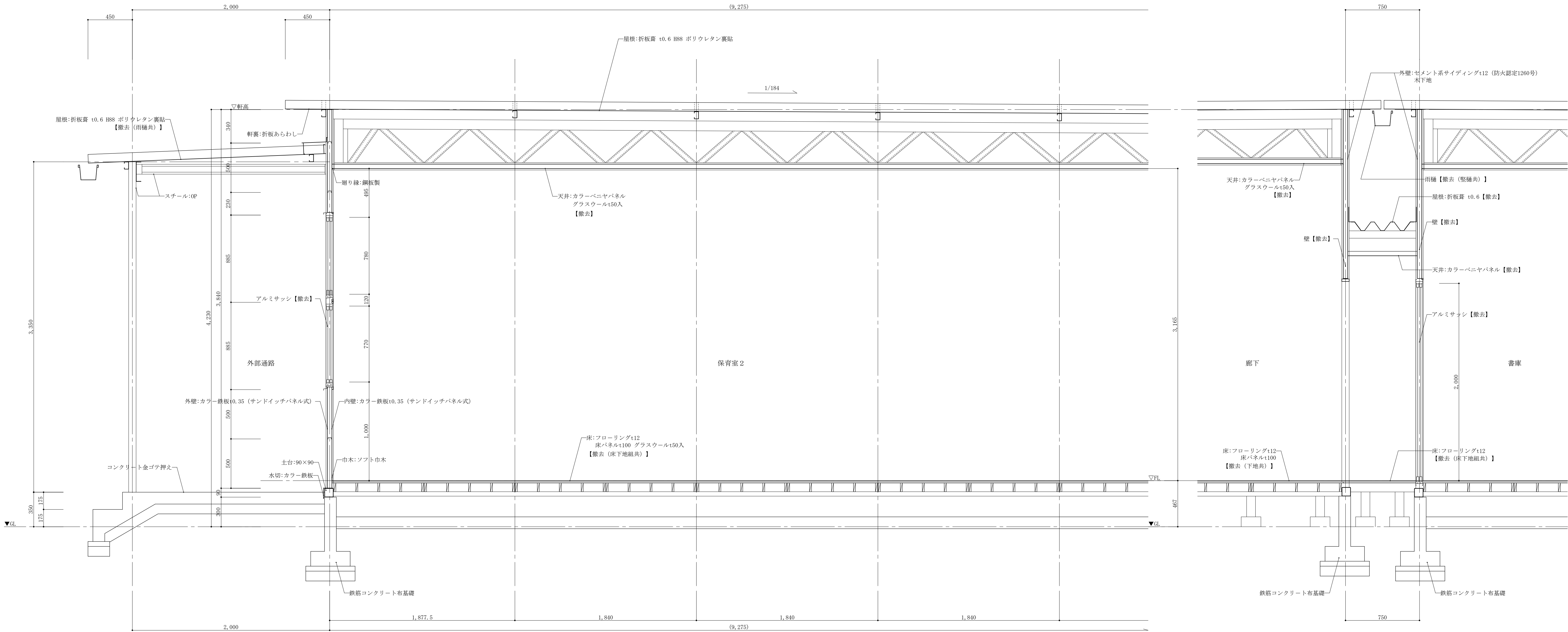
縮尺：SCALE

1 : 20 (A-1)    1 : 40 (A-3)

図面番号：DW NO. 確認

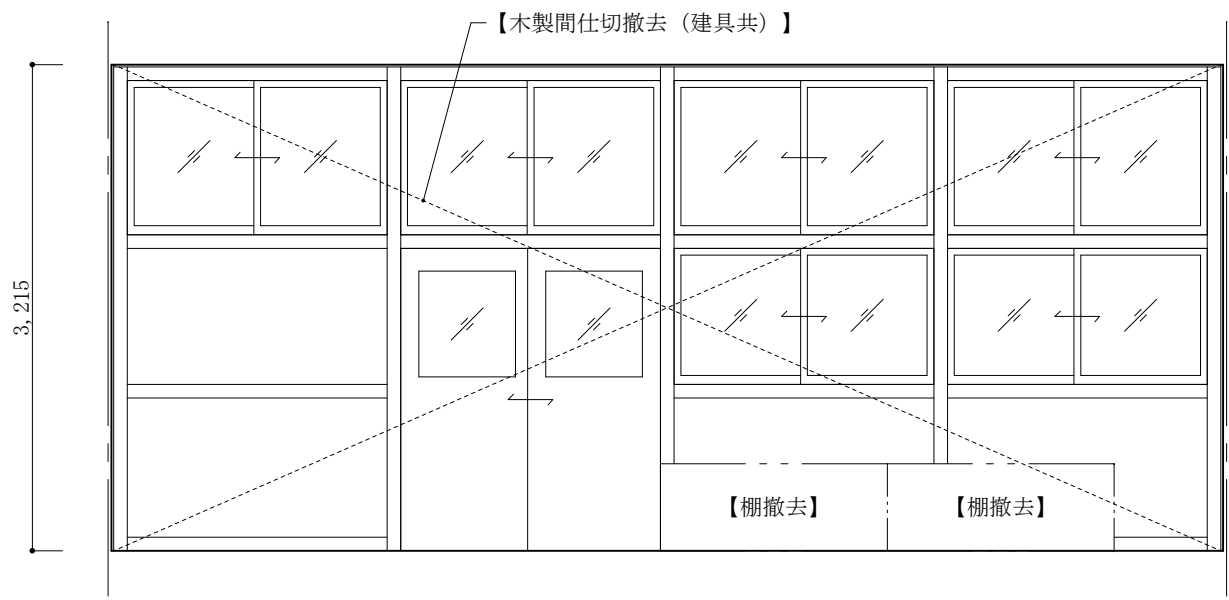
A-22



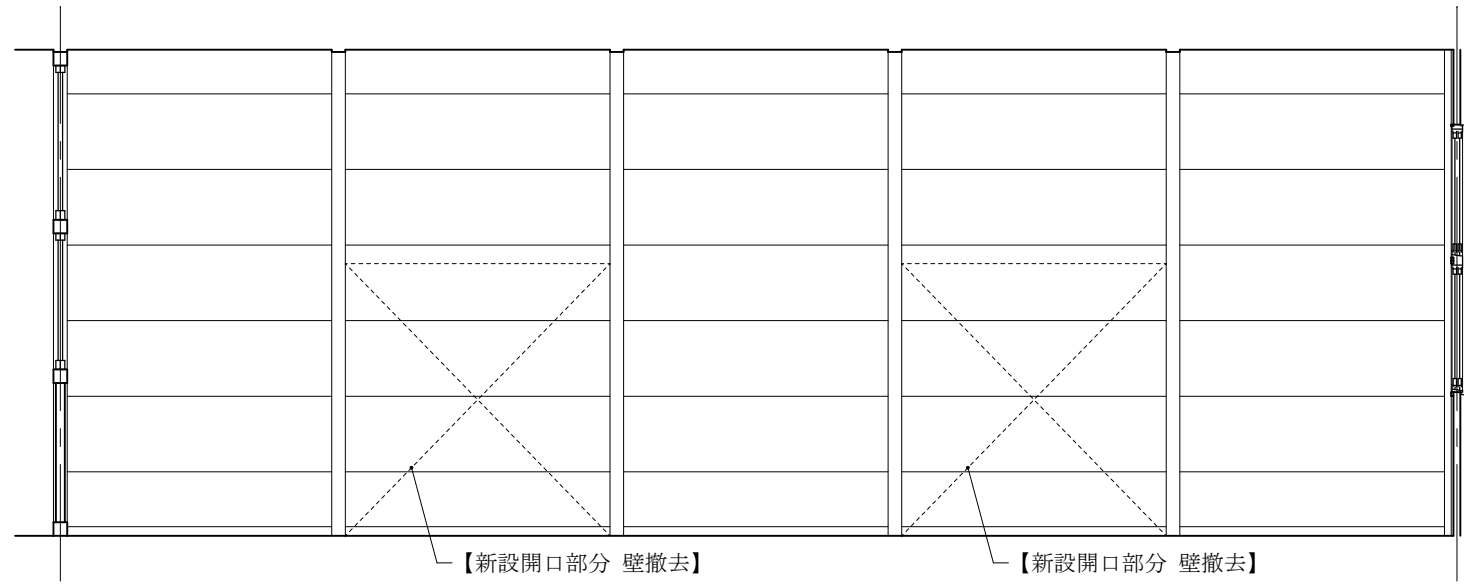




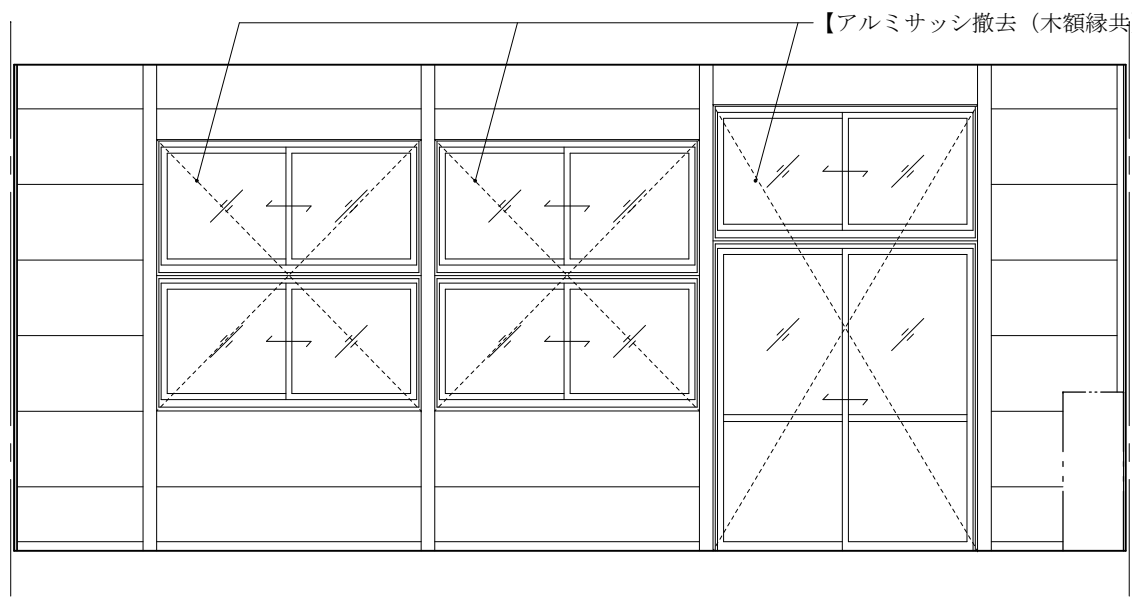
保育室1



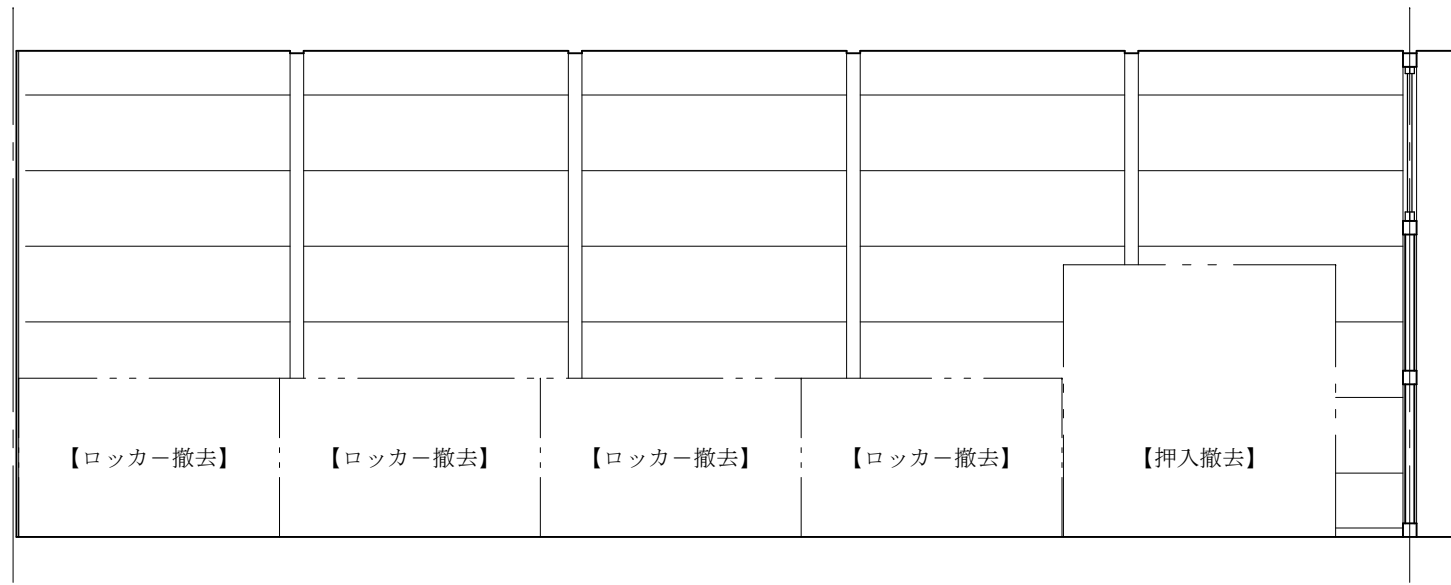
-1-



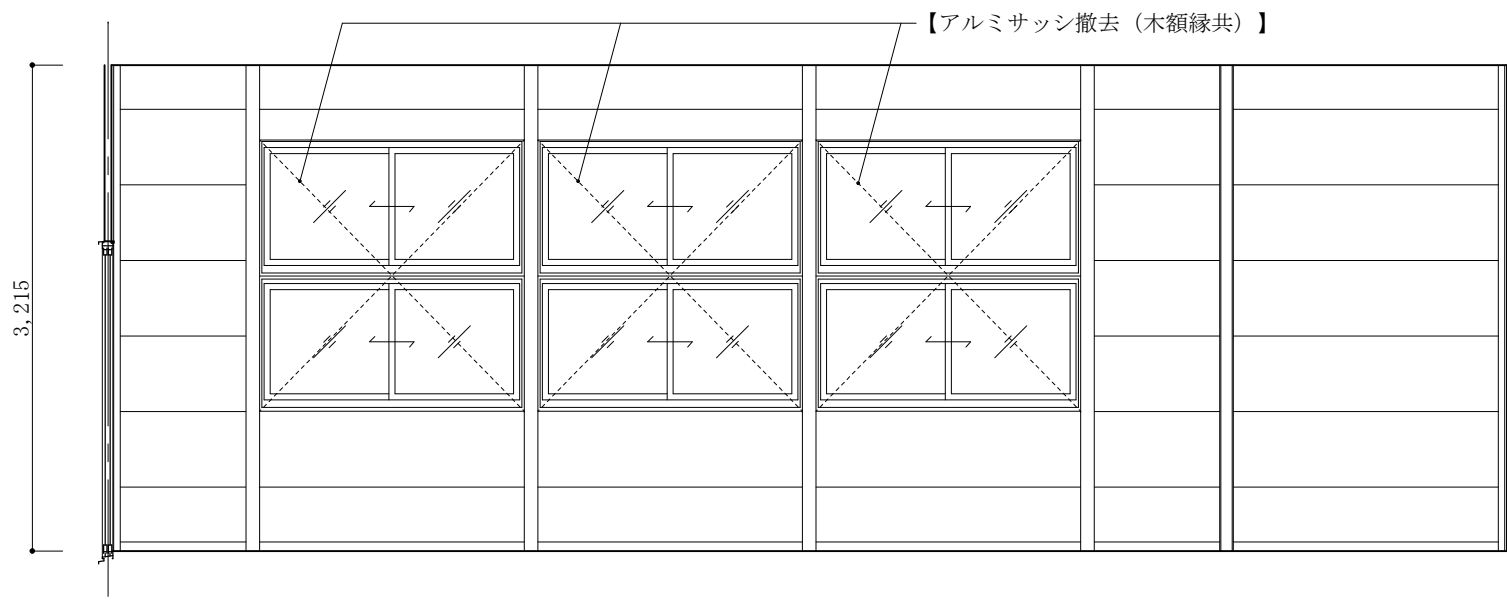
-2-



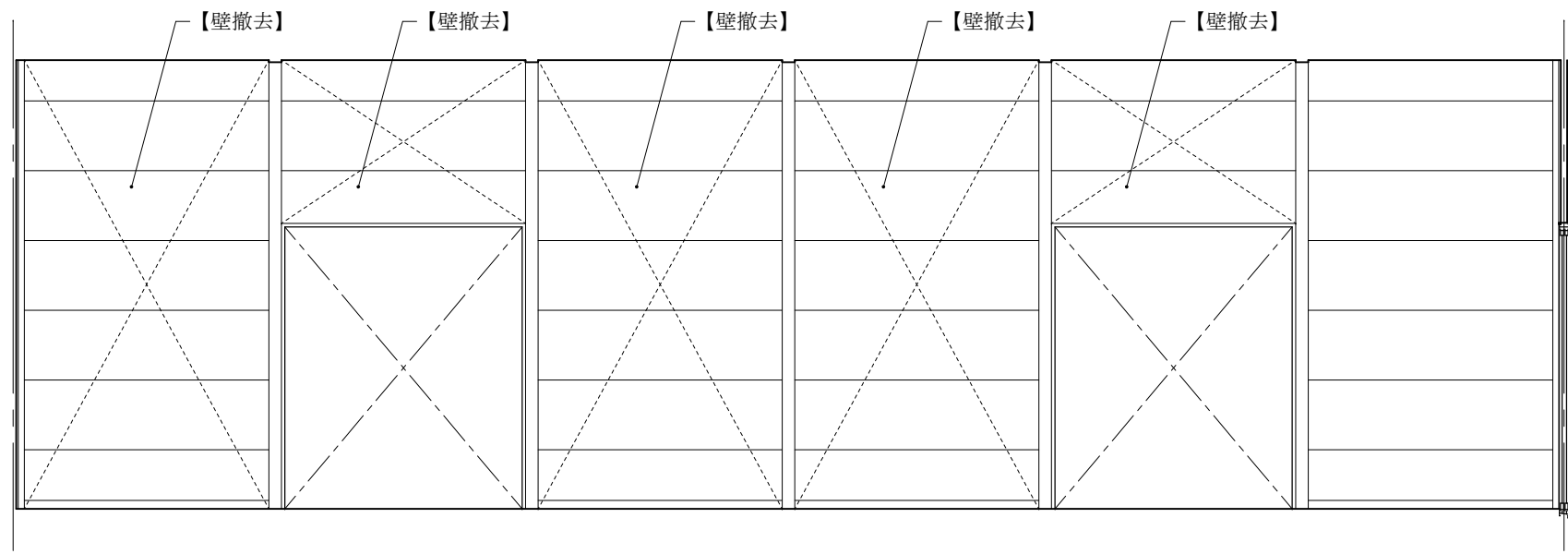
-3-



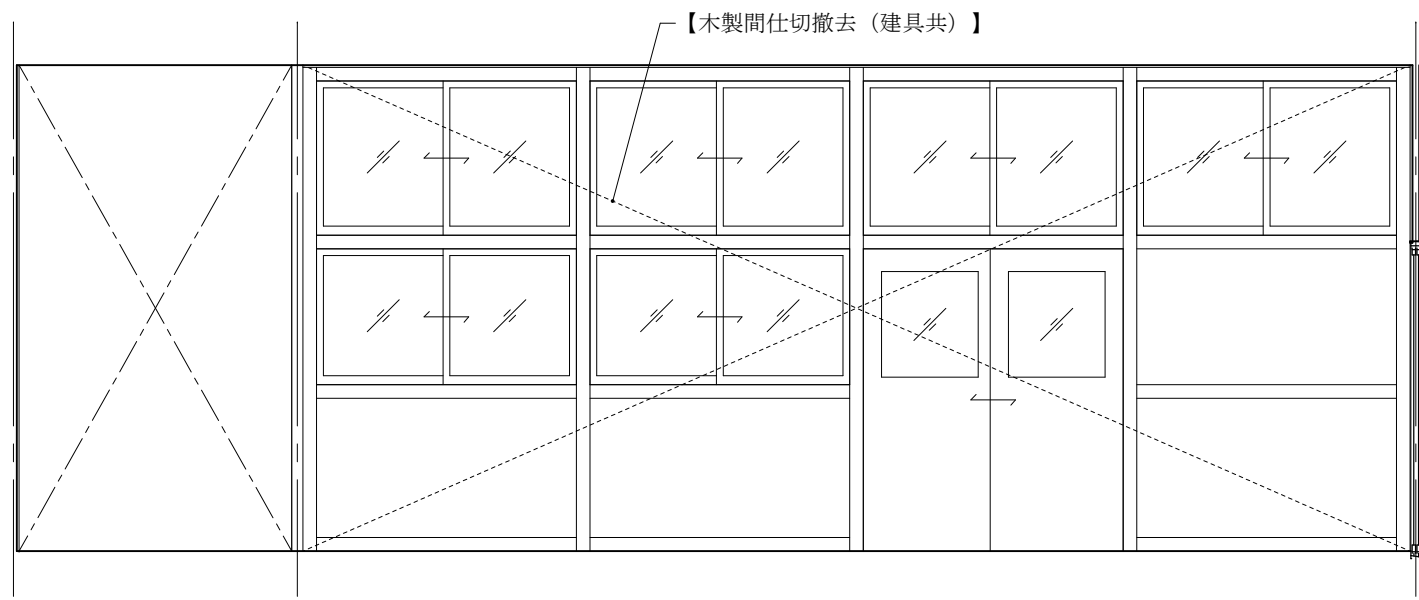
-4-



-1-

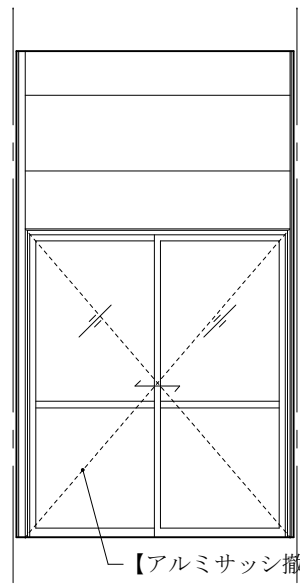


-2-

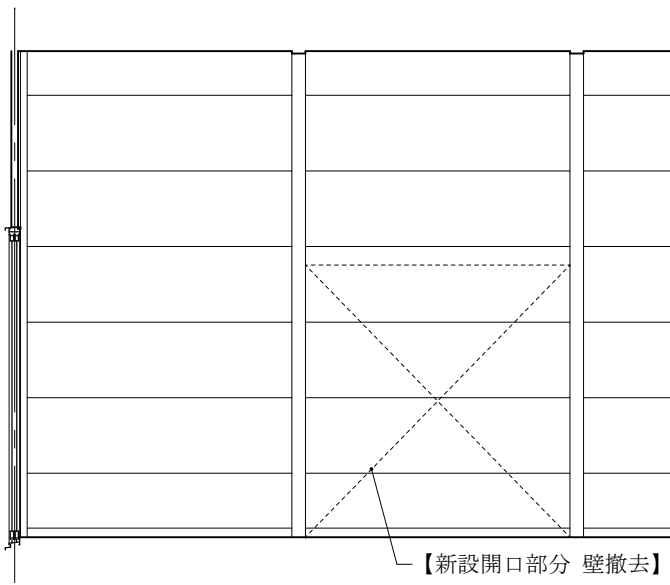


-3-

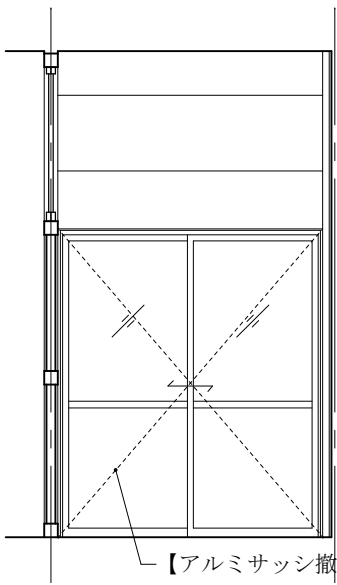
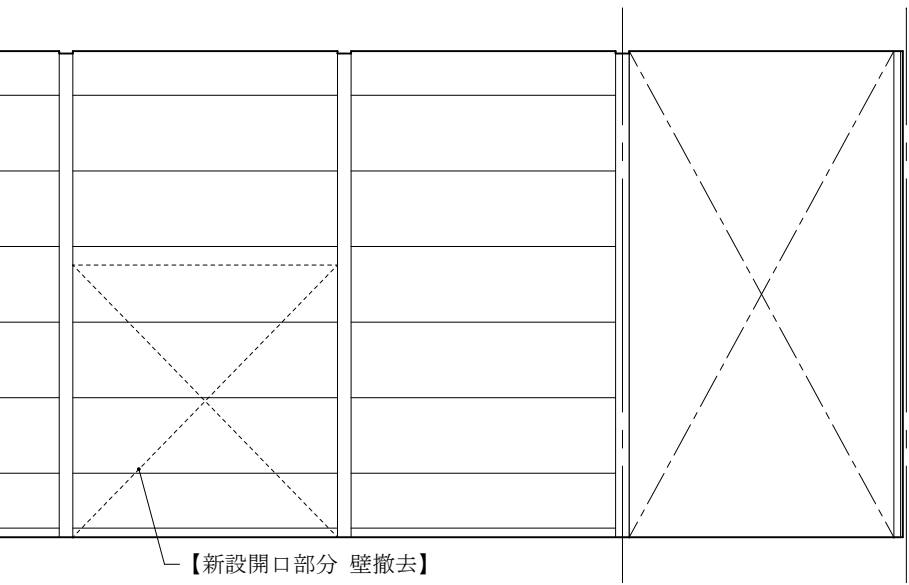
廊下



-3-

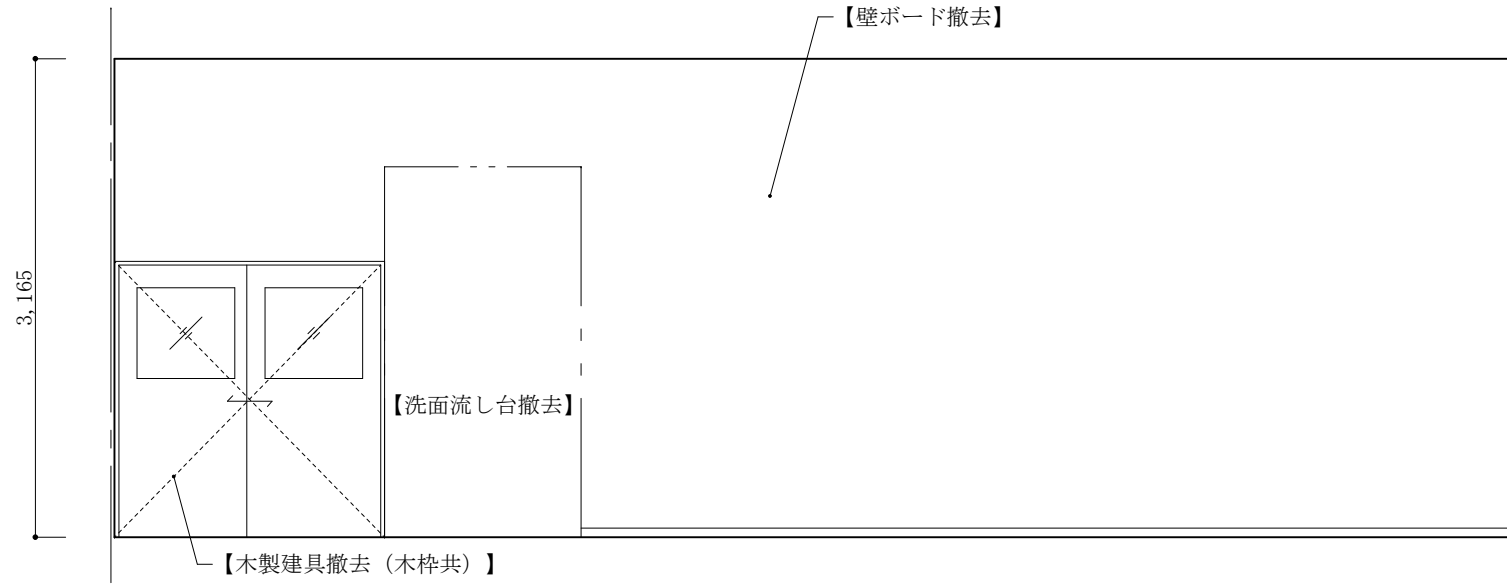


-4-

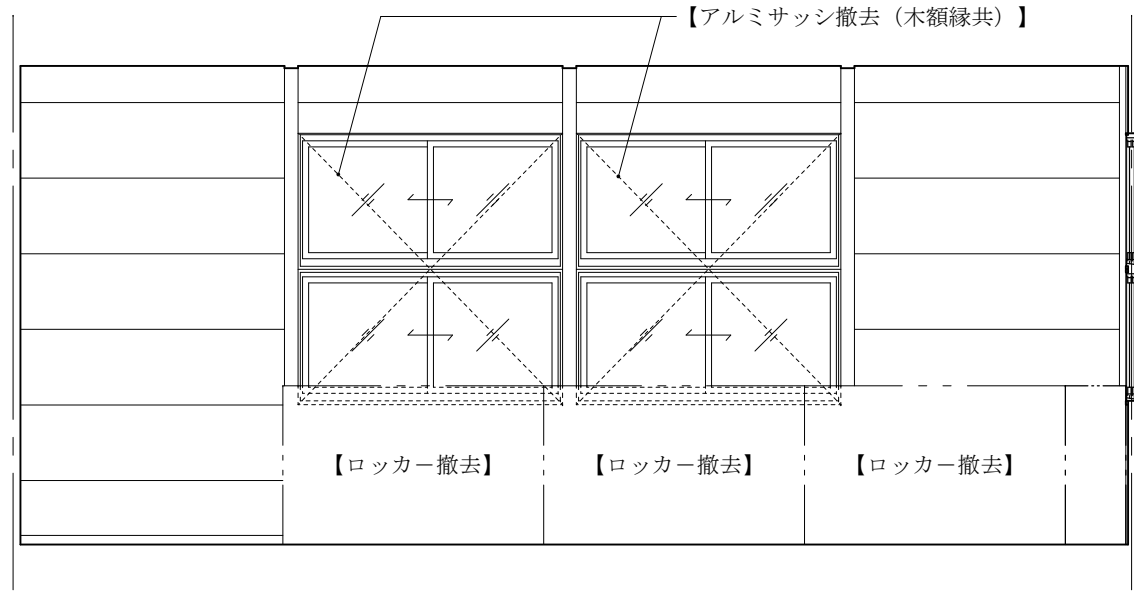


-4-

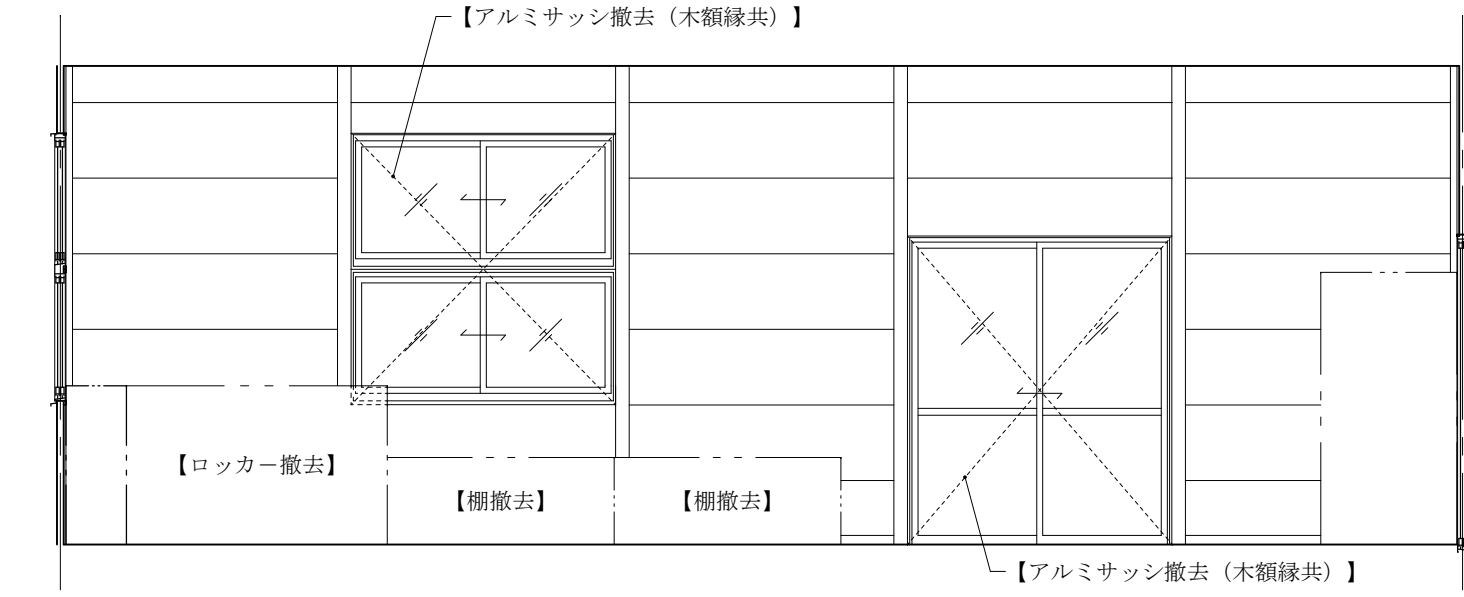
保育室2



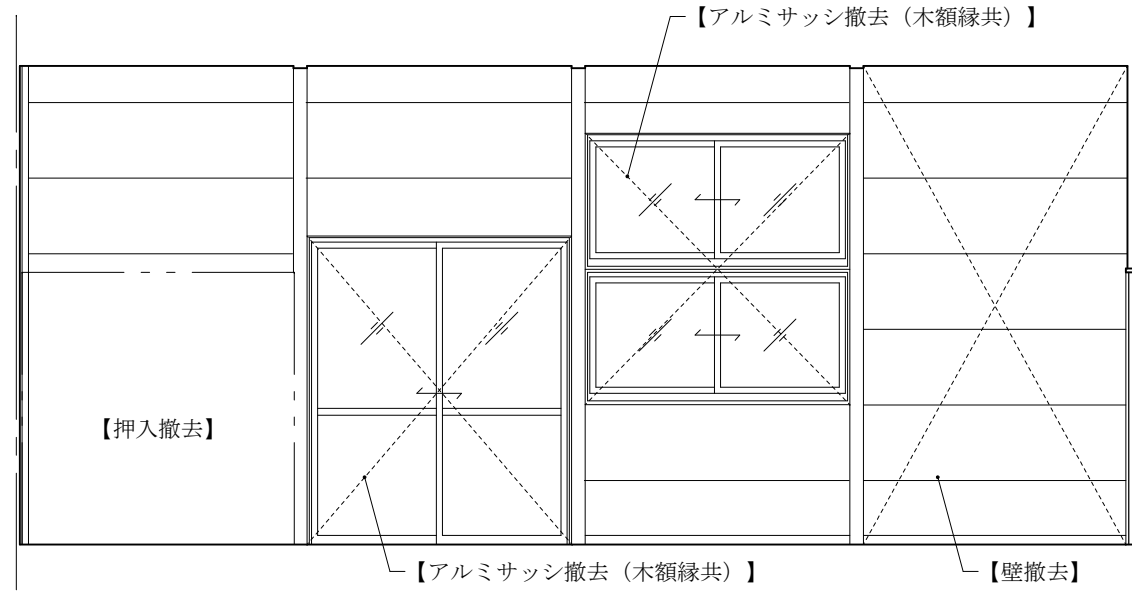
-1-



-2-



-3-



-4-



安曇野市総務部財産管理課

訂正 月・日：DATA

設計

検図

承認印

工事名称：PR NAME

図面名称：DW NAME

図面番号：DW NO. 確認

製図

担当

承認年月日

令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業

既存展開図1

A-24

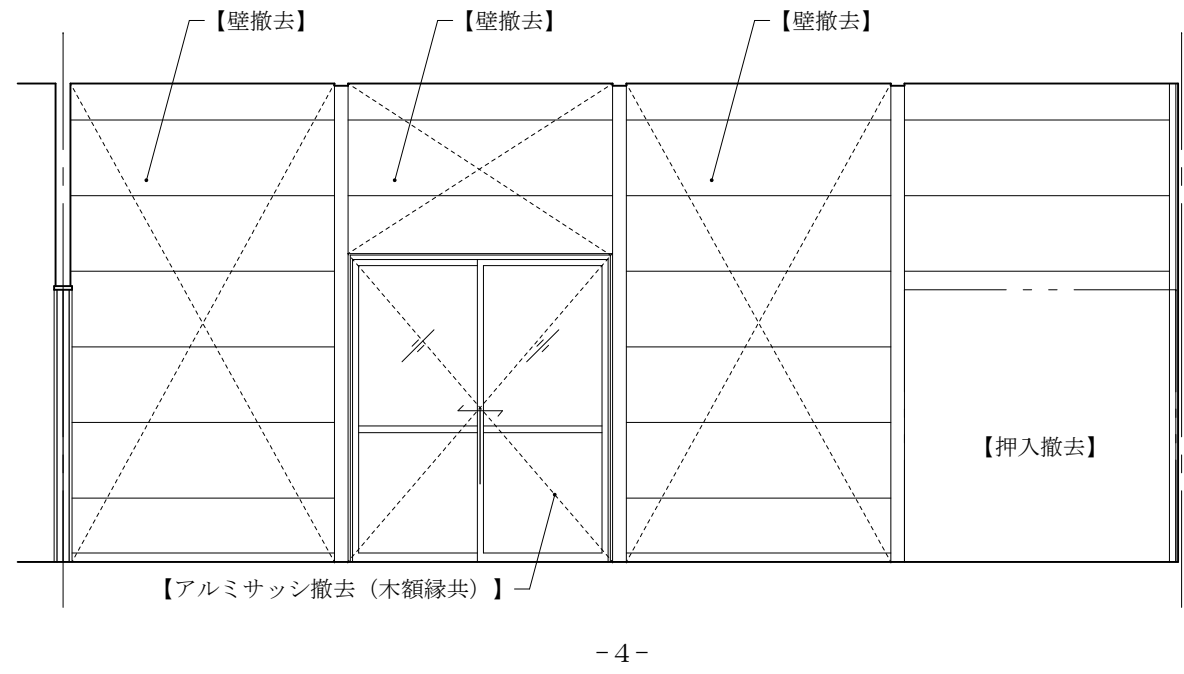
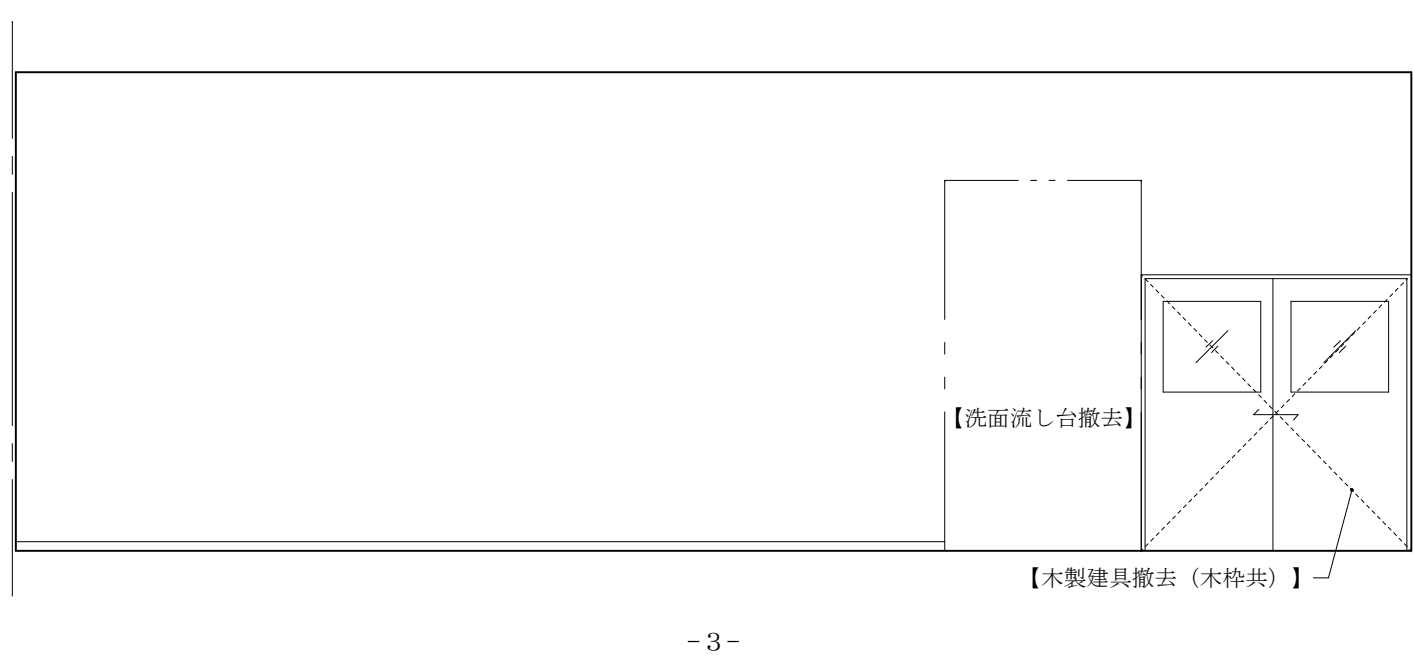
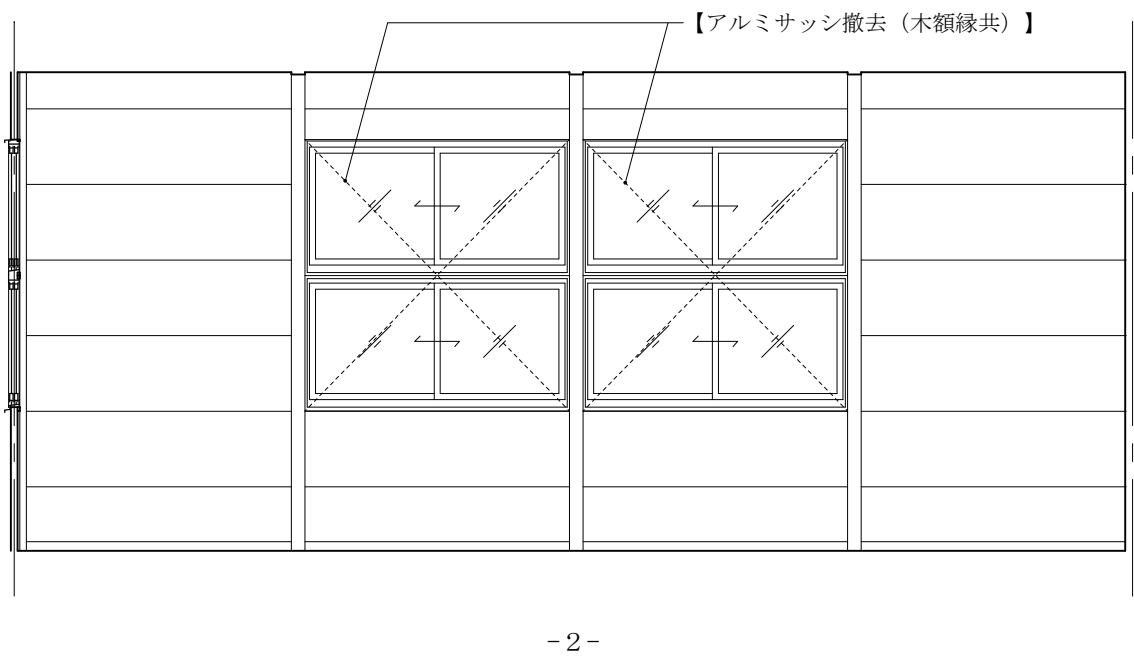
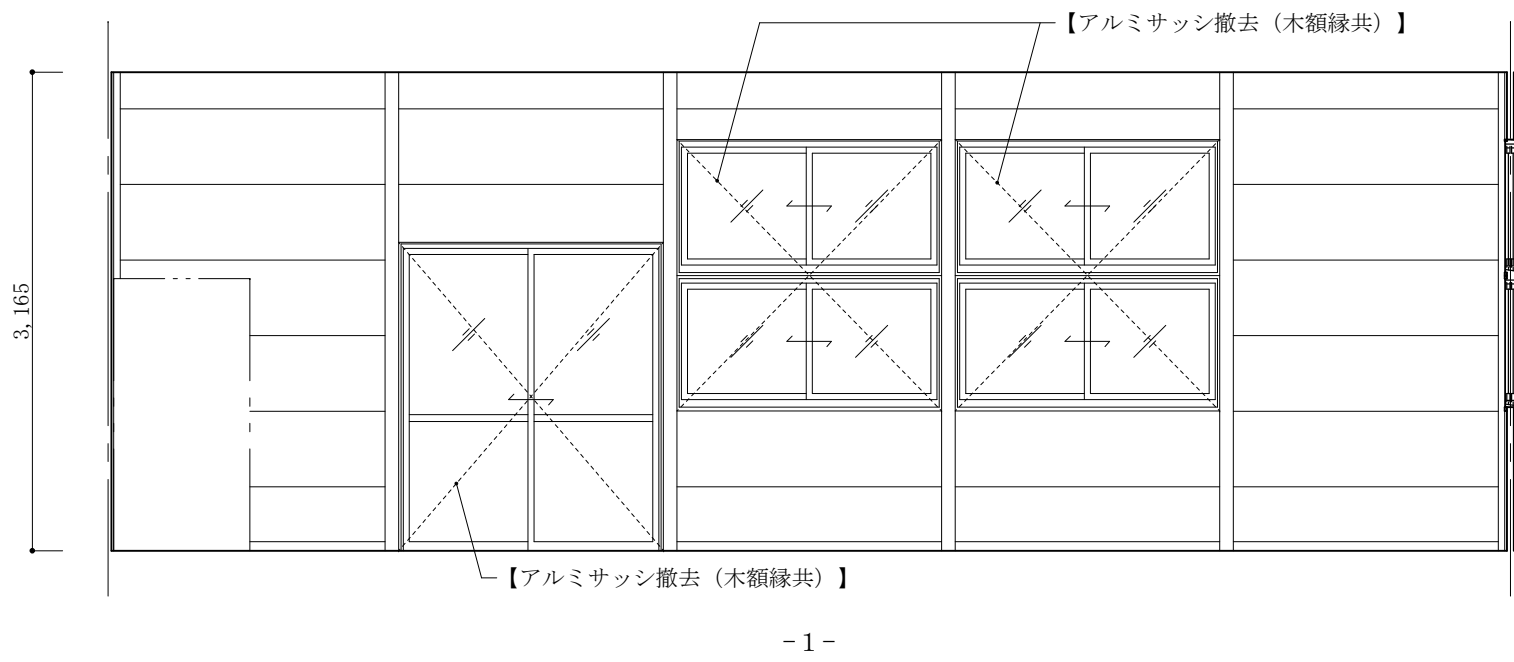
堀金児童館改修工事

縮尺：SCALE

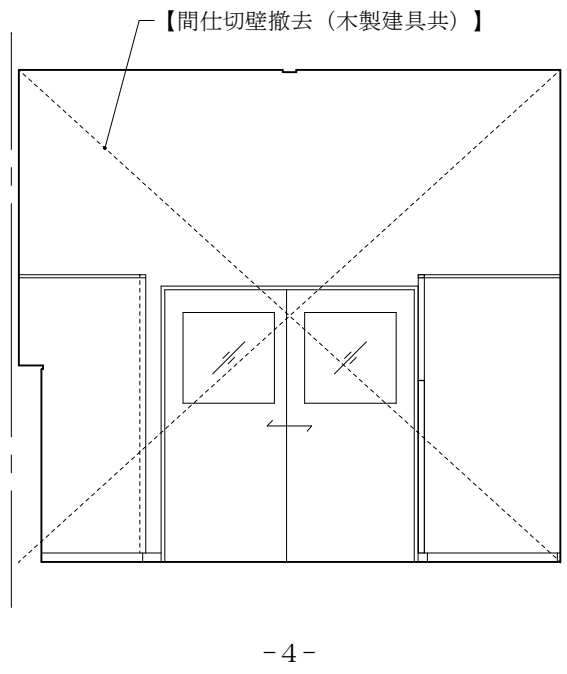
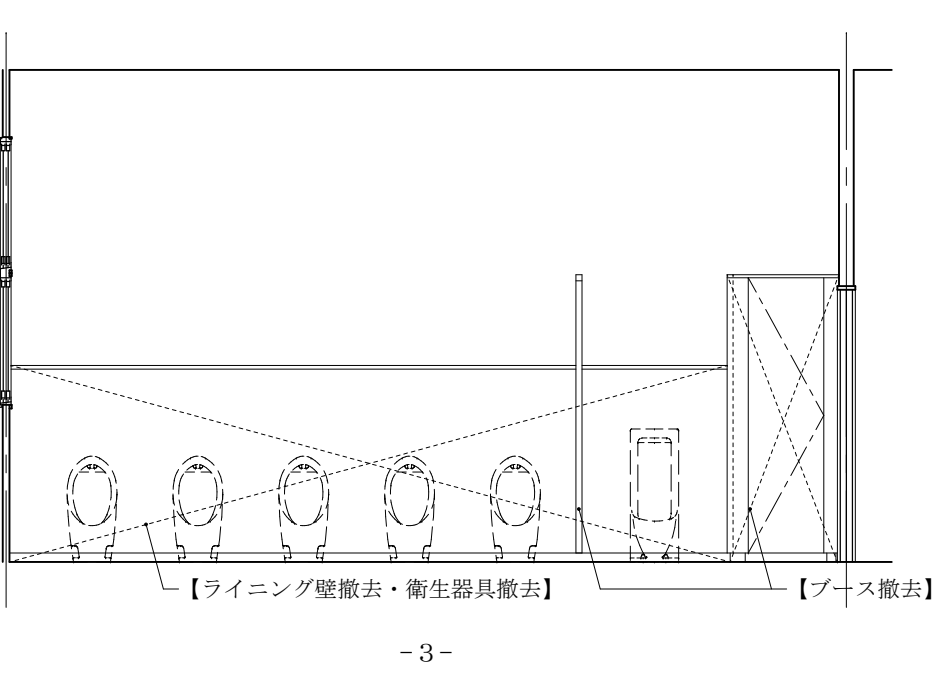
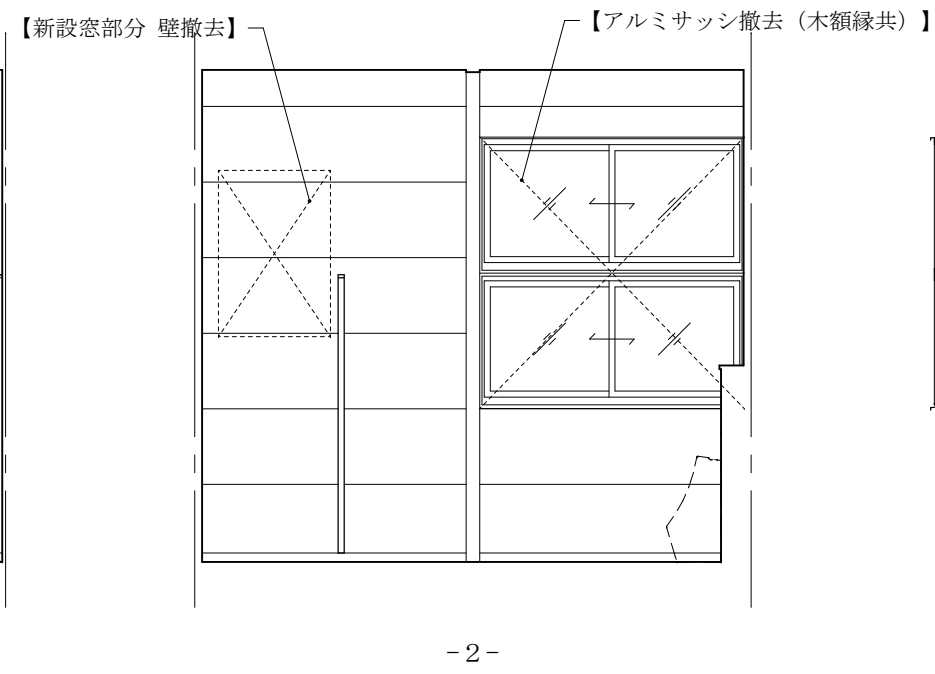
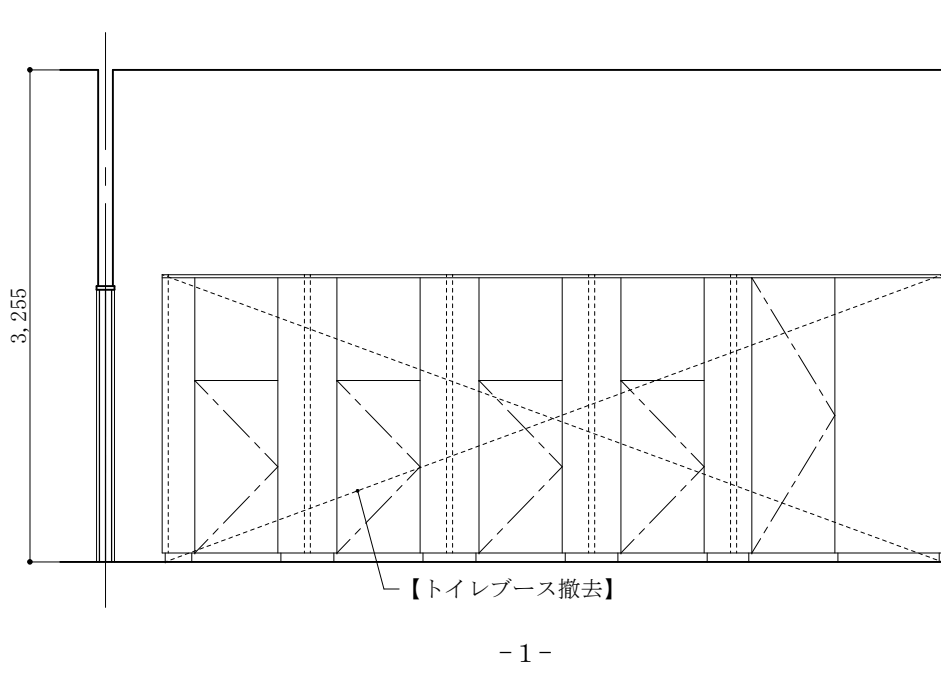
1：50（A-1） 1：100（A-3）



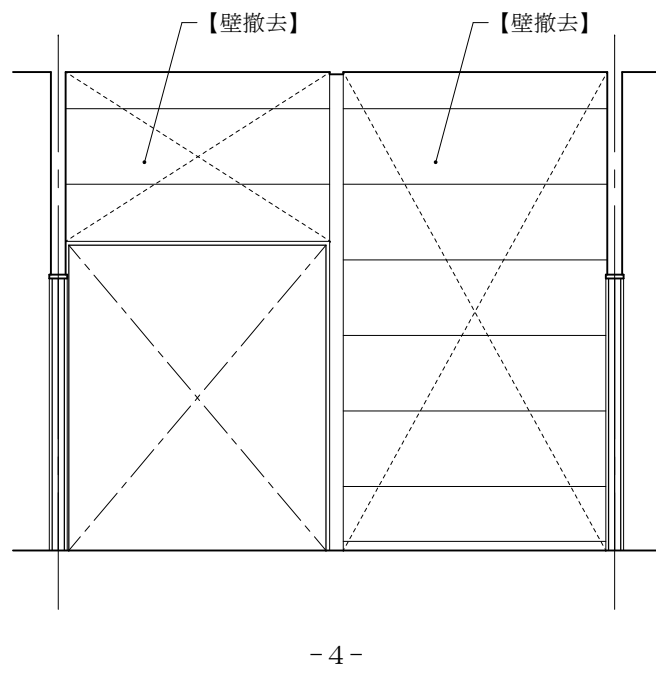
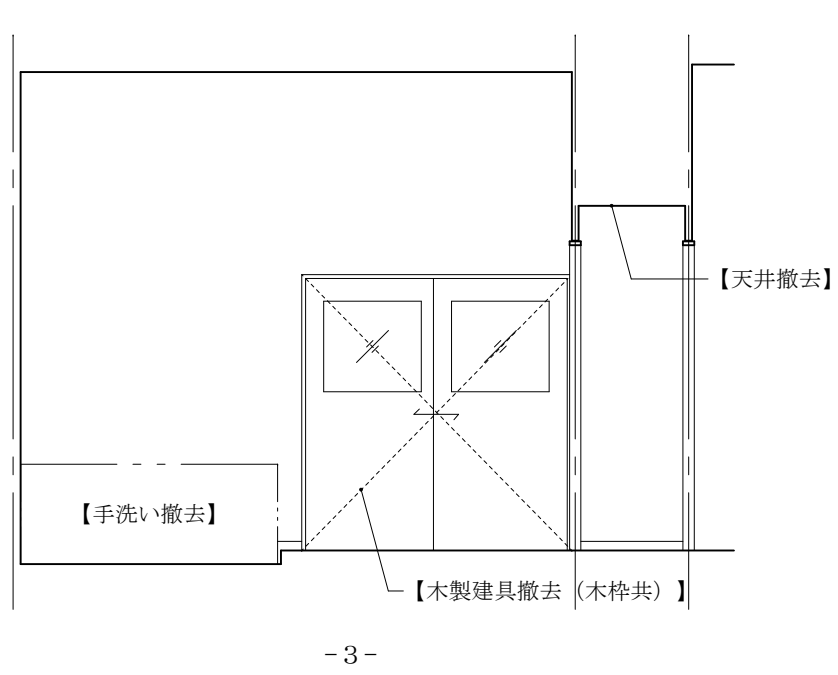
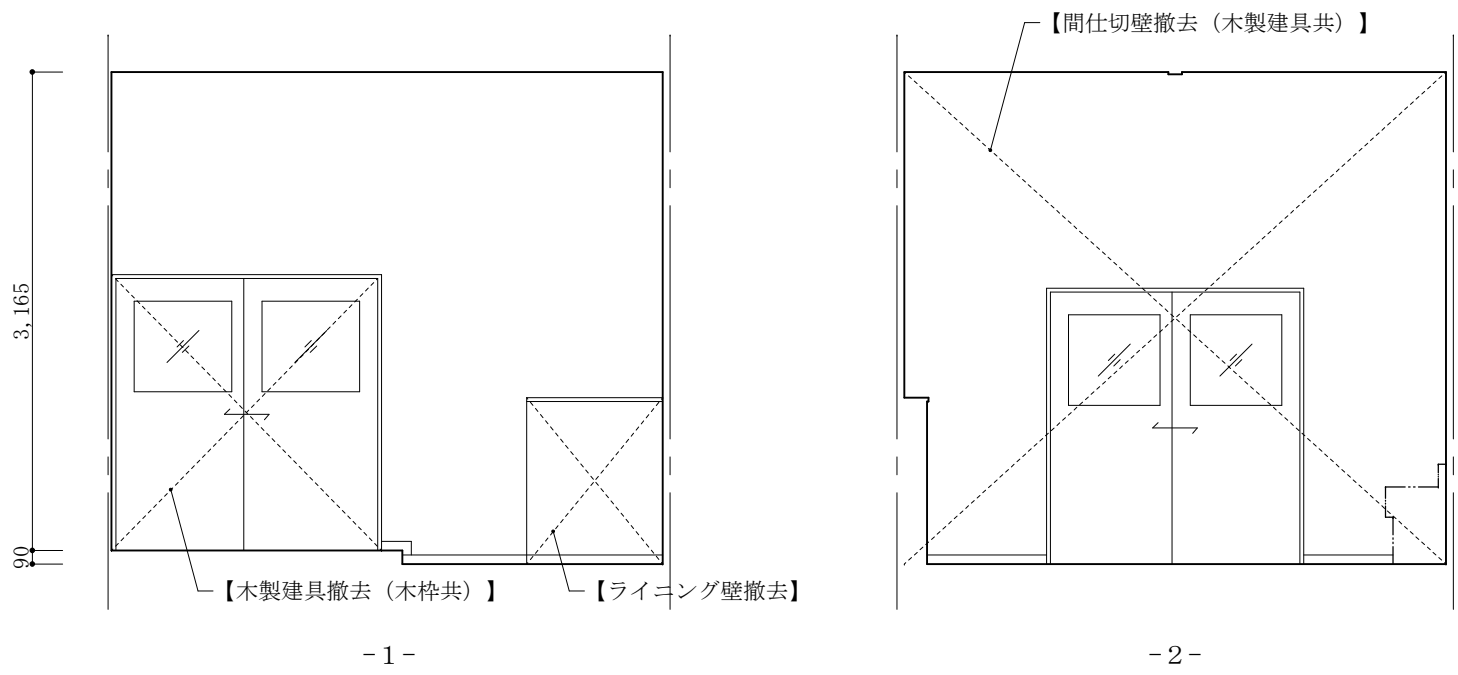
書庫



便所



通路・洗面室



安曇野市総務部財産管理課

訂正 月・日：DATA

設計

検図

承認印

工事名称：PR NAME

図面名称：DW NAME

図面番号：DW NO. 確認

製図

担当

承認年月日

令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業  
堀金児童館改修工事

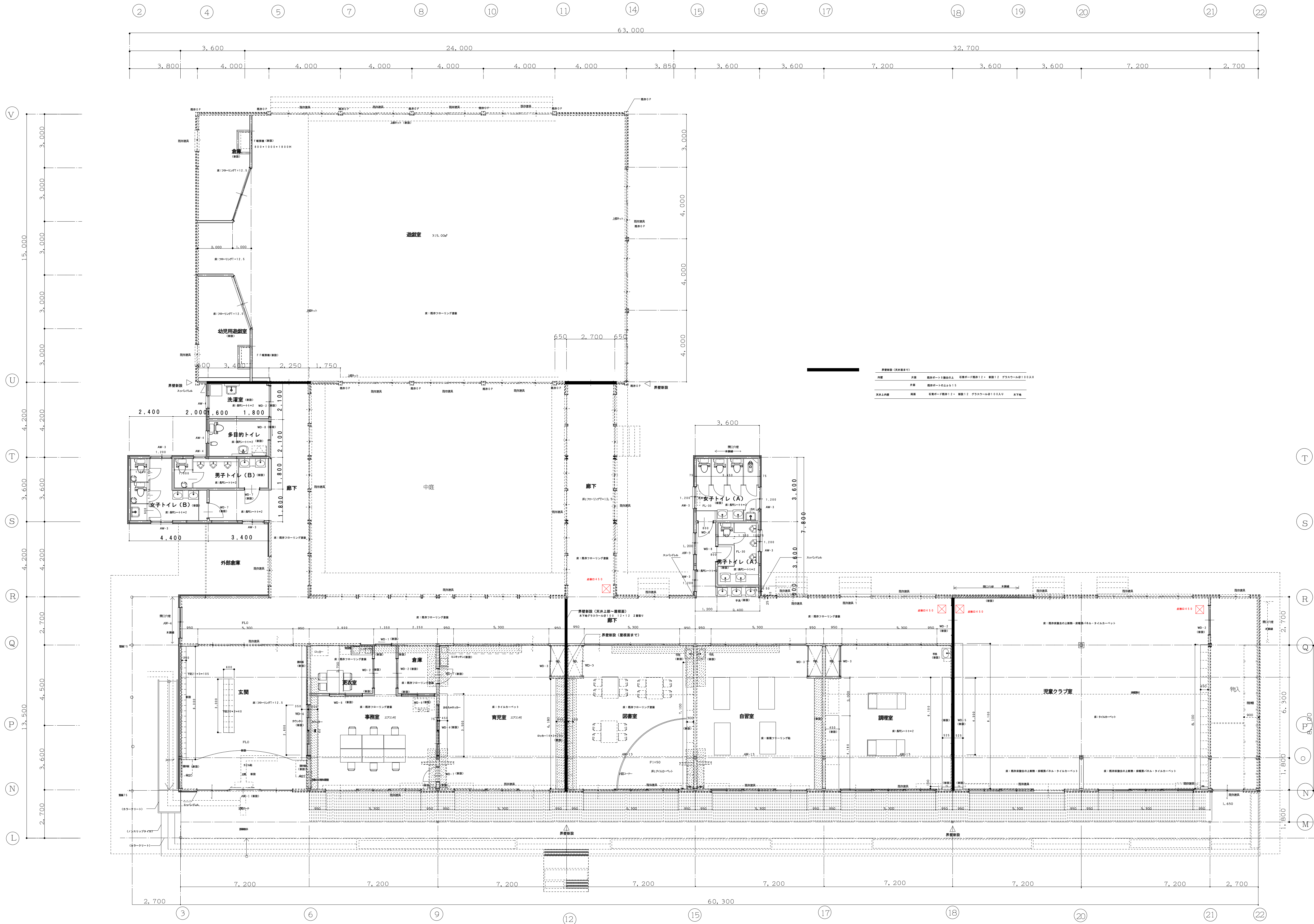
既存展開図2

縮尺：SCALE

1：50（A-1） 1：100（A-3）

A-25





安曇野市総務部財産管理課

訂正 月・日: DATA

設計

検図

承認印

工事名称: PR NAME

図面名称: DW NAME

既存児童館参考図

図面番号: DW NO. 確認

製図

担当

承認年月日

令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業  
堀金児童館改修工事

縮尺: SCALE

1:50 (A-1) 1:100 (A-3)

A-26







令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業 堀金児童館改修工事 電気設備 特記仕様書

## 工 事 概 要

## 1 工事場所

堀金児童館：安曇野市堀金烏川2358-1

## 2 建物概要

建 物 名 称	構 造	階 数	延 面 積 (㎡)	消防法施行令 別表第一の区分	備 考
電気児童館	S造	平屋	㎡	16項 □	
(プレハブ改修別棟)					
			計	㎡	

### 3 工事種目

工事種目	項目	建物別及び屋外		備考
		屋外・既存棟	改修棟	
電灯設備			○	
動力設備	幹線、分岐	○	○	
電熱設備				
雷保護設備				
受変電設備	新設	○		
静止形電源設備	直流電源装置			
発電設備				
橋内情報通信網設備	LAN用配管			
橋内交換設備	電話用設備			
情報表示設備	時計設備			
映像・音響設備				
拡声設備				
誘導支援設備	トイレ呼出し設備		○	
テレビ共用受信設備				
監視カメラ設備				
駐車導管制設備				
防犯・入退室管理設備				
自動火災報知設備				
自動閉鎖設備				
非常警報設備			○	
ガス漏れ警報設備				
中央監視制御設備				
橋内配電線路				
橋内通信線路				
昇降機設備				
床暖房設備				
ロードヒーター設備				

#### 4 図 面 目 録

[illegible]

## II 工事仕様

1 共通仕様

- (1) 図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、国土交通大臣官庁官庁營繕部の「公共建築工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）」（以下、「標準仕様書」という。）、「公共建築改修工事標準仕様書（電気設備工事編）（最新版）」（以下、「改修標準仕様書」という。）及び「公共建築設備工事標準図（電気設備工事編）（最新版）」（以下、「標準図」という。）による。
- (2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書とする。

## 2 特記仕様

特記仕様は別紙「特記仕様書（共通事項）」によるほか次の各項目による。

- (1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。  
(2) 特記事項は、○印の付いたものを適用する。

項目	特記事項	
① 機材等	本工事に使用する設備機材等は、設計図書に規定するもの又は、これらと同等なものとする。 ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承諾を受ける。	
② 機材の品質・性能証明	使用する機材が、社団法人・公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業設備機材等評価名簿」等によって所定の評価を受けている場合は、監督職員への機材の品質及び性能を有することの証明となる資料の提出を省略することができる。 本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の（１）から（５）を満たすものとする。 （１）合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板橋面板、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上げ塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 （２）保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びステレンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 （３）接着剤はフタル酸ジ－n－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 （４）塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 （５）上記（１）、（３）及び（４）の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒドを放散しないか、放散が極めて少ないものとする。 なお、ホルムアルデヒドを放散しないものとは放散量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの放散が極めて少ないものとは放散量が第三種のものを用い、原則として規制対象外のものを使用するものとする。 ただし、該当する材料等がない場合は、第三種のものを使用するものとする。 また、「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。	
③ 化学物質を発散する 建 築 材 料 等	ホルムアルデヒドの放散量	該 当 す る 建 築 材 料
	規 制 対 象 外	① J I S 及び J A S の F ☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品 ③ 下記表示のある J A S 規格品 a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用 b 接着剤等不使用 c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない材料使用 d ホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用 e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料使用 f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散させない塗料等使用
	第 三 種	① J I S 及び J A S の F ☆☆☆規格品 ② 建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品 ③ J I S の E O 規格品 ④ J A S の F O O 規格品
④ 電気保安技術者	電気事業法に定める自家電気工作物に係わる工事においては、電気保安技術者をおき、電気工作物の保安の業務を行うものとする。	
⑤ 電気工事士	契約電力500kV以上の電気工作物においても、第一種電気工事士により施工を行う。	
⑥ 実施工程表及び 施工計画書	（１）実施工程表、総合施工計画書は、工事着手に先立ち速やかに提出する。 （２）工種別の施工計画書は、当該工事に先立ち速やかに提出し、品質計画に係る部分は監督職員の承諾を受けること。	
⑦ 使用材料発注先調査	使用材料名、製造業者名、発注先等を記載した調査を作成し提出する。	
⑧ 発生材の処理	（１）引渡しを要するもの ○ 無 ・有（ ） （２）引渡しを要するもの以外 ○ 焼外物出し、関係法令により適切に処理をする。 （３）特別管理産業廃棄物 ○ 無 ・有（ ） （４）再利用又は再資源化を図るもの ○ 無 ・有（・コンクリート・木材・アスファルト・金属くず・ダンボール類） ○ 設計なし ・ 捨てる（規模： ） ・量品（ ）	
⑨ 監督員事務所	○ 設計なし ・ 捨てる（規模： ） ・量品（ ）	
⑩ 工事用仮設物	すべて請負者の負担とする。 構内で作ること ○ できる ・できない	
⑪ 足場・さん橋類	○ 別契約の関係請負者が設置したものは、無償で使用できる。 ・本工事で設置する。 ・内部仮設足場等（・架台足場・移動式足場・移動式室内足場・ ） ・外部仮設足場等（・A種・B種・C種・D種 ） ・防護シート（ ）	
⑫ 工事用電力 ・水・その他	本工事に必要な工事用電力、水等の費用及び官公署その他の関係機関への諸手続等に要する費用は請負者の負担とする。	
⑬ 工事写真	工事の着手に先立ち、撮影計画の作成を行い、監督職員へ提出すること。	
⑭ しゅん工時提出物	標準仕様書及び別表による。	
⑮ 再使用機器	取外し再使用機器は、原則として清掃及び絶縁抵抗測定を行った後取り付ける。 ただし、絶縁劣化等で使用に耐えない場合は、監督職員に報告する。	
⑯ 耐震施工	機器、配管、風道等は耐震を考慮し堅固にすべ付け、取付又は支持を行う。 耐震指書の計及及び施工方法は、次に掲げる事項以外、すべて「建築設備耐震設計・施工指針最新版」（国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修）による。 （１）設計用水平地震力 機器の重量〔kg f〕に、設計用標準水平地震度を乗じたものとする。 なお、特記なき場合、設計用標準水平地震度は次による。	

項目		特記事項					
設置場所		機器種別		耐 震 安 全 性 の 分 類			
				・特定の施設（・甲種・乙種）		○一般の施設（乙種）	
				重要機器	一般機器	重要機器	一般機器
上層階、 屋上及び塔屋	機 密	2. 0	1. 5	1. 5	1. 5	1. 0	1. 0
	防振支持の機器 水櫃類（※1）	（2. 0）	（2. 0）	（2. 0）	（2. 0）	（1. 5）	（1. 5）
中 間 階	機 密	1. 5	1. 0	1. 0	1. 0	0. 6	0. 6
	防振支持の機器 水櫃類（※1）	（1. 5）	（1. 5）	（1. 5）	（1. 5）	（1. 0）	（1. 0）
地下階、一階	機 密	1. 0	0. 6	0. 6	0. 6	0. 4	0. 4
	防振支持の機器 水櫃類（※1）	（1. 0）	（1. 0）	（1. 0）	（1. 0）	（0. 6）	（0. 6）

（注）1.（ ）内の数値は防振支持の機器の場合に適用する。  
2.〈 〉内の数値は水櫃類に適用する。  
3.（※1）水櫃類はオイルタンク等を含む。

◎重要機器の定義は次のとおり。

○保安変電設備 ・発電設備 ・直流電源設備 ・交流無停電電源装置  
○交換機 ・自動火災報知受信機 ・中央監視装置 ・

◎上層階の定義は次のとおり。

2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、  
（2）設計用鉛直地震力  
設計用水平地震力は1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。  
（1）重要機器類は公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）  
8章の2節8、2.4及び11節による。

（2）上記以外の機器類は建築工事改修仕様書6章による。  
（引抜き試験は ◎ 実施する ・ 実施しない）

電線等が、防火区画又は防火上主要な間仕切りを貫通する場合の施工状況について、  
貫通箇所の間面から写真撮影し、工事写真として提出する。  
（1）EM-EFF は、室外線による劣化を抑制する性能を持たせ、  
「タイシガ イセン EM-EFF」と表記されたものを使用する。  
（2）EM-UTP は JIS X 5150「構内情報配線システム」に準じ、  
絶縁材料及びガラスにJIS規格によるEMケーブルの耐酸性ポリエチレンを用いたもの。  
埋込分電盤からの上立り予備配管は、予備の配管用遮断器4個以下の場合には  
（25）を1本5個以上の場合には（25）を2本、天井まで立上げる。  
長さ1m以上の入線しない電線管には、1.2mm以上のビニル被覆鉄線管を挿入する。  
（2）金属製電線管の塗装  
下記の出露配管は塗装を行う。  
○屋外 ・屋 内（ ）  
○埋 設 ○A種 ○B種 ・C種 ○D種  
○ 管の下部は50mm以上砂を敷きならし、管の上部100mm以上砂を用いて締め固める

（2） 埋設配管  
○ 埋設配管 ・ 構内の指定箇所に敷き均し  
（1） 埋設配管  
（1） 埋設配管は、ケーブル埋設票をもつける。 ・ 鉄製 ○コンクリート製  
（2） 低圧地中配線であっても地中線埋設機識シートを敷設する。  
（3） 配管埋設機識が750mmを超える場合は、地中線埋設機識シートは2条以上敷設する。  
（1） 露出するプルボックスの本体及びふたの仕上げは、メラミン積層板とする。  
（2） 露出するプルボックスのふたの止めねじはねじ止とする。

図面に特記あるもの及び特殊なものを除き  
○金属製 ・ 樹脂製  
プルボックス、ジョイントボックス及び機器を実装しないプレートには、用途を明示  
した銘標をつける。  
（1） プラステックは適用形とする。  
壁付けコンセント（2P15A）は原則として適用形とする。ただし、2口の場合は横式を  
使用して良い。また（2P15A）以外はすべてキャップ付とする。  
・ 直付（ビス止め）型下直付（銅合金製 ・ アルミ製）  
・ 直付（ビス止め）型垂直下直付（銅合金製）とする

本工事の動力制御盤より別途電動機等への配線の接続は本工事とする。  
（1） 非常用照明的照度測定は設置後速やかにを行い、監督職員に報告する。  
（2） 学校施設における室内照度測定（測定教室： 箇所、測定床面積： 箇所）  
※教室の照度は、1教室当たり机上面9カ所、黒板床面積9カ所所で測定する  
（1） 分電盤等の図面ホリダーに、単線結線図・総線抵抗測定表・接地抵抗測定表を  
収納する。  
（2） 端子盤には、線番表・結線表を備え付ける。  
長野県グリーン購入推進方針に基づく調達項目  
○資材 ○照明制御システム ○遮蔽網 ・（ ）  
「建設機器」・排出ガス対策型建設機器 ・低騒音型建設機器  
工事区分表（平成 年版）による。ただしこれより軽い場合は監督職員と協議する。

36 その他及び電子納品  
工保等の各種指書及び電子納品については、別添「特記仕様書（共通事項）」による。  
（長野県公共ホームページ（電子入札システム）に掲載される、当該入札公の添付図書）

### 3 ハンドホール

下表による。(梯子は各ハンドホールに設置する。蓋取外し用ジャッキを1組納入する。)  
 ブロックハンドホール (寸法は内法を示す。底部とはハンドホール内側底部をいう。)  
 ・コンクリート相互間などは、エポキシ系樹脂接着剤により接着する。  
 ・ブロックの仕様は国土交通省仕様に準ずるものとする。

○	ハンドボール No. -	1,500×1,500×1,500 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底面 GL-1,740以上 (アルミ梯子付)
	ハンドボール No. -	1,200×1,200×1,500 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底面 GL-1,700以上 (アルミ梯子付)
	ハンドボール No. -	1,000×1,000×1,400 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底面 GL-1,600以上 (アルミ梯子付)
	ハンドボール No. -	1,000×1,000×1,100 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底面 GL-1,300以上 (アルミ梯子付)
	ハンドボール No. -	1,000×1,000×900 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底面 GL-1,060以上 (アルミ梯子付)
	ハンドボール No. -	900×900×1,100 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底面 GL-1,260以上 (アルミ梯子付)
	ハンドボール No. -	900×900×900 蓋 WPM-60A (エマーク入)	底面 GL-1,060以上 (既製足場付)
	ハンドボール No. -	600×600×680 蓋 WPM-60A (エマーク入)	(既製足場付)
	ハンドボール No. -	450×450×680 蓋 WPM-45B (エマーク入)	※植栽帯等車両の通行の恐れがない場所、 収容ケルが少ない場所に限る

4 接 地 極

下表による。ただし、これによりがたい場合は監督員との協議による。

○	A 種接地	銅板 1.5×900×900 リード端子付 堀形埋戻し中心深さ 2m 埋設地 (黄銅製又はステンレス製)	補助接地棒 (連結式 10φ×1,500)
○	B 種接地	銅板 1.5×600×600 リード端子付 堀形埋戻し中心深さ 2m 埋設地 (黄銅製又はステンレス製)	補助接地棒 (連結式 10φ×1,500)
○	C 種接地	銅板 1.5×300×300 リード端子付 堀形埋戻し中心深さ 1.5m 埋設地 (黄銅製又はステンレス製)	補助接地棒 (連結式 10φ×1,500)
○	D 種接地	接地棒 (10φ×1,500) リード端子付 打ち込み式 埋設地 (黄銅製又はステンレス製)	

## 5 機器取付高

図面に特記なきものは下表を標準とする。但し下表によりがたい場合には監督員との協議による。

	名 称	測 点	取付高 (mm)		名 称	測 点	取付高 (mm)
共 通	取引開閉器 引込開閉器 警報盤	地上～上端 1. 800 床下～中心 1. 500	2. 000 1. 800 1. 500	壁 計 表 計 示	壁掛形時計 子時計 壁掛形スピーカ アッテネーター	床下～中心 〃 〃 〃	1. 500 (上端) 1. 900以下 (天井高) × 0. 9 (天井高) × 0. 9 1. 300
	分電盤	床下～中心 (上端) 1. 900以下	1. 500		表示器 警灯発信器 ベル ブザー 押ボタン	床下～中心 〃 〃 〃 〃	(天井高) × 0. 9 1. 300 (天井高) × 0. 9 (天井高) × 0. 9 1. 300
	電	タンブラスイッチ (身障者用) コンセント (一般) 〃 (和室) 〃 (便所等) 〃 (台上) ブレークツ (一般) 〃 (隔施) 〃 (縦上)	〃 〃 〃 〃 台上～中心 床下～中心 2. 100 2. 500 1. 500		1. 100 1. 100 300 150 500 150 2. 100 2. 500 1. 500	身障者用表示灯 復帰ボタン	〃 〃
灯	避難口誘導灯 廊下通路誘導灯	床下～中心 床下～下端 床下～上端	1. 500以上 1. 000以下	イ ン タ ー ホ ン	壁付インターホン (身障者用) 壁付位置ボックス (壁付インターホンを除く)	床下～中心 〃 〃 〃	1. 500 1. 100 300 150
	動 力	壁掛形制御盤 手元開閉器 操作スイッチ 押ボタン	床下～中心 (上端) 1. 900以下 1. 500 1. 300		レ ビ ー 機 構 受 信 機	機器受信箱 アクトレット 〃 (一般) 〃 (和室)	床下～中心 〃 〃 〃
電	室内端子盤 (廊下・室内) 中間端子盤 (EPS・電気室)	床下～下端 床下～中心	300 1. 500	火 災 報 知	受信機 警灯受信機 機器受信箱 発信器 ベル 消火栓表示灯	床下～操作部 床下～中心 〃 〃 〃 〃	800～1. 500 800～1. 500 800～1. 500 800～1. 500 (天井高) × 0. 9 (天井高) × 0. 9
	話	緊急伝言箱 置付アクトレット ボックス (一般) 〃 (和室)	〃 〃 〃 〃		(天井高) × 0. 9 300 150 100		

＜施工制約条件＞

1. 電力会社への申請手続きを、工事契約後、迅速に行うこと。
2. 停電工事が発生するため、日時を監督員及び園と協議すること。

＜注意事項＞

1. コア抜きを要する箇所は鉄筋検査を行い、鉄筋を切断しないよう考慮する。
2. 本工事において既存改修部及び解体部の既存調査を充分行い既存配線部に接続する事。
3. 既存再使用品は設置前に機能確認を行い不具合品においては現場監理者の確認のもと新規設置の判断を仰ぐ。
4. 改修工事範囲以外の既存機能配線系統にて設置部に充分調査を行い作業工程にて電源供給による工事が発生する際は館内業務に支障を起こさない様慎重監理者の確認のもと作業判断を仰ぎ業務を遂行する。
5. 4項目において作業内容に仮設電源工事が発生する場合は発注者と協議のうえを行う。

＜工事区分＞

設計図書内特記なき工事区分は下記による。

1. キュービクル基礎、キュービクル用フェンス、改修に伴う撤去品産業廃棄物処理は建築工事とする。
2. 全熱交換機用コントロールスイッチは機械設備支給品、取付配線接続は本工事とし試験調整は機械設備工事とする。

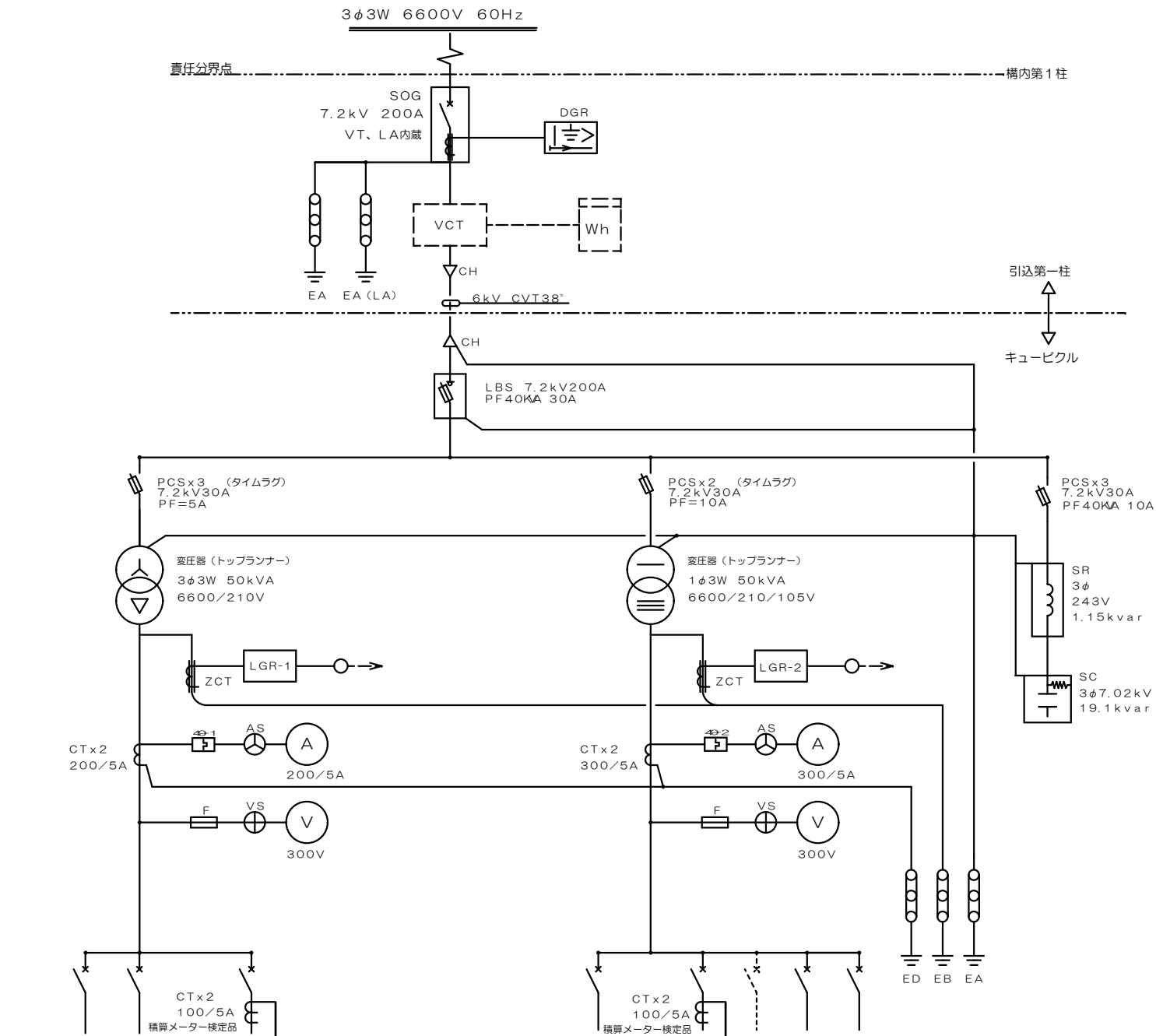
---

---









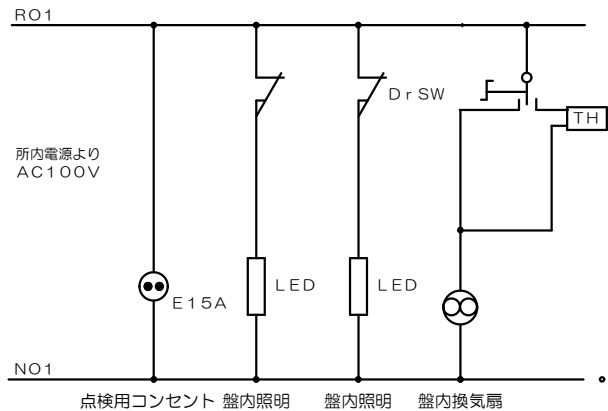
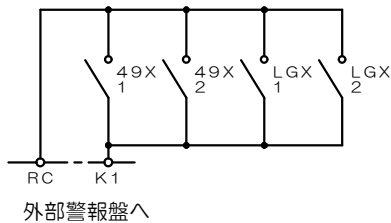
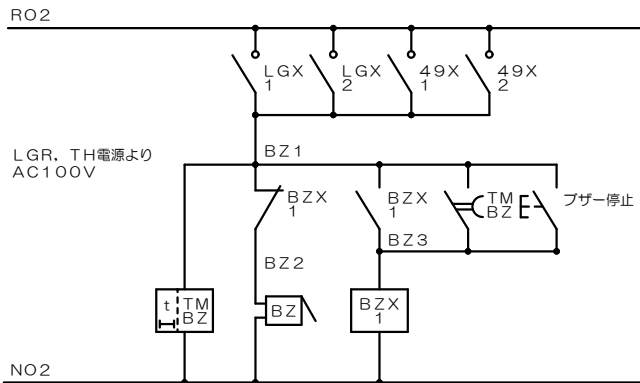
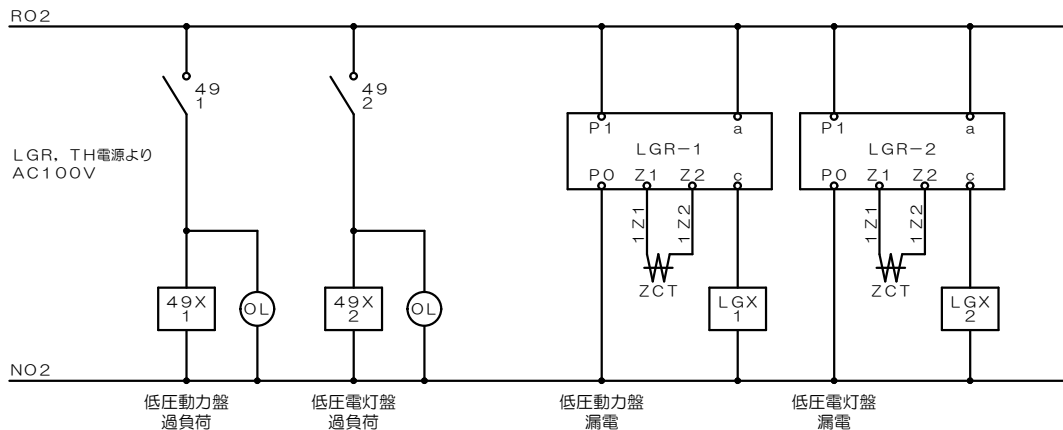
NO	負荷名称	MCCB容量	容量 kW	電線 サイズ
301	L P-1 (動力) (旧名LP-3) 既存児童館	3PMCCB 100/100	21.06 kW	38
302	(AC③) 既存児童館AC	3PMCCB 100AF60A	11.59 kW	22

※1	※2
外部 VAM VAMメーター盤へ	

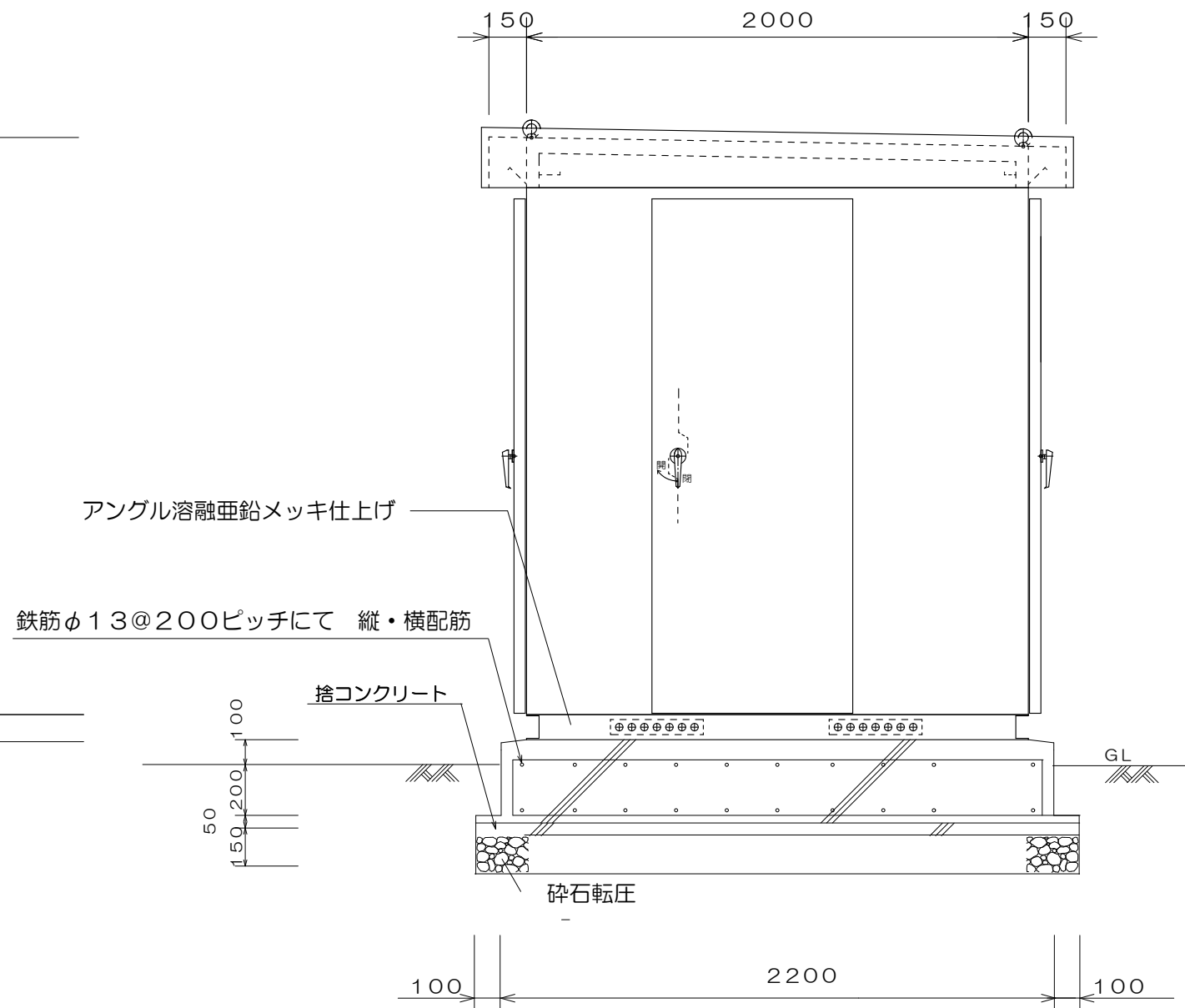
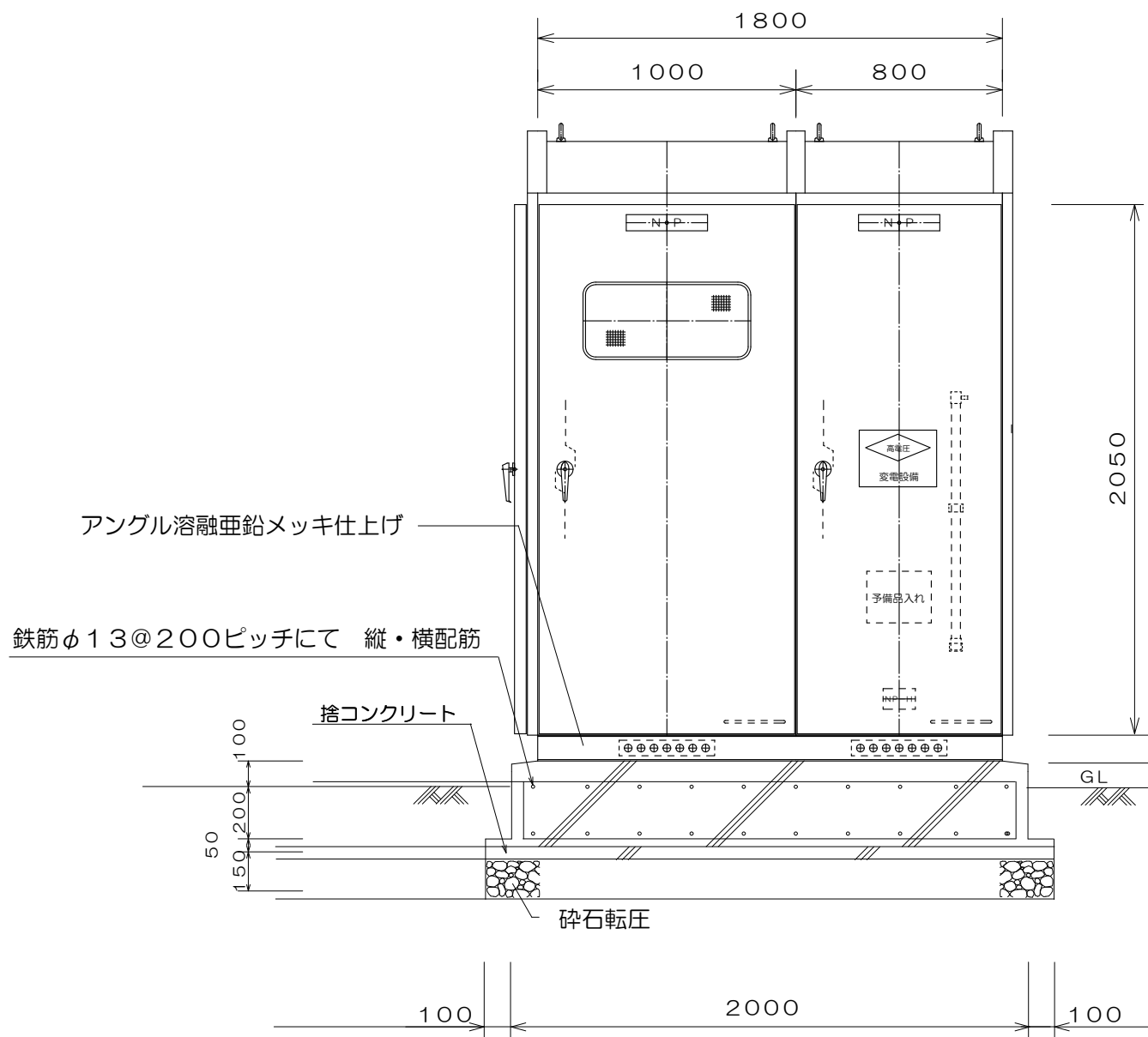
NO	負荷名称	MCCB容量	容量 kW	電線 サイズ
101	L-1 L-2 L P-1 (電灯) (旧名LP-3) 既存児童館	3PMCCB 225/200	想定 40.00 kVA	100
102	L P-2 (電灯) (旧名LP-1) 改修棟 予備	3PMCCB 100/100	想定 20.45 kVA	38
	照明・コンセント用電源	2PMCCB 50/20	kVA	
	ELR用電源	2PMCCB 50/20	kVA	

※1 : EM-CEE2<sup>□</sup>-2C×2+3C

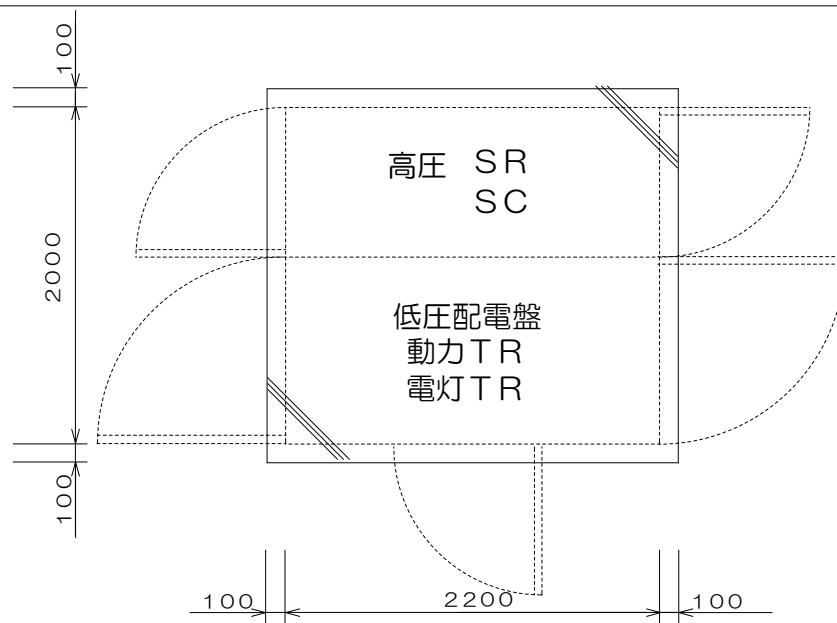
※2 : EM-CEE2<sup>□</sup>-2C×2+3C





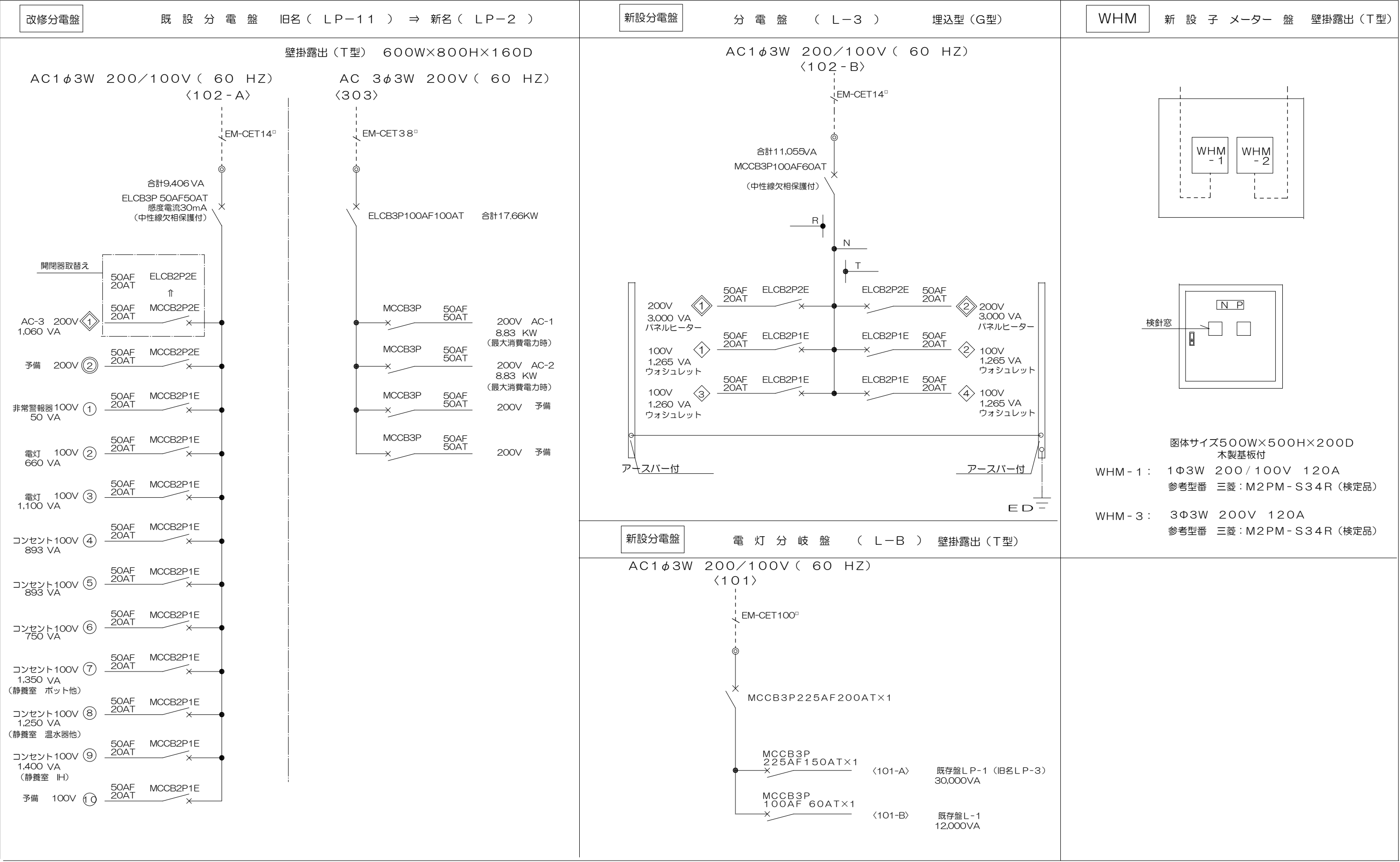


屋外キュービクル姿図  
(キュービクル基礎建築工事)



屋外キュービクル平面図





新設分電盤

電 灯 分 岐 盤 ( L - B )

壁掛露出 ( T 型 )

AC1φ3W 200/100V ( 60 HZ )  
<101>

EM-CET100

MCCB3P225AF200AT×1

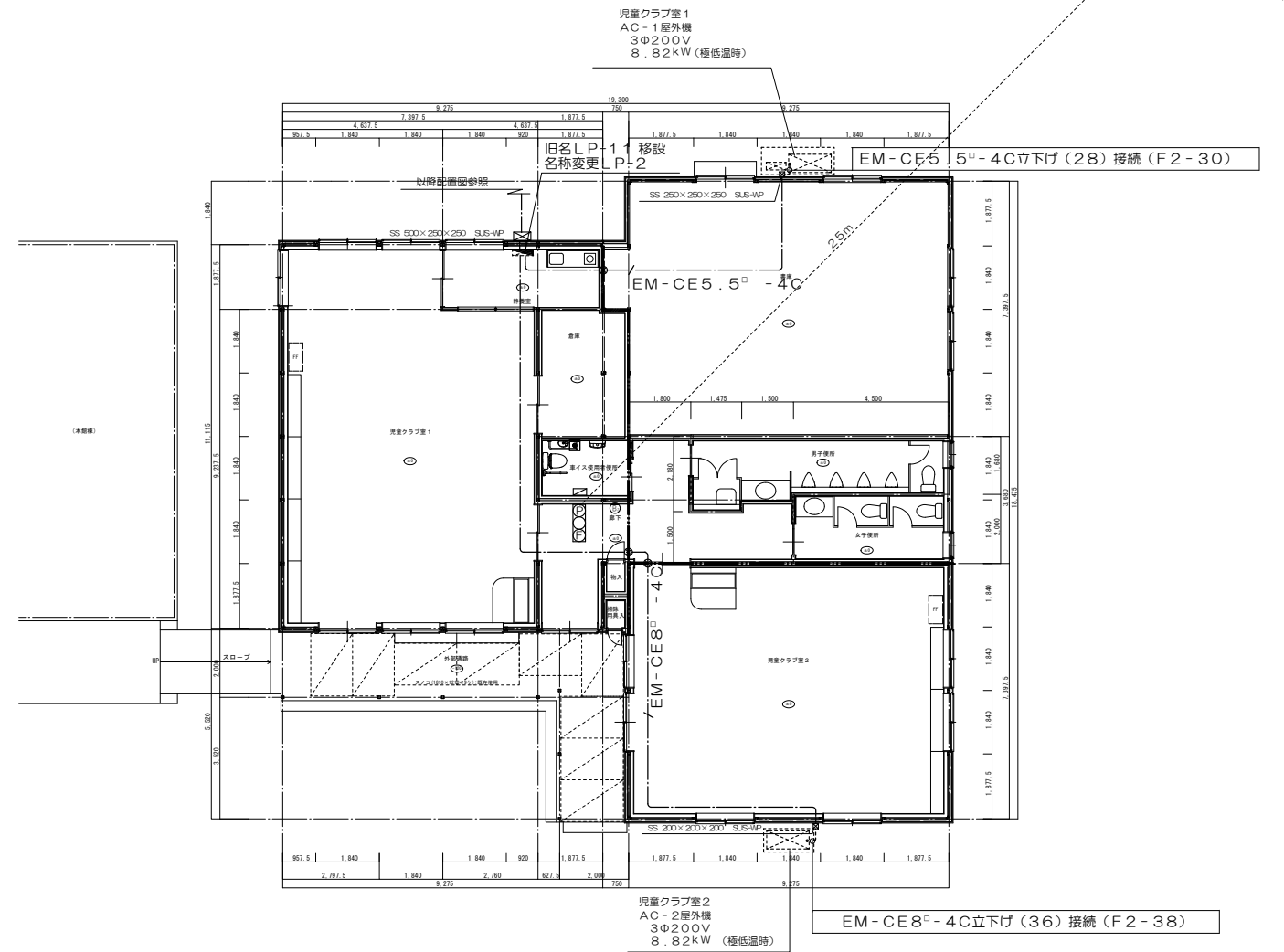
MCCB3P 225AF150AT×1 <101-A>














MCCB3P 100AF 60AT×1 <101-B>

既存盤 L P - 1 (旧名 L P - 3)  
30,000VA

既存盤 L - 1  
12,000VA








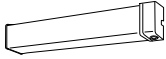







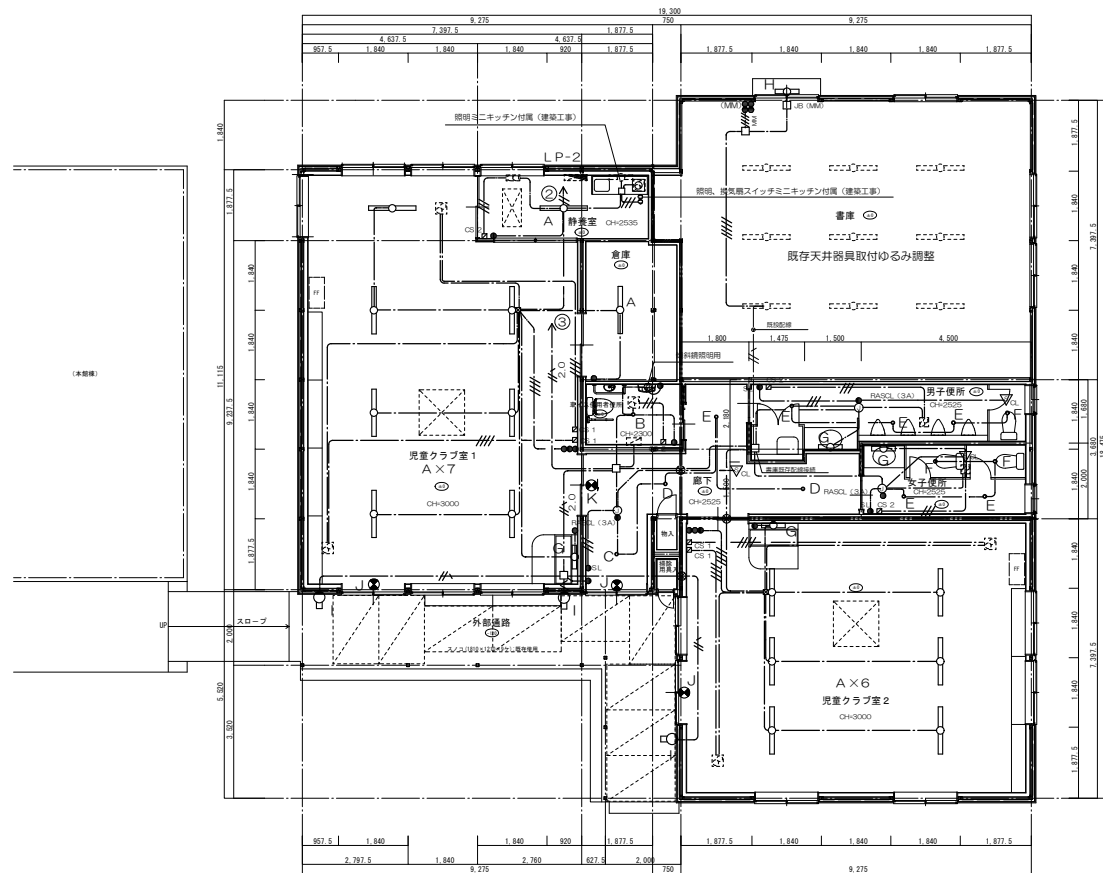
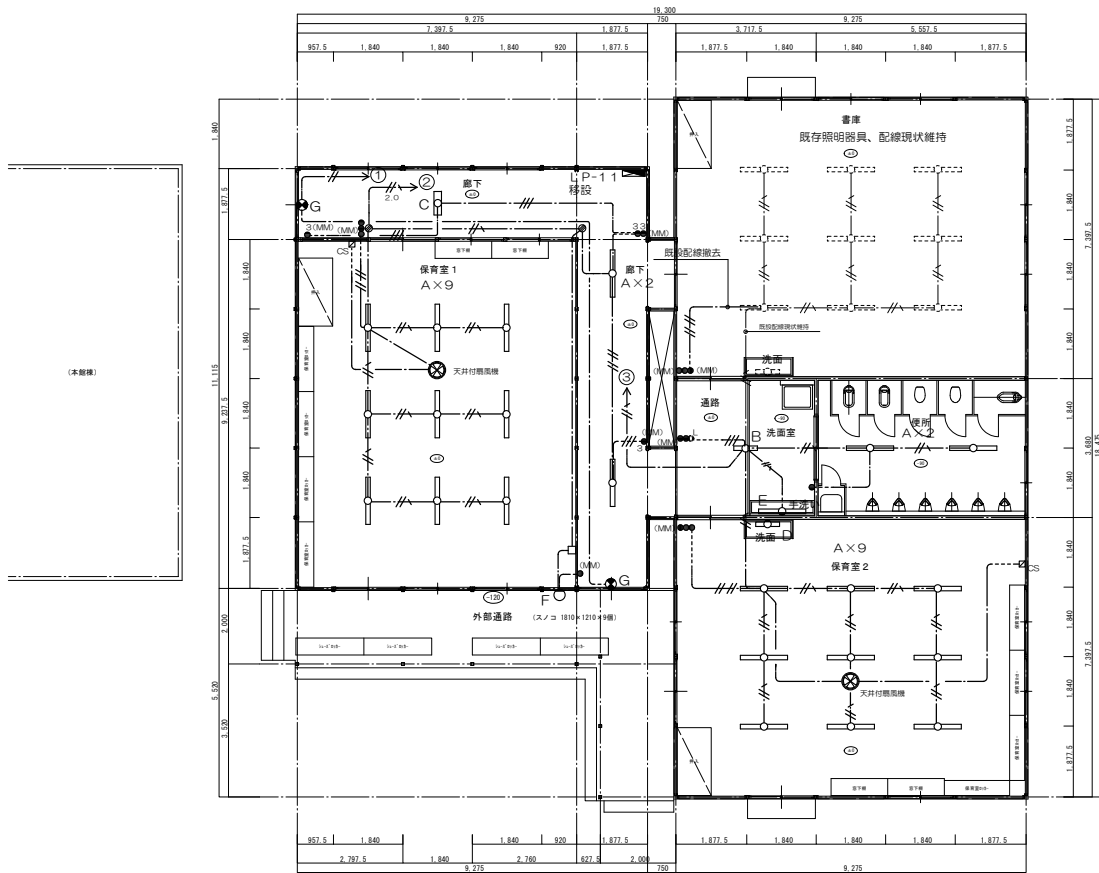
記 号	名 称 ・ 仕 様
幹線設備	
	L P-11：露出壁掛型上部ダクト共移設 盤図参照
	エアコン盤：壁掛露出型 E L B 3 P 5 0 / 5 0
放送時計設備	
	天井埋込スピーカ A T T 付 1 W
	壁掛 スピーカ 3 W
	アッテネータ 3 W
	取付ボックス：M M 1 - A 用スイッチボックス
	壁掛 丸型子時計 3 1 0 Φ
電話設備	
	壁掛 コードレスタイプ電話子機
テレビ共聴設備	
	テレビ端子 直列ユニット 7 5 Ω
※：屋根上 テレビアンテナ撤去	
U H S アンテナ 2 0 E L	
V H S アンテナ 1 2 E L	
アンテナマスト マスト支持台（屋根馬）同上支線 4 ヶ所	
自火報設備	
	総合盤 露出型 P 型 1 級 発信機 電鈴 標示灯
	光電式スポット型感知器 2 種
	差動式スポット型感知器 2 種
	定温式スポット型感知器 1 種防防水

改修後	1 階 平 面 図	A1:S=1/100 A3:S=1/200
-----	-----------	--------------------------



A	直付 LED43.1W*1	B	ダウンライト ひとセンサ付 LED7.4W*1	C	ダウンライト LED18.6W*1
学童クラブ1 倉庫 学童クラブ2 静養室		ひとセンサ付LEDダウンライト 100形 車イス使用者便所		入口廊下	
 <p>一般タイプ、6900lmタイプ 消費電力43.1W、定格出力型、電圧100～242V 本体：銅板（白色粉体塗装） ライトバー（カバー）：ポリカーボネート（乳白） 光源寿命40000時間（光束維持率85%） 昼白色（5000K）、Ra83 電源装置はライトバー側に内蔵 W150×H50×L1250 屋白色（5000K） 6900lm</p>		 <p>LED内蔵くワンコア（ひと粒）タイプ&gt;、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ ひと（熱線）センサ付、5000K、Ra85、拡散タイプ 光源寿命：40000時間（光束維持率85%） 器具光束：1015lm、消費電力：7.4W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 枠・反射板（下部）：アルミダイカスト（ホワイトつや消し仕上） 埋込穴φ150 屋白色（5000K） 1015lm</p>		 <p>LED内蔵くワンコア（ひと粒）タイプ&gt;、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角15度、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 器具光束：2515lm、消費電力：18.6W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：銅板（ホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ175 屋白色（5000K） 2515lm</p>	
参考型番	パナソニック 直付XLX460AENPLE9	参考型番	パナソニック XND1064WNLE9	参考型番	パナソニック XND2579WNLE9
D	ダウンライト LED11.6W*1	E	ダウンライト LED7W*1	F	ダウンライト LED7W*1
便所 廊下		便所		便所	
 <p>LED内蔵くワンコア（ひと粒）タイプ&gt;、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角15度、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 器具光束：1695lm、消費電力：11.6W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：銅板（ホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ150 屋白色（5000K） 1695lm</p>		 <p>LED内蔵くワンコア（ひと粒）タイプ&gt;、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角15度、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 器具光束：1045lm、消費電力：7W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：銅板（ホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ150 屋白色（5000K） 1045lm</p>		 <p>LED内蔵くワンコア（ひと粒）タイプ&gt;、電源ユニット内蔵、一般光色タイプ 5000K、Ra85、拡散タイプ 光源遮光角30度、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 器具光束：990lm、消費電力：7W、電圧：100～242V 反射板（上部）：プラスチック（ホワイト） 反射板（下部）：アルミ（ホワイトつや消し仕上） 枠：銅板（ホワイトつや消し仕上）、埋込穴φ100 屋白色（5000K） 990lm</p>	
参考型番	パナソニック ダウンライトXND1569WNLE9	参考型番	パナソニック XND1069WNLE9	参考型番	パナソニック XND1037WNLE9
G	ブラケット （ミラーライト） LED11.7W*1	H	ブラケット LED14.9W*1（WP）	I	ブラケット LED14.9W*1（WP）
LED高演色ミラーライト W620 学童クラブ1 学童クラブ2 便所		LEDウォールライト 20形 防雨型、ひと（熱線）センサ・EEセンサ付（ON/OFF型） 書庫外部入口		LEDウォールライト 20形 防雨型、ひと（熱線）センサ・EEセンサ付（約30～100%段調光） 南面 外部通路	
 <p>標準タイプ、5000K、高演色Ra93、高演色タイプ クラス2 器具光束1350lm、消費電力11.7W、電圧100V カバー：プラスチック（乳白） サイドカバー：プラスチック（ホワイトつや消し） 壁面（横向け）取付専用 幅620・高さ87・出し3110 屋白色（5000K） 1350lm</p>		 <p>LED内蔵、電源ユニット内蔵 5000K、Ra83、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 器具光束1470lm、消費電力14.9W、電圧100～242V 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 壁面付型、保護等級：IP23 屋白色（5000K） 1470lm</p>		 <p>LED内蔵、電源ユニット内蔵 5000K、Ra83、光源寿命40000時間（光束維持率85%） 器具光束1470lm、消費電力14.9W、電圧100～242V 本体：ステンレス、カバー：ポリカーボネート（乳白） 壁面付型、保護等級：IP23 屋白色（5000K） 1470lm</p>	
参考型番	パナソニック NNN13510LE1	参考型番	パナソニック NNFS21811CLE9	参考型番	パナソニック NNFS21852CLE9
J	誘導標識パネル（片面） 避難口誘導標識	K	誘導標識パネル（片面） 通路誘導標識	L	
					





配線 撤去凡例	
特記なき配線は下記による	
-----	天井内転がし配線
-----	床下配線配管
-----	壁内配線配管
-----	露出配線配管
-----	保護管
-----	VVF2.0-2C (MM1-A)
-----	VVF2.0-3C (内1Cアース) (MM1-A)
-----	VVF1.6-2C (MM1-A)
-----	VVF1.6-3C (内1Cアース) (MM1-A)
-----	VVF1.6-2C×2 (MM1-B)

照明器具 撤去凡例				
照明器具NO	仕 様	重 量 (Kg)	備 考	
照明器具A	直付け (V型) FLR-40W×1	2.9		
照明器具B	直付け (V型) FL-20W×1	1.2		
照明器具C	直付け (V型) FL-20W×2	2.0		
照明器具D	直付け (流し元灯) FL-20W×1	1.3		
照明器具E	壁付け (クォーライト) FLR-40W×1	5.6		
照明器具F	壁付け (クォーライト) FLR-40W×1	2.4		
照明器具G	避難口誘導灯 壁付 冷陰極3W×1	0.4	高輝度型10型	

配線器具 撤去凡例	
記 号	名 称 ・ 仕 様
● (MM)	埋込スイッチ 1P15A300V 金属プレート付 取付ボックス: MM1-A用スイッチボックス
●●● (MM)	埋込スイッチ 1P15A300V×3 金属プレート付 取付ボックス: MM1-A用スイッチボックス
● (3MM)	埋込スイッチ 3W15A300V 金属プレート付 取付ボックス: MM1-A用スイッチボックス
●●● L	埋込スイッチ 1P15A300V×2 金属プレート付 埋込スイッチ 1P15A300VON表示ランプ付×1
CS	天井付扇風機コントロールスイッチ

配線 凡例	
特記なき配線は下記による	
-----	天井内転がし配線
-----	壁内配線配管
-----	露出配線配管
-----	保護管
-----	EM-EEF1.6-2C (PF16)
-----	EM-EEF2.0-3C (内1Cアース) (PF22)
-----	EM-EEF2.0-2C (PF16)
-----	EM-EEF1.6-2C (PF16)
-----	EM-EEF1.6-3C (PF22)
-----	EM-EEF1.6-3C (内1Cアース) (PF22)
-----	EM-EEF1.6-2C×2 (PF22)
-----	EM-EEF1.6-2C+3C (PF22)
-----	EM-EEF1.6-2C×2 (MM1-B)
註、壁内の立上げ引下げ、貫通配線は、適合する配管により保護する事。	
防火区画貫通処理 ・防火区画を貫通する壁部分は、国土交通大臣認定品 認定番号PS030NL-0466のケーブル貫通部防火措置キットを使用すること。	
⊗ : 防火区画貫通する箇所を示す。	
--- : 114条区画 (界壁) ラインを示す。(天井裏まで達すること)	

配線器具 凡例		
記 号	名 称 ・ 仕 様	
●	埋込スイッチ 1P15A300V	金属プレート付
●●●	埋込スイッチ 1P15A300V×3	金属プレート付
● BASCL3A	熱線センサ付自動スイッチ 親器 WTK2401K	(参考型番)
▽ CL	熱線センサ付自動スイッチ 子器 WTK2921K	(参考型番)
● SL1	同上操作スイッチ 1回路用 WTC5820W	(参考型番)
⊙	操作スイッチ専用ジョイントボックス WJ 80101G	(参考型番)
CS1	全熱交換機用スイッチ (機械設備支給品)	
CS2	全熱交換機用スイッチ (機械設備支給品)	
LB (MM)	ジャンクションボックス: MM1-A用 (角)	
□	アウトレットボックス: 102×102×44 VE	

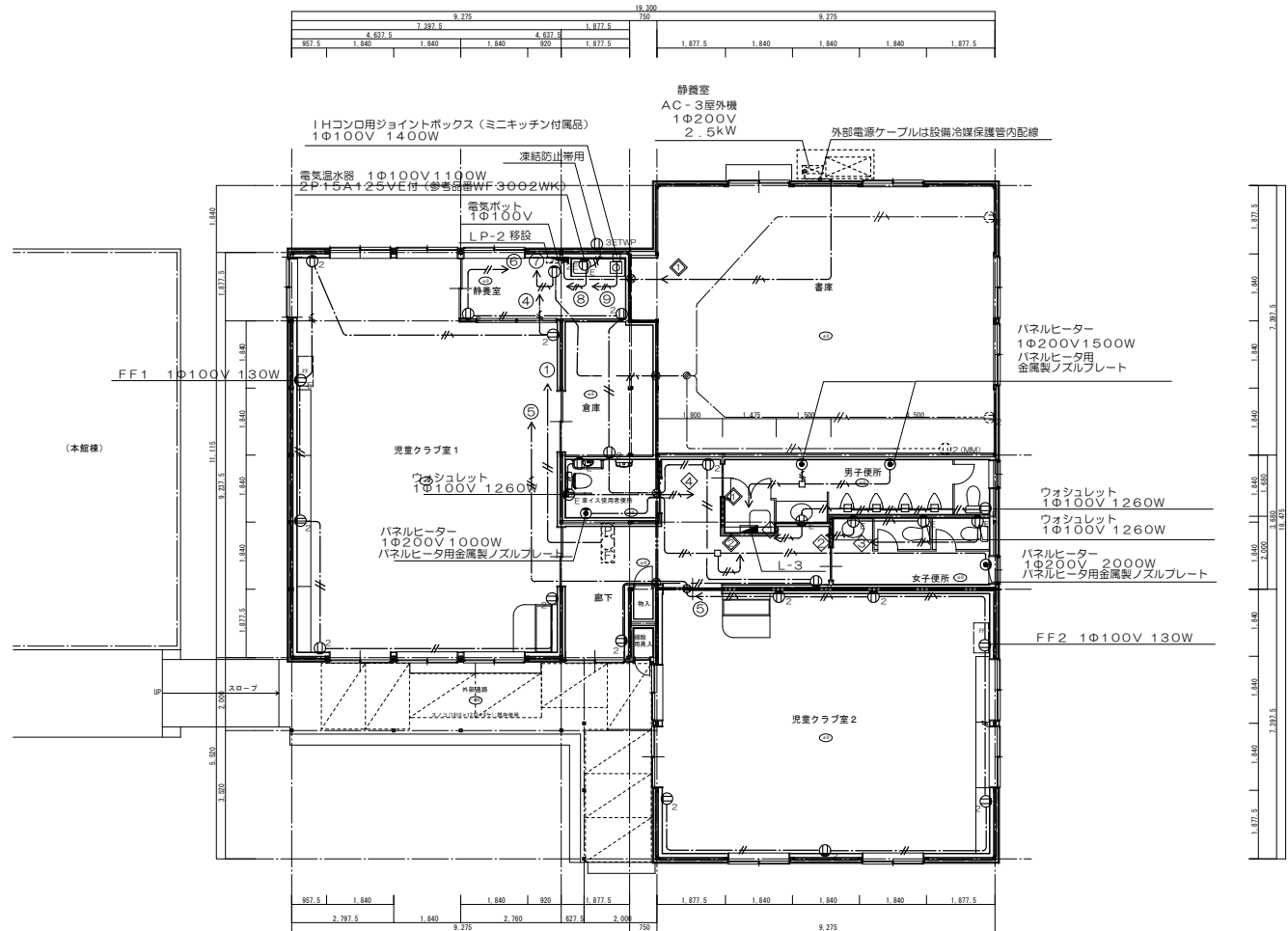
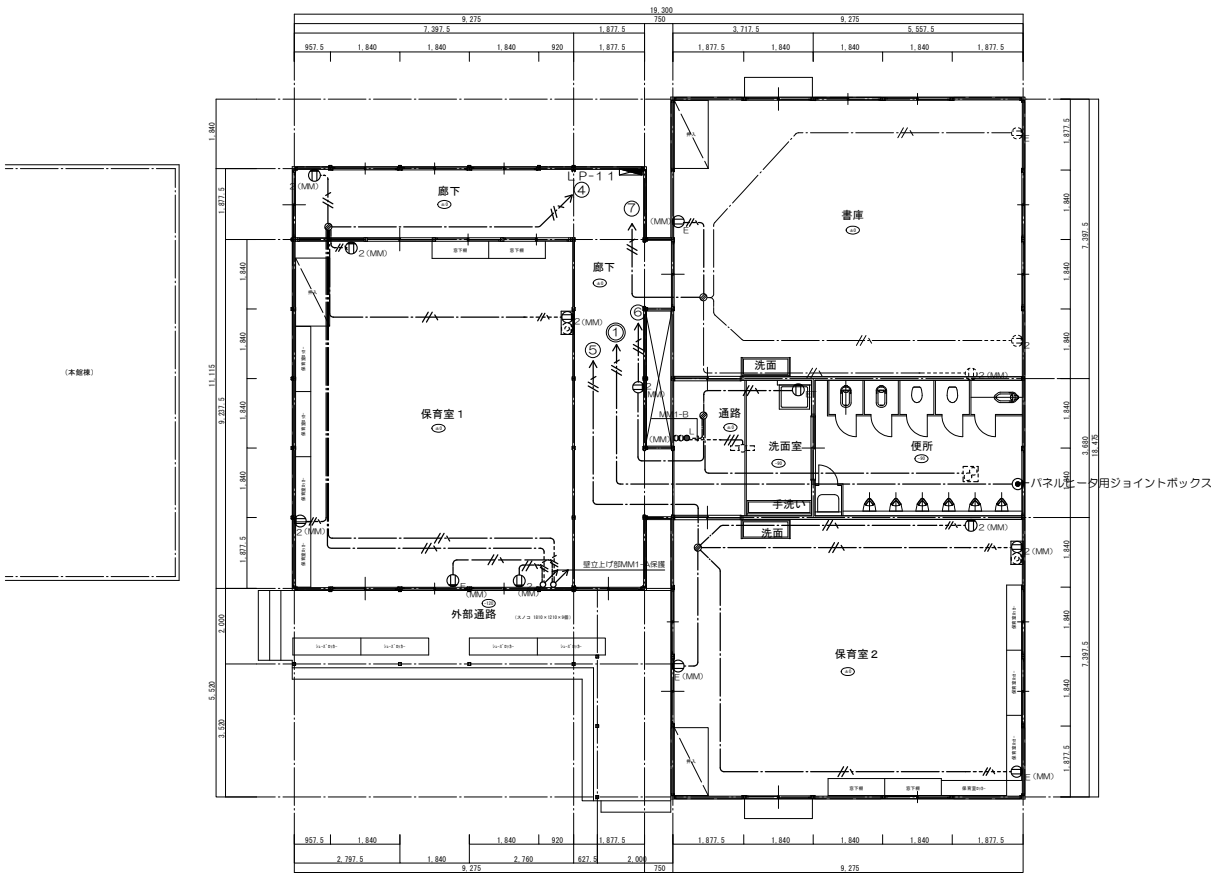
改 修 前

改 修 後

改 修 前	撤 去 図	1 階 平 面 図	A1:S=1/100 A3:S=1/200
-------	-------	-----------	--------------------------

改 修 後	1 階 平 面 図	A1:S=1/100 A3:S=1/200
-------	-----------	--------------------------





配線 撤去凡例	
特記なき配線は下記による	
-----	天井内転がし配線
-----	床下配線配管
-----	露出配線配管
-----	
-----	VVF2.0-3C (内1Cアース)
-----	VVF1.6-3C
-----	
-----	VVF2.0-3C (内1Cアース)(MM1-A)
-----	VVF1.6-3C (MM1-A)
-----	VVF2.0-3C (内1Cアース)

配線器具 撤去凡例	
記 号	名 称 ・ 仕 様
① <sub>2</sub> (MM)	コンセント 2P15A×2 金属プレート付 取付ボックス：MM1-A用スイッチボックス
① <sub>E</sub> (MM)	コンセント 2P15A×1 接地付 金属プレート付 取付ボックス：MM1-A用スイッチボックス
① <sub>ET</sub>	コンセント 2P15A×1 接地端子付 金属プレート付
●	FFヒーター用ジョイントボックス 金属製ノズルプレート付
⊗	VVFケーブル用 透明ジョイントボックス

配線 凡例	
特記なき配線は下記による	
-----	天井内転がし配線
-----	保護管
-----	EM-EEF2.0-3C (内1Cアース) (PF22)
-----	EM-EEF2.0-2C (PF16)
註、壁内の立上げ引下げ、貫通配線は、適合する配管により保護する事。	
防火区画貫通処理	
・防火区画を貫通する壁部分は、国土交通大臣認定品 認定番号P8060NL-0466のケーブル貫通部防火措置キットを使用すること。	
⊗：防火区画貫通する箇所を示す。	
---：114条区画（界壁）ラインを示す。（天井裏まで達すること）	

配線器具 凡例	
記 号	名 称 ・ 仕 様
① <sub>2</sub>	埋込コンセント 2P15A×2 金属プレート付
① <sub>E</sub>	埋込コンセント 2P15A×1 接地付 金属プレート付
① <sub>2E</sub>	埋込コンセント 2P15A×2 接地付 金属プレート付
① <sub>3ETWP</sub>	防水コンセント 2P15A E付×3 +接地端子付
□	アウトレットボックス：102×102×44 VE

改 修 前

改 修 後

改 修 前	撤 去 図	1 階 平 面 図	A1:S=1/100 A3:S=1/200
-------	-------	-----------	--------------------------

改 修 後	1 階 平 面 図	A1:S=1/100 A3:S=1/200
-------	-----------	--------------------------



# 機 械 設 備 工 事

## I. 工 事 概 要

1. 工 事 場 所 安曇野市堀金

### 2. 建 物 概 要

建 物 名 称	工 事 種 別	構 造	工 事 対 象 棟 数	改 修 階	消防法施行令別表第一	耐 震 分 類	備 考
堀金児童館	改修工事	S造	1	1			

### 3. 工 事 種 目 (●印を付けたものを適用する)

工 事 種 目	建 物 別					屋 外
	新 設	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	
○ 空 気 調 和 設 備	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式
● 冷 暖 房 設 備	● 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式
● 暖 房 設 備	● 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式
● 換 気 設 備	● 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式
○ 排 煙 設 備	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式
○ 自 動 制 御 設 備	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式
● 衛 生 器 具 設 備	● 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式
● 給 水 設 備	● 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式
● 排 水 設 備	● 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式
● 給 湯 設 備	● 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式
○ 消 火 設 備	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式
○ ガ ス 設 備	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式
● 給 油 設 備	● 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式
○ 厨 房 機 器 設 備	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式
○ 寒 暖 空 調 器 具 設 備	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式
○ 冷暖房ドレン設備	● 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式
○ 電気設備 (室内外機連絡配線)	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式	〇 一 式

### 4. 設 備 概 要 (○印を付けたものを適用する)

方 法 及 び 種 別	設 備 概 要			
空 調 方 式				
冷 暖 房 方 式	● Fm1720	● N720720標準シングル ・		
暖 房 方 式	・ 温風暖房	・ 温水床暖房	● F F 暖房	● 電気暖房
換 気 方 式	● 局所換気			
給 水 方 式	● 水道直結式	・ 加圧式	・ 受水タンク式 ( ・ 上水 ・ 井水 )	
排 水 方 一 式	・ 建物内汚水、雑排水 ( ● 分流 ・ 合流 )			
	・ 建物外汚水、雑排水 ( ・ 分流 ● 合流 )			
	浄化槽 ( ・ 合併 ・ 単独 )			
消 火 設 備 の 一 種 別	・			
	・			
ガ ス の 種 別	・ 都市ガス ( 発熱量 K J / Nm、供給事業者名: )			
	・ 液化石油ガス ( 発熱量 100,000 K J / Nm )			

5. 指 定 部 分 ・無 ・有 (指定部分しゅん工期間 平成 年 月 日)

対 象 部 分:

## II. 図 面 目 録

N.○	図 面 名 称	N.○	図 面 名 称
1	M-1 機械設備特記仕様書		
2	M-2 凡例・メーカ・衛生器具表・機器表		
3	M-3 給排水衛生設備配置図・灯油灯が参考図		
4	M-4 給排水衛生設備平面詳細図		
5	M-5 冷暖房・暖房設備平面詳細図		
6	M-6 換気設備平面詳細図		
7	M-7 施工標準図		

## III. 工 事 仕 様

### 1. 共 通 仕 様

(1) 図面及び特記仕様に記載されていない事項は、国土交通省大府官庁庁営務部の「公共建築工事標準仕様書 (機械設備工事編) (最新版) 」 (以下、「標準仕様書」という。 )、 「公共建築改修工事標準仕様書 (機械設備工事編) (最新版) 」 (以下、「改修標準仕様書」という。 ) 及び「公共建築設備工事標準準則 (機械設備工事編) (最新版) 」 (以下、「標準準則」という。 ) による。

(2) 電気設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、電気設備工事及び建築工事は、それぞれの工事仕様を適用し、下記の工事仕様は適用しない。

参考図書 ●安曇野市建築工事の手引き (以下、「手引き」という。 ) 安曇野市企画財政部監修

### 2. 特 記 仕 様

(1) 章は●印の付いたもの、項目は番号に○印の付いたものを適用する。

(2) 特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用し、●印の付いたものは適用しない。

章 項 目	特 記 事 項
① 機 材 等	本工事に使用する設備機材等は、設計図面に規定するもの又は、これらと同等のものとする。
② 機材の品質・性能証明	ただし、これらと同等のものとする場合は、監督職員の承認を受ける。 使用する機材が、設計図面に定める品質及び性能を有することの証明となる資料 (以下、「品質性能証明資料」という。 ) を提出して監督職員の承認を受ける。 (標準仕様書第1編第1章第4節1. 4. 2) ただし、 (社) 公共建築協会が発行する「建築材料・設備機材等品質性能評価事業 設備機材等評価名簿」によって所定の評価を受けているものは省略できる。製作図、試験成績書等は除く。 使用材料名、製造者名、発注先、品質性能証明資料提出の省略について記載した調書を作成し、監督職員の承認を受ける。
③ 使用材料発注先調書	・公共建築工事積算基準の解説 (設備工事編) の「執務並行改修」
④ 施工条件明示項目	

⑤ 化学物質を発生する建築材料等

本工事の建物内部に使用する建築材料等は、設計図面に規定する所要の品質及び性能を有するものとし、次の1) から5) を満たすものとする。

1) 合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、MDF、パーティクルボード、その他の木質建材、ユリア樹脂板、仕上り塗材及び壁紙は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

2) 保温材、緩衝材、断熱材はホルムアルデヒド及びスチレンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

3) 接着剤はフタル酸ジ-n-ブチル及びフタル酸2-エチルヘキシルを含有しない難揮発性の可塑剤を使用し、ホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

4) 塗料はホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼンを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

5) 上記1) 、3) 、4) の建築材料等を使用して作られた家具、書架、実験台、その他什器等は、ホルムアルデヒドを発生しないか、発散が極めて少ないものとする。

なお、ホルムアルデヒドを発生しないものとは、発散量が規制対象外のもの、ホルムアルデヒドの発散量が極めて少ないものとは、発散量が第3種のものをいい、原則として規制対象外のものを使用するものとするが、該当する材料等が無い場合は第3種のものを使用するものとする。

ホルムアルデヒドの発散量 該 当 する 建 築 材 料

① J I S 及び J A S の F ☆ ☆ ☆ 規格品

② 建築基準法施行令第20条の7第4項による国土交通大臣認定品

③ 下記表示のある J A S 規格品

a 非ホルムアルデヒド系接着剤使用

b 接着剤等不使用

c 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない材料使用

d ホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

e 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料使用

f 非ホルムアルデヒド系接着剤及びホルムアルデヒドを放散しない塗料等使用

① J I S 及び J A S の F ☆ ☆ ☆ 規格品

② 建築基準法施行令第20条の5第3項による国土交通大臣認定品

③ 旧 J I S の E 〇 規格品

④ 旧 J A S の F 〇 〇 規格品

⑤ ⑥ ペーストシール剤

飲料水配管に使用されているペーストシール剤は、室内汚染に係る揮発性化合物に指定されている下記の物質を材料及び製造工程に使用されていないこと

ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン、パラジクロロベンゼン、テトラデカン、クロロピリオス、フェノアルブアル、ダイアジノン、フタル酸ジ-n-ブチル、フタル酸ジ-2-エチルヘキシル

電気保安技術者を設置する。

● 配管 (① 1. 2) ● 冷暖・空気調和機器 (① 1. 2) ● 断熱機 (① 1. 2) ・ 建築獎金 (1. 2)

・ 設けない ・ 設ける

この工事に必要な工事用電力、用水、陸手続などの費用は請負者の負担とする。

● 別契約の関係請負者が設置したものは無償で使用できる。 ● その他必要な場合本工事で負担する。

・ 改修機械設備標準仕様書第1編2. 2. 1によるほか下記による。

● 内部仮設足場等 (・ 種 ・ 種) ● 外部仮設足場等 (・ 種 ・ 種)

資材の保管は必ず屋根をかけた地上30cm以上の架台に乗せる。

・ 監督員が指示する構内の場所に数ならし ・ 構内構造物にたいし機 ● 構外搬出適切な処理

● 切切の良質土 (ただし管の周囲は山砂、川砂又は再砂) ● 山砂の種類

切切の山留め ・ 有 ( ) ・ 無 ( )

工事に先立ち手引き第2編による廃棄物等処理計画書を監督職員に提出し、しゅん工時には廃棄物等処理報告書を作成し提出する。

(1) 引渡しを要するもの ● 無 ・ 有 ( )

(2) 引渡しを要するもの以外は構外搬出し関係法令により適切に処理すること。

(3) 特別管理産業廃棄物 ・ 無 ・ 有 ( )

(4) 再利用又は再生資源化を図るもの (コンクリート塊、アスファルト塊、木くず、金属くず、塩ビ管、 )

標準仕様書第1編1. 7. 4によるほか、パルプ類等には必要に応じて合樹樹脂製名札をステンレス線等で取付ける。

機器等の取り扱い方法及び重要な定期点検項目等を記載した取扱説明板 (亚克力樹脂製、文字形読み程度) を設ける。大きさは、約 mlとする。

・ 風量調整 ● 水量調整 ・ 室内外空気の温度測定 ・ 騒音測定

・ 飲料水の水質の測定 (・ 水質基準検査10項目 (一般細菌、大腸菌、硝酸態窒素及び亜硝酸態窒素、塩化水素イオン、有機物等 (T O C) 、 pH、味、臭気、色度、濁度) ・ トルエン)

飲料水の水質の測定は厚生労働大臣登録水質検査機関とする。

(1) 機器類の能力、容量等は、表示された数値以上とする。

(2) 電動機出力、燃料消費量、圧力損失は、原則として表示された数値以下とする。

機器、配管、風道等は耐震性を考慮し堅固にすべく、取付又は支持を行う。

耐震措置の計算及び施工方法は、次に掲げる事項以外、すべて「建築設備耐震設計・施工指針 最新版」 (国土交通省国土技術政策総合研究所・独立行政法人建築研究所監修) による。

(1) 設計用水平地震力は、機器の重量 (自由表面を有する水槽その他の貯槽にあっては有効重量) に、次に示す地域係数及び設計用標準水平地震加速度を乗じたものとする。

耐 震 安 全 性 の 分 類

設 置 場 所

重要機器

一般機器

上層階、屋上及び塔屋

中間階

地下階、一階

(注) 1. ( ) 内の数値は防振支持の機能の場合に適用する。

2. ( ) 内の数値は水槽類に適用する。

3. 上層階の定義は次のとおり。

2～6階建以下の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階

重要機器とは下記に示すものをいう。

・ 給水設備 ・ 排水設備 ・ 換気設備 ● 空調機器 ・ 防災設備 ・ 監視制御設備 ・ 危険物貯蔵装置

・ 火を使用する設備 ・ 避難経路上に設置する機器

(2) 設計用鉛直地震力は、設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。

機械設備標準仕様書第2編5章による。

● 施工後確認試験 (後打リ) ・ 確認強度 kN

吊金物

給水、給湯・湯沸・冷温水・冷却水配管は、図示による水抜きが確実にできるような水抜き位置に同かくって下り勾配とする。

コンクリート内の鋼管、鉛管及び塩ビ管については、プラスチックテープを1/2重1巻1回巻くとする。また、コンクリート土間下配管は、鋼管により下記防護措置をする。

土中埋設管 (排水含む) は、管の上下をサンドパクション厚100mmで保護する。

給水管、消火管の埋設深さは 800 mm となる。又、ガス管の埋設深さは 600 mm となる。

### 2.7 管 の 埋 設 表 示

### 2.8 冷 凍 部 の 非 壊 壊 検 査

### 2.9 塗 装 装 装

### 3.0 機 器 の 基 礎 及 び 振 動 絶 縁 効 率

### 3.1 電 線 類

### 3.2 は つ り

### 3.3 保 温 及 び 消 音 内 貼 り

図示された屋外埋設管の分岐及び曲がりの箇所には、コンクリート製構柱を埋め込む。舗装部分は埋設管標示とする。また、施工上生じた分岐、曲がりの箇所についても同様とする。

排水管を除く管には、埋設管表示用テープを設置する。

抜取率 ・ 標準仕様書による ・ 検査の種類 ・ R T ・ P X は M T

下記の金属電線管は塗装を行う。

・ 屋外出露 ・ ( ) の屋外出露

下記の保温を行わない垂鉛メッキを施したダクト及び配管は塗装を行わない。

・ 倉庫

機 器

基 礎

振 動 絶 縁 効 率

遠 心 送 風 機

空 調 用 ポ ン プ 及 び

ボイラー給水用ポンプ

揚 水 用 ポ ン プ 及 び

小形給水ポンプユニット

・ 別図による。

電線及びケーブルの規格は標準仕様書第4編2. 4. 1、表4. 2. 12による。

既存のコンクリート床及び壁の配管貫通部の穴明けは原則としてダイヤモンドカッターによる。

標準共通仕様書第2編によるほか下記による。

給水管、給湯管、冷温水管等の管、バルブ (グラッド部を含む) 、フランチ、コナール手及び空

調ダクトのフランチは、建物内外共保温する。なお、保温端部はシーリング処理を行う。

各配管の保温厚は標準仕様書第30mm未満の箇所はすべて厚30mm以上とする。ただし、排水管は除く。

・ 換気ダクトの保温厚 (保温厚25mm) ・ 範囲は図示による ・

・ 外気取入れダクトの保温厚 (保温厚25mm) ・ 範囲は図示による ・

・ 排気ダクトの保温厚 (保温厚25mm) ・ 範囲は図示による ・

・ 通りダクトの保温厚 (保温厚25mm) ・ 範囲は図示による ・

・ 廊下タンクよりボイラーへの給排水管の保温は廊下管の項による。

・ 建物内の空気抜き管の保温は廊下管の項による。

・ 空室機、ファンコイルユニット、冷水及び冷温水のドレーン管の保温は排水管の項による。

・ 全熱交換器用ダクトの保温厚 (保温厚25mm) ・ 範囲は図示による ・

保温厚別は下記による

ダクト ・ イ (・1号 ・2号) ・ ロ

冷温水、冷水、温水、蒸気管 ・ イ ・ ロ

機器 ・ イ ・ ロ

給水管 ・ ハ ・ ロ (凍結防止帯巻部分)

排水管 (ドレン) ・ ロ ・

給湯管 ・ イ ・ ロ

・ 排水管でビツ内、共同溝内及び最下階の床下の下記の部分は保温する。

なお仕様は (ハ) となる。

(・ 排水トラップ ・ 鉛管 ・ 鋼管等 ・ ビニール管 ・ ドレーン管 ・ )

・ 消火管で下記の部分は保温する。なお仕様は給水管の項による。

(・ 屋外消火管 ・ 水抜きできない管 ・ スプリングラール配管 ・ )

・ 圧力カマ、断熱水櫃、各種呼吸水櫃等鋼板製水櫃は保温する。なお仕様は各機器の項に準ずる。

・ 大機器は保温する。

・ 共同溝の保温標準別 (・ ビツ内に準ずる ・ )

・ 共同溝の保温標準別 (・ ビツ内に準ずる ・ )

・ ダクトの保温外装は下表による。 (機械設備共通仕様書)

区 分

保 温 外 装

倉庫・書庫

機械室

居室・廊下など

屋外出露、多道箇所

・ アルミガラスクロス ・

・ アルミガラスクロス ・

・ カラー亜鉛鉄板 ・

・ ステンレス鋼板 ・

・ ステンレス鋼板 ・

・ 保温化粧石膏 ・

・ 保温化粧石膏 ・

・ 保温化粧石膏 ・

・ 保温化粧石膏 ・

・ 保温化粧石膏 ・

・ 保温化粧石膏 ・

・ 保温化粧石膏 ・

・ 保温化粧石膏 ・

・ 保温化粧石膏 ・

・ 保温化粧石膏 ・

・ 保温化粧石膏 ・



メーカーリスト				
品目	機材名	適用範囲	製造業者名等	
銅管類（オイル）		設計図参照	J I Sマーク表示品	
水道用塩ビ管(ンガ)銅管V B・V D（給水）		設計図参照	水マーク表示品	
ビニール管類 H I V P V P（給水・排水）		設計図参照	J I Sマーク表示品 水マーク表示品	
保温材		設計図参照	J I Sマーク表示品 J I S表示許可工場で製造された物	
小口径塩ビ樹	機器リスト参照	設計図参照	安曇野市下水道局認定品	前沢化成 アロン 横水
弁類	機器リスト参照	設計図参照	安曇野市下水道局認定品	北沢 大和 東洋
不凍栓、水抜栓	機器リスト参照	設計図参照		竹村 光合金 日邦
排水金物	機器リスト参照	設計図参照		長谷川 伊藤 小島
衛生器具	機器リスト参照	設計図参照	TOTO	LIXIL
換気扇類	機器リスト参照	設計図参照	三菱 日立 東芝	
FF温風暖房機	機器リスト参照	設計図参照	サンボット	相当品
地上灯油タンク	機器リスト参照	設計図参照	シリアー	相当品
冷暖房機	機器リスト参照	設計図参照	三菱 日立	ダイキン

凡例			
記号	名称	記号	名称
――― ―――	給水管（上水道直結管）埋設 耐衝撃性硬質ポリ塩化ビニル管 H I V P		不凍栓地下式 600L VC-680X共 安曇野市認定品
――― ―――	給水管（上水道直結管）埋設 水道用内外面硬質塩化ビニル管(ンガ)銅管 VD		給水・給湯用仕切弁JIS10K（GV）
――― ―――	給水管（上水道直結管）屋内 土間配管 水道用内外面硬質塩化ビニル管(ンガ)銅管 VD		
――― ―――	給水管（上水道直結管）屋外架空・屋内隠蔽 水道用内外面硬質塩化ビニル管(ンガ)銅管 VB		給水栓
――― ―――	汚水、排水合流管（屋外） 硬質ポリ塩化ビニル管 VP		
――― ―――	汚水管、排水管（屋内） 硬質塩化ビニル管 VP		混合水栓
-----	通気管 硬質ポリ塩化ビニル管 VP		
――― R ―――	冷媒管		スプレッドし排水トラップ
――― D ―――	空調用銅管 ペアコル・シングル直管		
――― O ―――	ドレン管 断熱樹脂管		床上掃除口（塩ビシート用）
――― O ―――	オイル管（溶接接合） 配管用炭素鋼銅管 黒GP		通気金物
――― O ―――	給気・排気ダクト（一般） ポリイミド・フッ素樹脂管		小口径塩ビ樹（塩ビ蓋・防護ネット） 安曇野市認定品

給排水衛生設備・冷暖房設備機器表

記号	機器名称	設置場所	機器型式	機器仕様	数	電力			備考（参考品番）
						相（φ）	電圧（V）	容量（KW）	
（冷暖房関係）									
OT-1	地上灯油タンク 既製品	屋外	床置	既成地上置型 貯蔵量 430L タンク格納庫・防油堤 通気金物・給油・返油口・他 危険物・貯蔵量表示板 RC基礎（建築工事）	1				（株）シリアー Z-500
FF-1・2	石油FF温風暖房機	児童クラブ 1・2	FF式横形ビルトインタイプ	暖房能力 3・44～11.0KW 石油タンク別置式 標準給排気筒セット スリーブ工事（材工） 耐震対応品（固定金具一式） FF保護ガード 背面ガード 給排気筒保護ガード	2	1	100	72W	サボット FF-11000BF B
	新冷媒使用（R32）								
AC-1・2	パナソニック 屋外機	屋外	床置	冷/暖房能力 12.5/14.0KW 冷媒配管 9.52/15.88 安全ネット・17-81タイプ スプリング式防振架台・スプレッドシャー 引抜試験（結果報告） 参考製品重量 115.0Kg RC基礎（建築工事）	2	3	200		最大電流 28A 寒冷地仕様（タイプ型番） 電流冷/暖11.8/12.1A PCZ-HRNP140K2
AC1・2-1	屋内機	児童クラブ 1・2	天井カセット形 4方向吹出 屋内機人感センサー付 自動昇降ネット・昇降パイプ付	冷/暖房能力 12.5/14.0KW 冷媒配管 9.52/15.88 ワイヤードリフト リモコン用配線、渡り配線工事、室内機電源配線 参考製品重量 30.0Kg	2	3	200		消費電力 冷/暖定格3.83/3.95KW プレート容量 40A
AC-3	パナソニック 屋外機	屋外	床置	冷/暖房能力 2.8/4.0KW 冷媒配管 6.35/12.7 安全ネット 防振ネット・スプレッドシャー（耐震アタッチ）引抜試験（結果報告） 参考製品重量 35.0Kg RC基礎（建築工事）	1	1	200		最大電流 5.27A 寒冷地仕様（タイプ型番） MLZ-HX2822AS
AC3-1	屋内機	静養室	天井カセット形 1方向吹出	冷/暖房能力 2.8/4.0KW 冷媒配管 6.35/12.7 ワイヤードリフト 渡り配線工事、室内機電源配線 参考製品重量 15.0Kg	1	1	200		消費電力 冷/暖定格1.25/2.95KW プレート容量 15A
EH-1	電気バスヒーター スプレッド製	車椅子利用者便所	壁掛形	暖房能力 1.0KW（860Kcal/h） サークット（0-40℃）・ON/OFFスイッチ内蔵	1	1	200	1.0KW	参考日本シリーズ線DP-A100PU
EH-2	電気バスヒーター スプレッド製	男子便所	壁掛形	暖房能力 1.5KW（1290Kcal/h） サークット（0-40℃）・ON/OFFスイッチ内蔵	2	1	200	1.5KW	参考日本シリーズ線DP-A150PU
EH-3	電気バスヒーター スプレッド製	女子便所	壁掛形	暖房能力 2.0KW（1720Kcal/h） サークット（0-40℃）・ON/OFFスイッチ内蔵	1	1	200	2.0KW	参考日本シリーズ線DP-A200PU

厨房換気機器表

記号	設置場所	名称	型式	ファン径ダクト径静圧風量等	電力	附属品等	数	備考
F E-1	児童クラブ1・2	換気扇	天井埋込型ダクト用換気扇	定格風量 460CMH DC7ラジエーター・定風量タイプ	1φ100V80.0W	スプレッド深型フード150φ（防虫網付） コントローラー付（P-20SVN2）	2	コントローラー付電気へ支給 参考VD-232VX6-C 参考P-18VSD4
F E-2	男子便所	換気扇	天井埋込型ダクト用換気扇	定格風量 310CMH 低騒音タイプ	1φ100V29.5W	スプレッド深型フード150φ（防虫網付） コントローラー付（P-04SML2）	1	コントローラー付電気へ支給 参考VD-18ZLG13-S 参考P-18VSD4
F E-3	女子便所	換気扇	天井埋込型ダクト用換気扇	定格風量 215CMH 低騒音タイプ	1φ100V23W	スプレッド深型フード100φ（防虫網付） コントローラー付（P-04SMLB5）	1	コントローラー付電気へ支給 参考VD-15ZLPG13-S 参考P-13VSD4
F E-4	車椅子使用者便所	換気扇	天井埋込型ダクト用換気扇	定格風量 100CMH DC7ラジエーター・定風量タイプ	1φ100V2.6W	スプレッド深型フード100φ（防虫網付） コントローラー付（P-04SML2）	1	コントローラー付電気へ支給 参考VD-10ZV06 参考P-13VSD4
F E-5	静養室流し	換気扇	建築工事			FD付スプレッド深型フード100φ（防虫網付）	1	参考P-13VSDQ4
E X-1	静養室	換気扇	壁取付熱交換換気扇（1方向）	排気風量 43CMH 給気風量 37.5CMH	1φ100V21W	専用スプレッドフード（防虫網付） コントローラー付（P-04SMLB5）	1	コントローラー付電気へ支給 参考VL-08EPS3 参考P-50CVSQ6
O A-1	児童クラブ1・2	給気口	自然給気口	150φ 天井取付 天井給気グリル ネットフィルター付 接続ダクト150φ		アルミ防火ダンパー深形フード150φ（防虫網付）	2	参考P-18GHF5

衛生器具表

（衛生器具の設置については事前に承諾図を提出し係員の承諾を得ること、又、現地の状況を考慮する事）									
品名	参考メーカー	仕様	電気容量	設置場所					合計
車椅子対応便器	TOTO	CS20AB 密結タンク SH30BA ユニフレット TQF584DPN	1φ100V 1260W	児童クラブ1	児童クラブ2	静養室	車椅子使用者便所	男子便所	
紙巻器	TOTO	YH702					1		1
可動手摺	TOTO	樹脂被覆タイプ T112HK7R					1		1
固定手摺	TOTO	樹脂被覆タイプ T112QL11					1		1
傾斜鏡	TOTO	LM531E					1		1
手洗器	TOTO	LSE50AP 自動水栓（単水栓） 壁給水・P形排水金物	1φ100V 0.6W				1		1
洋用大便器	TOTO	パナソニック 他付属品一式							
		パナソニック 他付属品一式							
紙巻器	TOTO	YH702						1	2
小便器	TOTO	低圧センサー一体型小便器 自動フラッシュ弁	1φ100V0.5W					4	4
		UF5900JCS 他付属品一式							
掃除用流し	TOTO	SK22A						1	1
		横水栓 T23AEQ20C アンクル形止水栓 TN114 床排水金物（ストラップ） 他金具一式							
洗面器	TOTO	はめ込み型洗面器（アンダーカウンター） L532 他付属品一式	1φ100V 0.6W					1	1
		自動単水栓（床給水） TLE22SS1A 自動水石鹸供給栓 TL07504J ストラップ							
洗面カウンター・化粧鏡		建築工事							
自在水栓	TOTO	TK130AUN13C		3	3				6
スプレッドし化粧鏡		建築工事							
小型電気温水器	TOTO	流し台内設置用 貯湯量 12L	1φ100V 1.1KW			1			1
		台付シンクも混合栓 TKS05301J							
		止水栓・給水給湯用配管セット・排水ネット							
スプレッドし用排水トラップ		50A		1	1				2

（衛生器具は寒冷地仕様とする。衛生器具型番は参考とし、参考型番が廃止または変更になっている場合、他メーカーの製品使用の場合は係員の指示による。）



安曇野市総務部財産管理課

訂正 月・日：DATA

設計

検図

承認印

工事名称：PR NAME

令和5年度 堀金小児童クラブ整備事業  
堀金児童館改修工事

図面名称：DW NAME

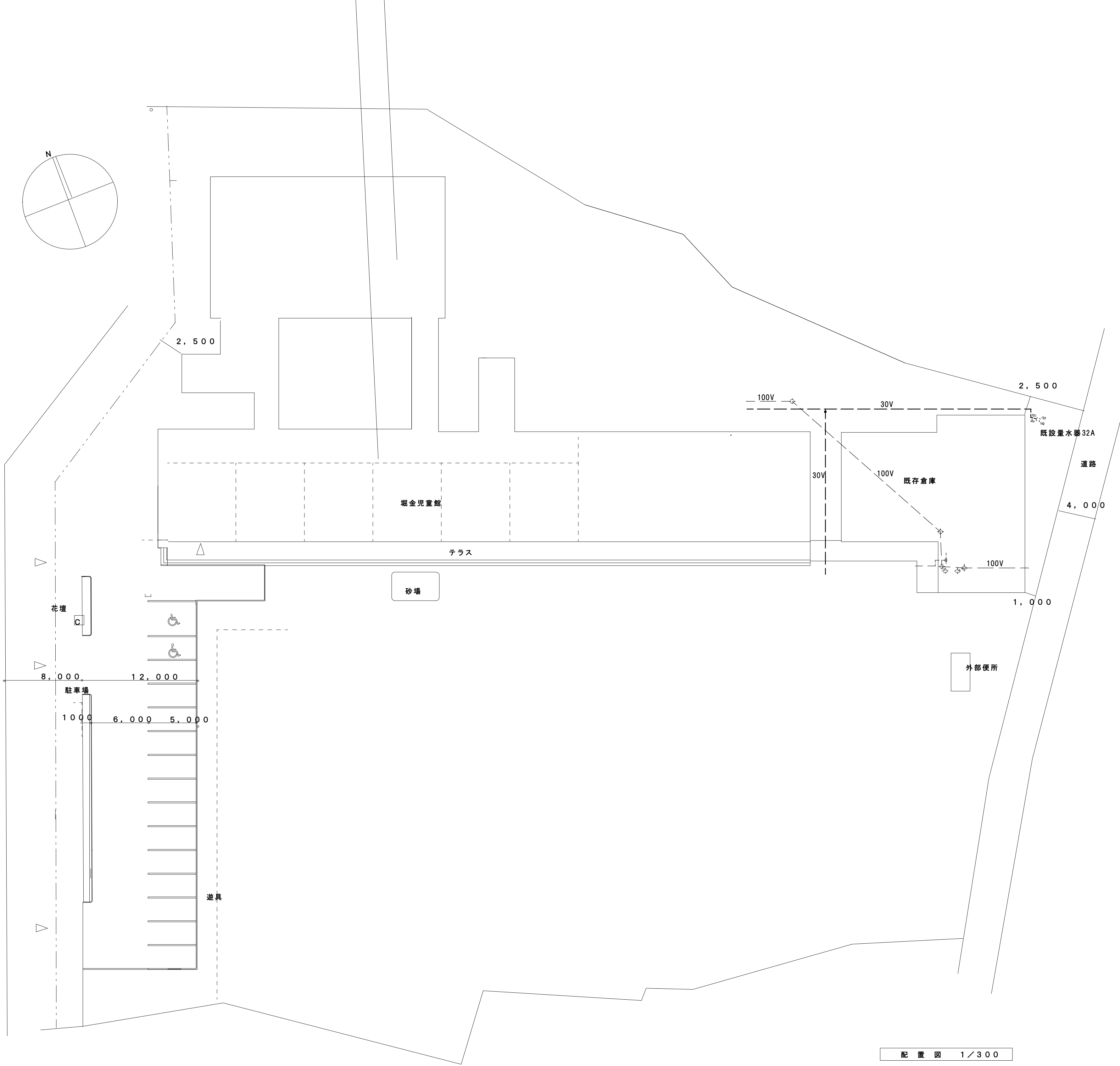
メーカーリスト・凡例・衛生器具表・機器表

縮尺：SCALE

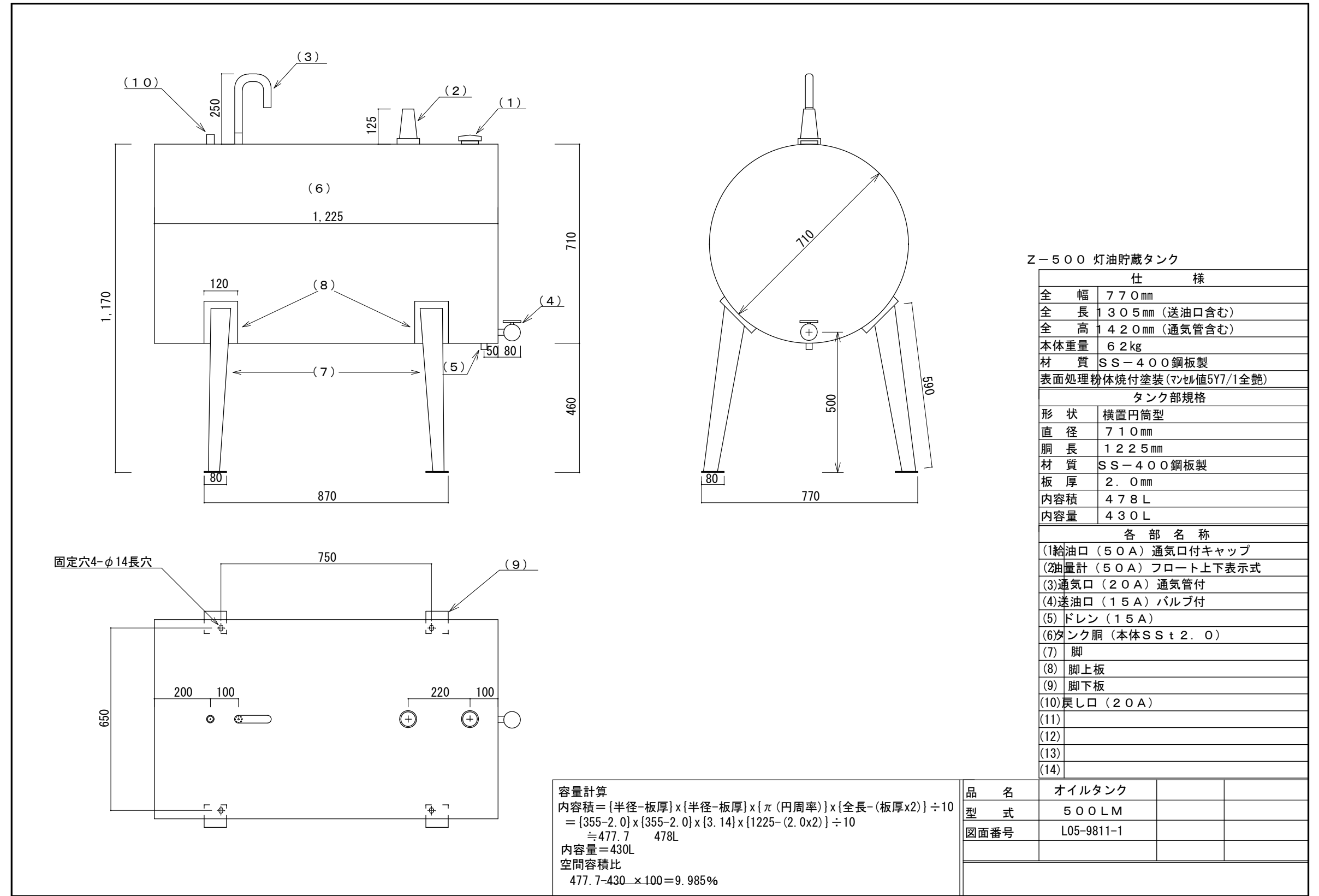
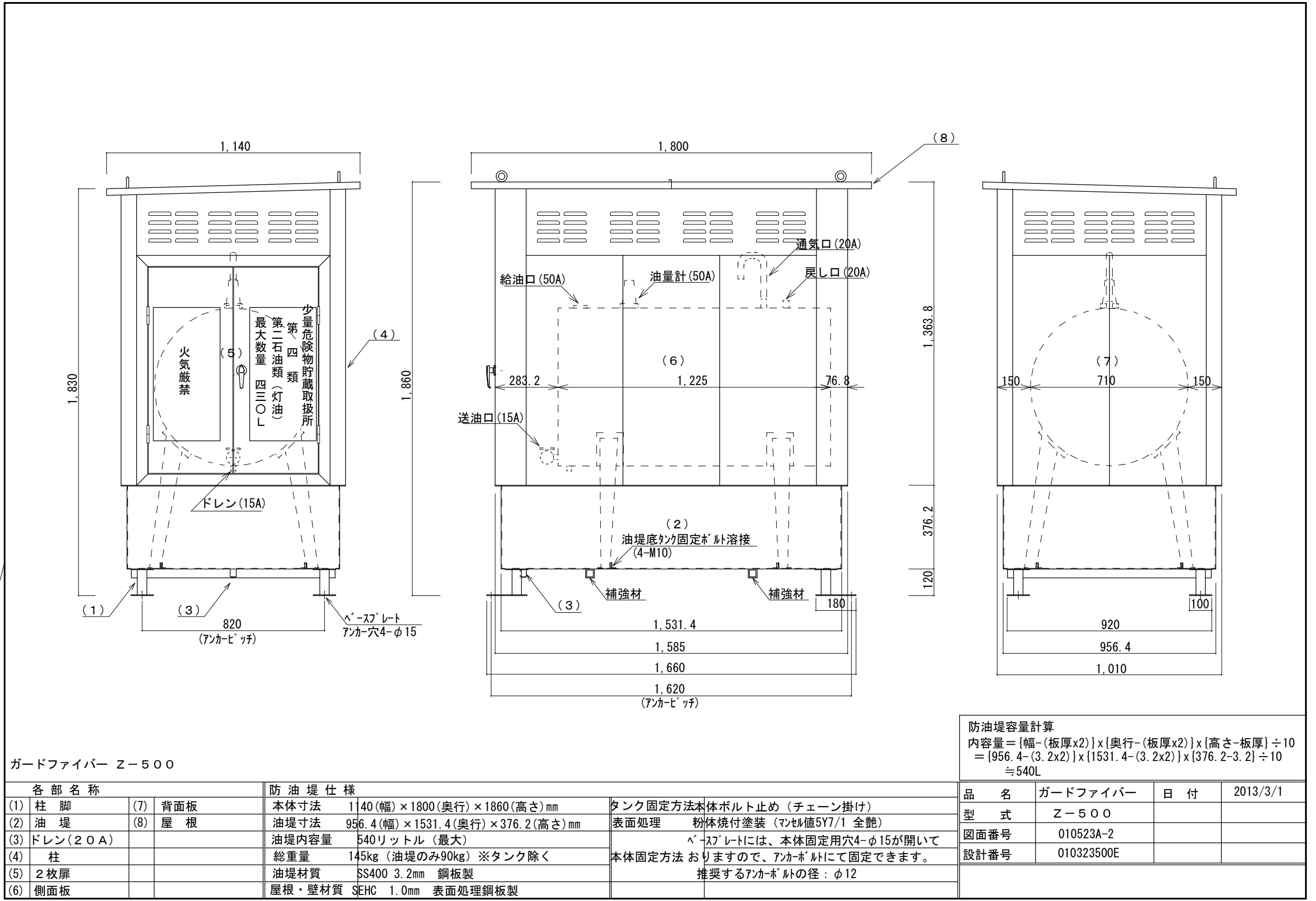
図面番号：DW NO.

M-2

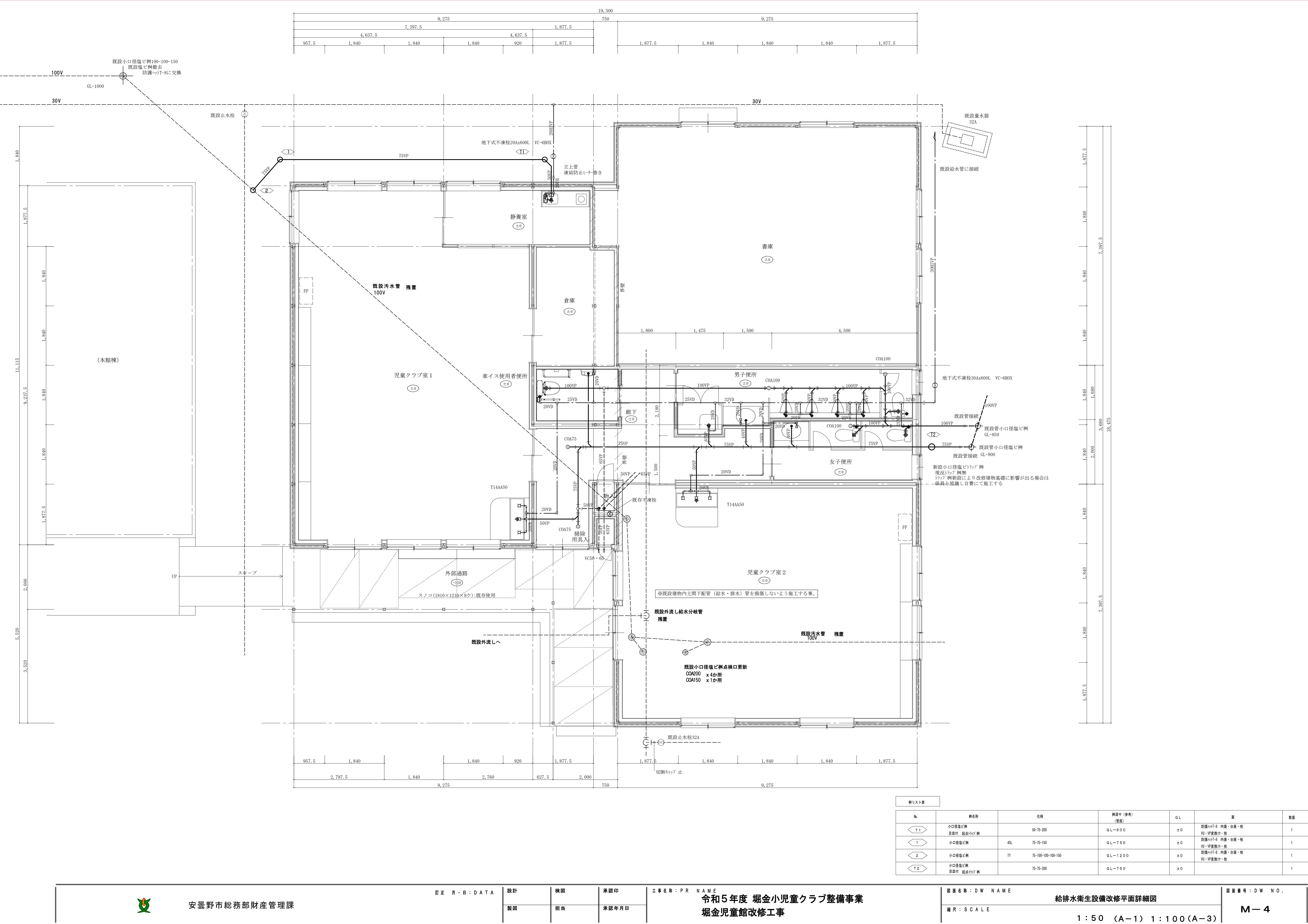




配置図 1/300

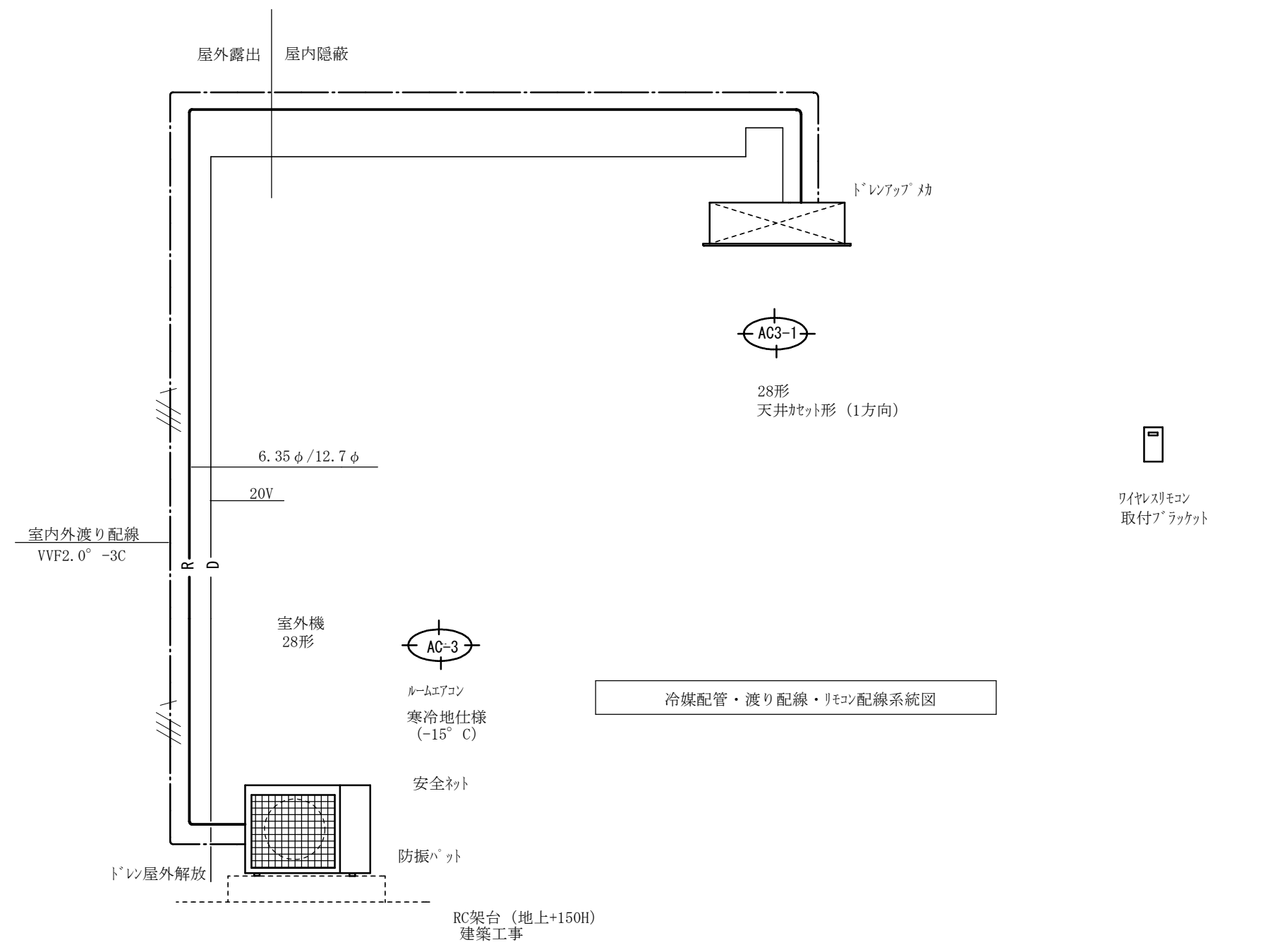
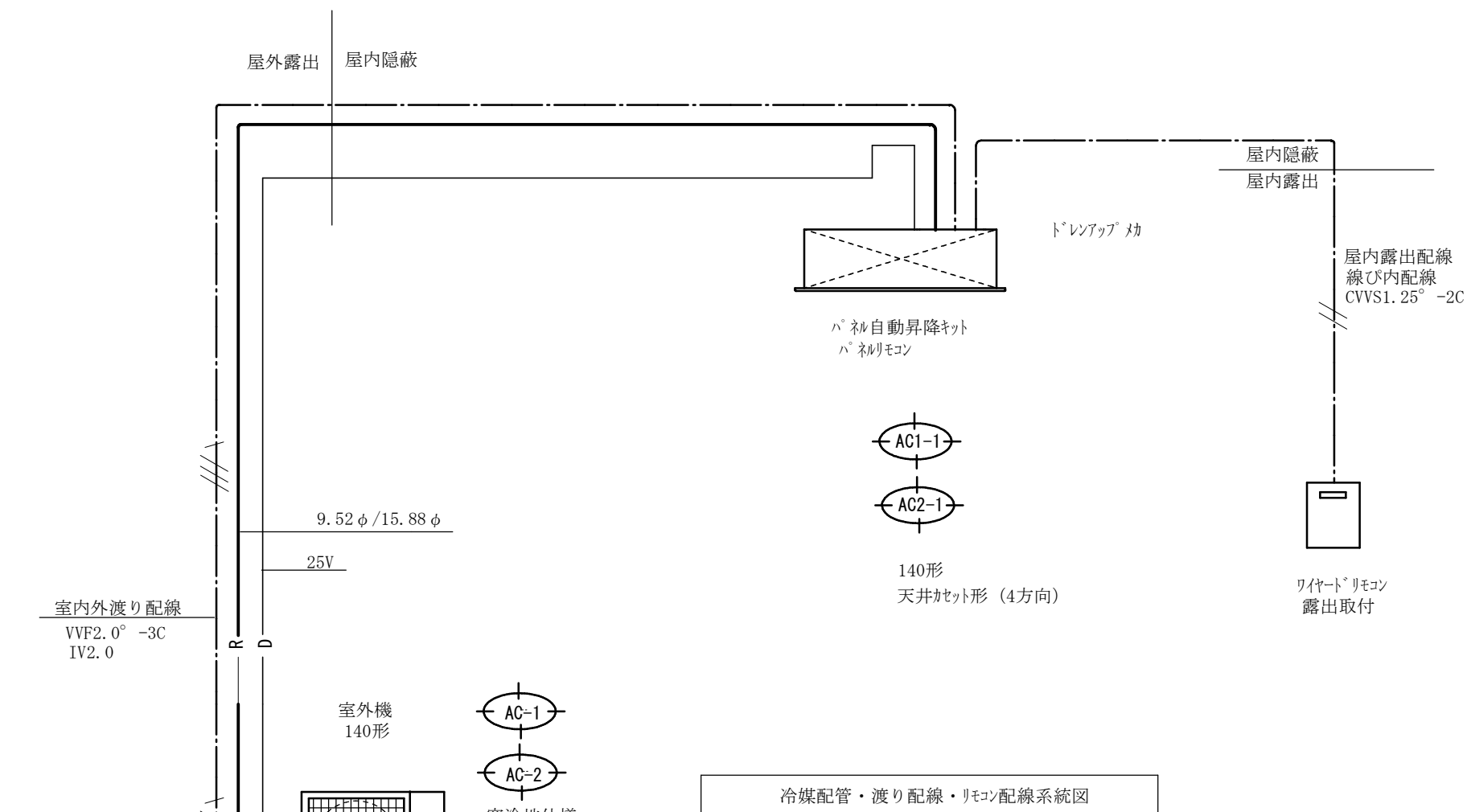
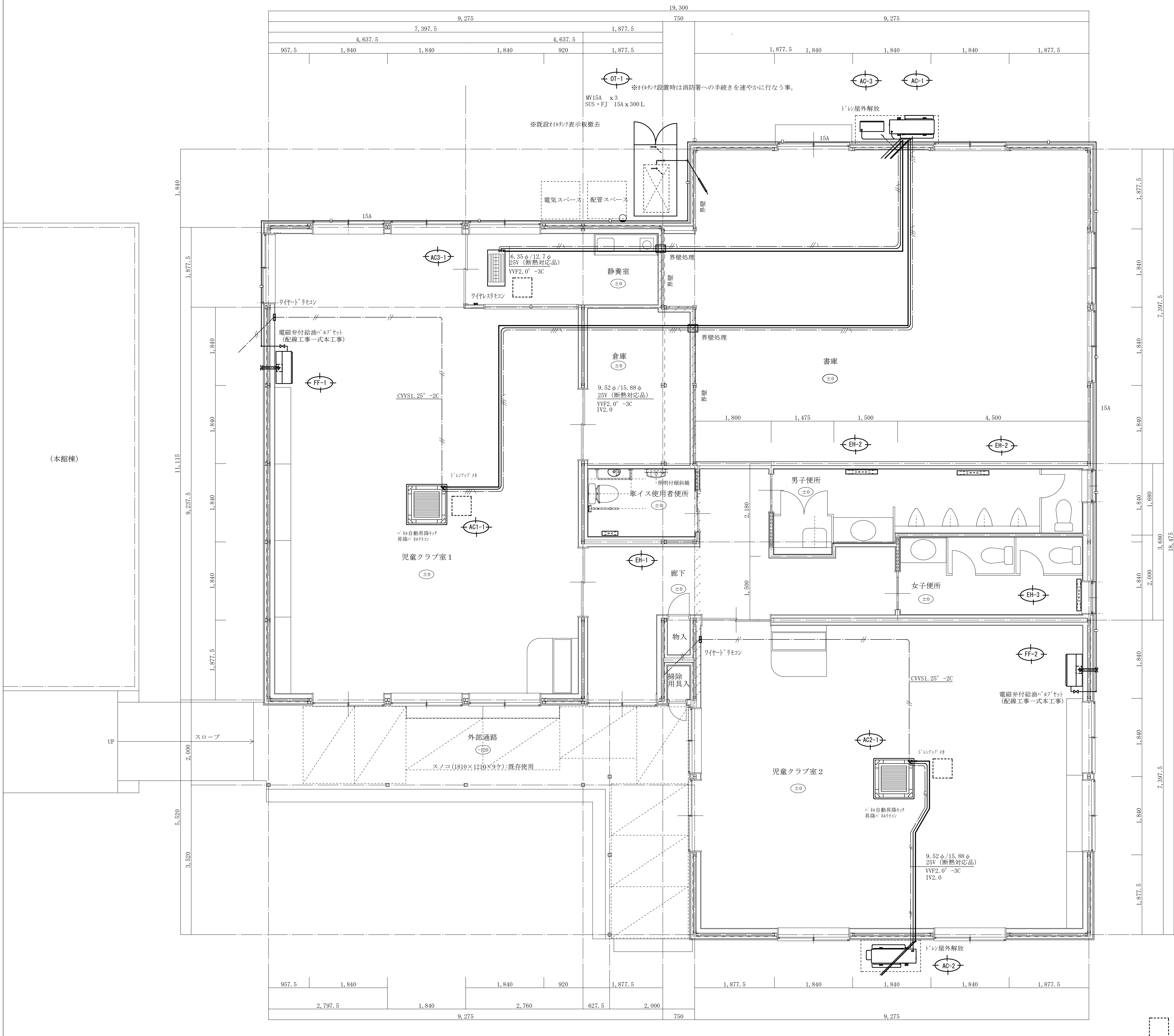






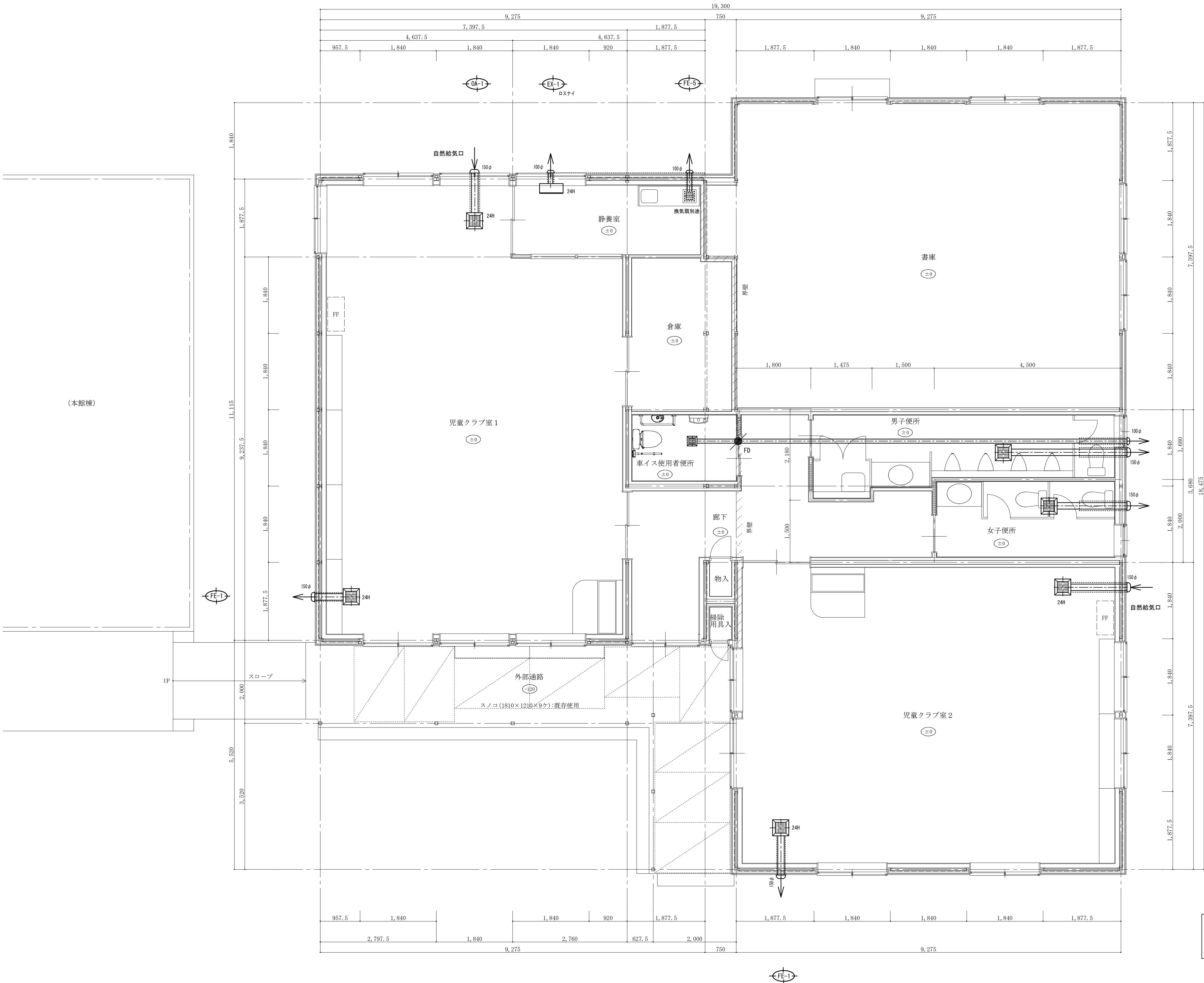
材料表						
記号	材料名	仕様	標準サ (参考) (管径)	GL	量	数量
T1	小口径塩ビ管 目録付 配管127 材	50-75-200	GL-600	±0	防護H1-8 内蓋・台座・地 VU・VP変換付・他	1
1	小口径塩ビ管 目録付 配管127 材	45L	GL-750	±0	防護H1-8 内蓋・台座・地 VU・VP変換付・他	1
2	小口径塩ビ管 目録付 配管127 材	TY	GL-1200	±0	防護H1-8 内蓋・台座・地 VU・VP変換付・他	1
T2	小口径塩ビ管 目録付 配管127 材	75-100	GL-750	±0	防護H1-8 内蓋・台座・地 VU・VP変換付・他	1



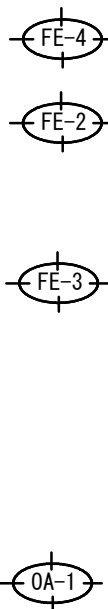


天井点検口 450角 (7×3枠)





24時間換気量計算			
児童クラブ室1 24時間換気量計算 FE-1	床面積 気積 必要換気量 取付換気扇 参考三菱VQ-232VX8-C (24時間換気機能付) 有効換気量 判定	$(7.3975 \times 11.115) - (2.76 \times 1.8775) = 77.0413125m^2$ $77.0413125 \times 3.0 = 231.1239375m^3$ $231.1239375 \times 0.58 = 115.56196875m^3$  許容配240m <sup>3</sup> (n' 4' 長さ20m時) $260m^3 > 115.56196875m^3$ O・K	備考  給気 自然給気口 150φ
児童クラブ室2 24時間換気量計算 FE-1	床面積 気積 必要換気量 取付換気扇 参考三菱VQ-232VX8-C (24時間換気機能付) 有効換気量 判定	$9.275 \times 7.3975 = 68.618125m^2$ $68.618125 \times 3.0 = 205.854375m^3$ $205.854375 \times 0.58 = 102.91771875m^3$  許容配240m <sup>3</sup> (n' 4' 長さ20m時) $260m^3 > 102.91771875m^3$ O・K	給気 自然給気口 150φ
静養室 24時間換気量計算 EX-1	床面積 気積 必要換気量 取付換気扇 三菱VL-08FPS3 有効換気量 判定	$4.0375 \times 1.877 = 7.5783875m^2$ $7.5783875 \times 2.535 = 19.212123125m^3$ $19.212123125 \times 0.58 = 9.40560615625m^3$  17.0m <sup>3</sup> $17.0m^3 > 9.40560615625m^3$ O・K	給排気型換気扇 (ロスナイ)



※一般換気外防露工事外壁より1M 施工  
※熱発生器具用排気外断熱工事全管施工  
※自然給気口取付外全管断熱工事施工  
※熱交換型換気扇の給排気ダクト全管断熱工事



